

単位互換プログラム作成のための調査報告書

富山県における 中核的ホテルマン育成と単位互換制度の構築

目次

はじめに	1
第1章 フィリピンにおける職業教育制度	2
I. フィリピンの教育制度	2
1) 初等教育	2
2) 中等教育	3
3) 高等教育	3
4) 職業技術訓練教育	4
5) 正規の学校教育以外の制度	4
① ノン・フォーマル教育、オルタナティブ学習システム	5
② 特殊教育	5
II. 3つの教育行政機構	5
1) 教育省 DepEd (Department of Education of the Philippines)	5
① 地方事務所	5
② 州・市事務所	5
③ 州・市事務所に直属学校と学区	5
2) 高等教育委員会 CHED (Commission on Higher Education)	5
3) 技術教育技能開発庁 TESDA (Technical Education and Skills Development Authority)	7
① TESDAと提携している職業専門学校	7
② 技術職業教育訓練 TVET (Technical Vocational Education and Training)	8
③ 教育期間と教育プログラム	9
4) 各教育機構と教育開始年齢	9
III. フィリピンの教育改革	10
1) 教育改革プログラム	10
2) K-12 プログラム	11
① 教育改革の目的	11
② 進級プログラム	11
第2章 産学連携の状況	13
I. フィリピンのホスピタリティ産業	13
1) 観光産業	13

① 経済成長伸び率と観光産業	14
② 観光産業の推移	15
③ 観光産業の就業人口の推移	15
④ 観光関連業の成長率	16
⑤ 観光産業と他産業の比較	17
⑥ 観光産業の対GDP比較	18
⑦ 国別の訪比客数	19
⑧ 外国人 & 現地人のフィリピン国内観光支出	20
⑨ 観光産業への期待	20
2) 医療観光産業（メディカルツーリズム）	21
① 新ビジネスの国際的な医療産業	21
② 医療観光と HRM/観光学部卒業生	23
③ メディカル・ツーリズム・プログラム参加の病院数	23
④ 医療観光のPR	24
3) カジノ産業	26
① エンターテインメント・シティ・マニラ・ベイ	27
② カジノ & HRM の専門学校 GSTA（Genting-Star Tourism Academy）	28
II. フィリピンのホテル & レストラン市場規模	29
1) ホテル & レストランと他産業の就業人口比較	29
2) ホテル & レストランのマーケット規模	30
① ホテル & レストランの店舗数と従業員数	30
② ホテル & レストランの売上規模	31
3) 学生に人気の高いHRM/観光学部	32
① 観光産業と大学観光学部	32
② 観光産業とHRM/観光学部の推移	32
③ HRM/観光学部がある代表的な大学リスト（379 大学）	33
④ ホテルマンの平均給与	34
第3章 単位互換の事例	35
I. フィリピン国内大学の単位互換と単位認証	35
1) 自主運営の大学と単位認証	35
① 自主運営の国公立大（AACUP）	35
② 自主運営の市立大学連合（ALCU）	39
③ 私立大学の自主運営（AUTONOMOUS）	40
2) 国内の大学間の単位認証の事例	42
II. 技術教育技能開発庁（TESDA）と学校の単位互換	43

1) TESDA の教育プログラム	43
2) TESDA と学校(大学・専門学校)間の連携	44
3) TESDA と各種専門学校 (Vocational School) 間の連携	44
① 専門学校間の提携	44
② 専門学校と大学の連携 (提携校数 991 校)	45
4) 学校(大学 & 専門学校)間の単位認証	46
5) 海外企業間の共同開発プログラム	46
6) リカレント教育	46
第4章 単位互換と単位認証の条件	47
I. 英語力と外国人留学生	47
1) フィリピン人の英語力	47
① 英語力資源	48
② 欧米人のフィリピン人英語力評価	50
2) フィリピンの外国人留学生	50
① 短期留学と長期留学	51
② 留学生を受入れするフィリピンの学校数 (前年比 21 倍の急増)	52
③ 届出の国別留学生数	53
3) オンライン英会話サービス	54
II. 単位互換と単位認証の条件	54
1) 国内と日比両国間の連携事例	54
2) マカティ大学とラサル大学の単位認証の条件	55
3) 単位認証についてインタビューした 2 つの大学	55
4) 外国人の入学許可の英語レベル (ラサル大学)	56
5) 外国人の入学許可の英語レベル (マカティ大学)	57
6) マカティ大学とグアム大学の単位互換	57
7) 日本とフィリピンの大学間の提携リスト	61
III. フィリピンの自主運営できる大学	63
1) ラサル大学の単位認証と交換留学	63
2) フィリピン国立大学(UP)との姉妹校提携と留学応募条件	64
第5章 単位互換の事例	66
I. マカティ大学の基本情報	66
1) 大学の概要	66
2) マカティ大学(ホスピタリティ・マネージメント)のカリキュラム	67
① HRM学部 1～4 年のカリキュラム	68

② マカティー大学の卒業必要単位	73
II. ラサル大学（ベニール校）の基本情報	74
1) ラサル大学の概要	74
2) ラサル大学（ベニール校 1～4 年の HRM）カリキュラム	75
① HRM学部 1～4 年のカリキュラム	76
② ラサル大学の卒業必要単位	80
3) ラサル大学生の海外留学	81
① 応募資格	81
② 帰国後の単位認定	81
III. 海外の大学と単位互換と単位認証の事例	82
1) マカティー大学と USA のガム大学（ガム島）姉妹校提携	82
2) フィリピン国立大学（UP）と海外大学との単位互換と認証	84
IV. インターンシップ先の現地ホテルの視察	85
1) HRM（Hotel Restaurant & Management）のインターンシップ	85
① インターンシップの申請フォーム	85
2) インターンシップ生にインタビュー	86
V. 大学の授業料の調査	88
1) フィリピンの HRM 学部の国公立と私立の学費	88
第6章 まとめ	89
I. フィリピン教育機関と日本の教育機関の連携の可能性	89
II. その在り方	90

補足資料

<1> フィリピンの経済基本情報	91
<2> フィリピンの新成長産業-観光産業	93
<3> HRM/観光学部がある大学リスト（379 大学）	94
<4> フィリピン国立大学の交換留学生申請フォーム	103
<5> フィリピン国立大学生の海外留学条件	104
<6> ACCESS 大学（ホテル＆レストン専門学校）の科目と単位	105

はじめに

この報告書は富山県の中核的ホテルマン育成の為、日本の専門学校・大学とフィリピンの大学との間の単位互換の調査である。

2020 年の東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定。これを契機に世界からお客様を迎える「観光立国」の真価が問われる時代に突入した。

日本は大都市圏のみならず、地方都市にも新しい観光を担う中核的ホテルマンの育成が急務である。中核的ホテルマンは自己の職務についての専門知識のみならず、海外から来るお客様への国際共通語の英語によるホスピタリティが求められている。日本が観光立国の名にふさわしいホスピタリティ産業の中核的ホテルマン育成を目的に、海外でホテル・レストラン・マネジメント留学、及び実践的な海外ホテルでインターンシップ体験できる可能性の為に調査した。

フィリピンが国際共通語の英語を公用語として使い、国民の95%以上が英語を話す。欧米でも注目を浴びる8,000の島々の恵まれた観光資源、ホスピタリティが豊かで大家族主義、多くの大学や職業専門学校が重要産業の観光学を教えている。これらを背景に、中核的ホテルマン育成の為に調査がフィリピンの大学とホテルで行われた。

また、この報告書にはフィリピンの国策として注目を浴びる統合的なカジノ産業、医療観光産業（メディカル・ツーリズム）、語学産業の英語教育なども調査結果に盛り込んだ。

以上、この報告書は日本の専門学校と大学がフィリピンの大学との単位互換プログラムの実現と海外インターンシップについて調査整理した内容を報告書にまとめたものである。

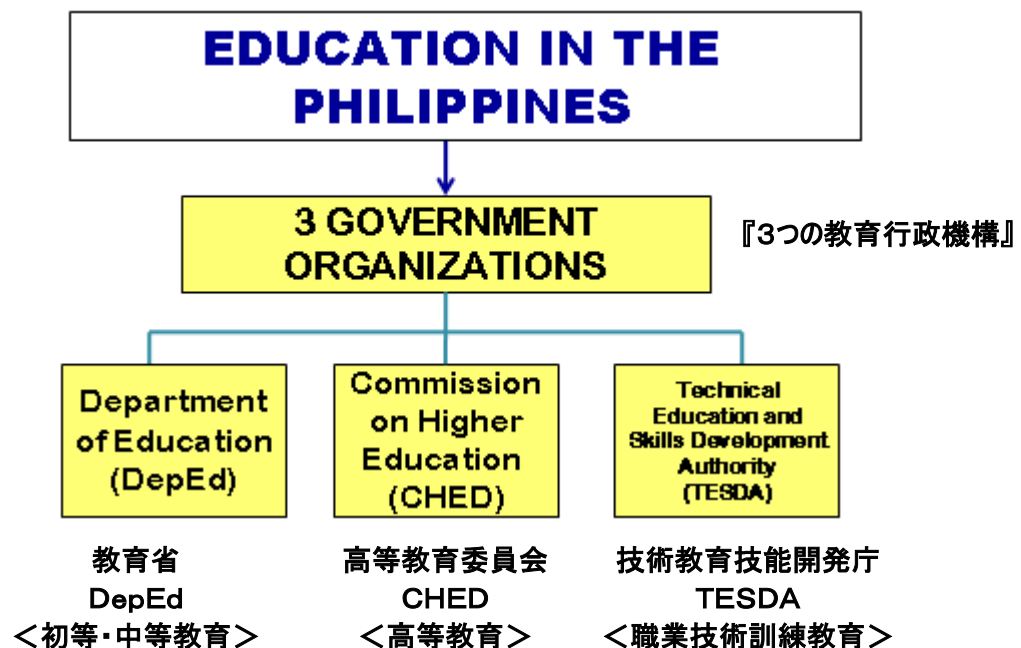
第1章 フィリピンにおける職業教育制度

I. フィリピンの教育制度

フィリピンの教育行政は、「基礎教育」を教育省 (DepEd)、「高等教育」を高等教育委員会 (CHED)、「職業技術訓練教育」(TESDA)を技術教育技能開発庁の3つの教育行政機構が管轄している。

この教育行政機構体制の下で、各セクターは決められた教育政策に取り組んでいる。以下、各教育行政の組織について簡単に概要をまとめた。(図表 1)

*『フィリピン教育行政』(図表 1)



1) 初等教育

初等教育は通常 6 年、私立教育の一部では 7 年の基礎教育を提供している。小学校就学年齢は 6 歳からはじまり、一般的に初等教育は 1～4 年までの低学年と 5～7 年までの高学年の 2 つのレベルに分けられる。就学前教育は保育園と幼稚園からなり、初等教育に属する。

2 歳半から 4 歳の子どもは保育園、5 歳又は 6 歳まで幼稚園に通うことが可能で、その後小学 1 年生に進学する。

2) 中等教育

中等教育は、4 年間の正規の学校教育であり、基礎的な職業技術訓練を含む。入学条件は、初等教育レベルを修了していることである。生徒は12 歳で中等学校に入学し、15 歳で卒業する。なお、初等及び中等教育が「基礎教育」として扱われている。

2012年現在、初等教育の学校数は44,800小学校(生徒数13,900千人)、中等教育の学校数は10,400高校(生徒数6,800千人)である。(図表 2)

*** フィリピンの基礎教育期間と学校/学生数** (図表 2)

フィリピンの基礎教育	期間	学校数	生徒数/2012 年
Primary Education (初等教育/小学校)	6 年間	44,800 校 (公立 89%) (私立 11%)	13,900 千人
Secondary Education (中等教育/高校)	4 年間	10,400 校 (公立 57%) (私立 43%)	6,800 千人

＜出所：2012 年版フィリピン教育省資料＞

3) 高等教育

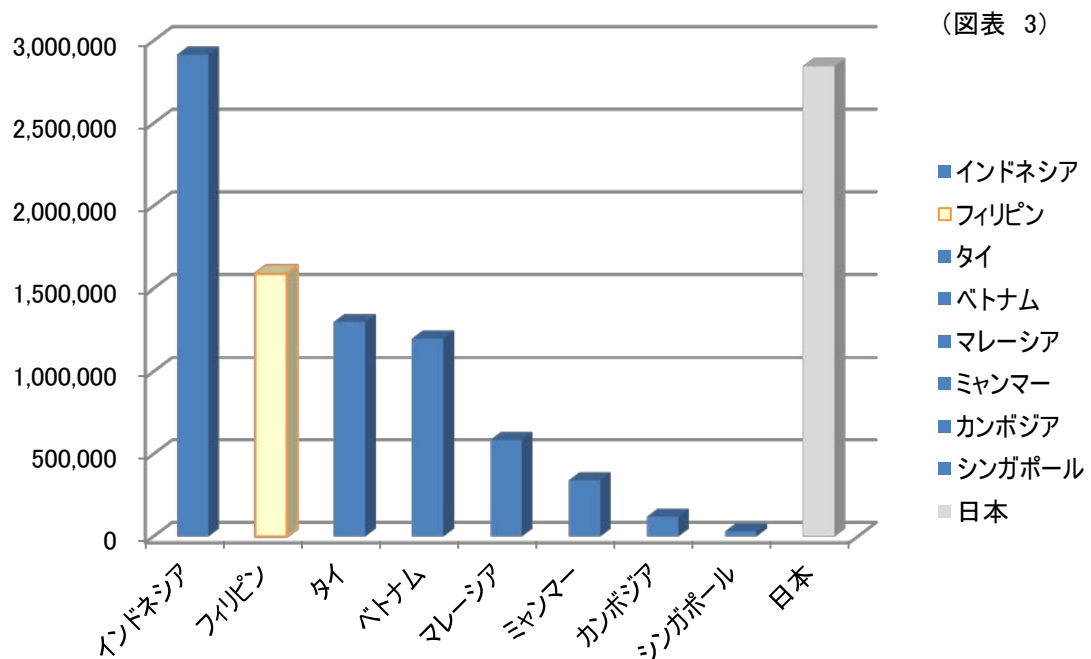
高等教育は、専門的職業や学問分野の学位に必要とされる大学教育のカリキュラムを提供している。その他に中等教育修了後の教育に、2年または3年の学位が取得できない技術訓練や専門課程がある。フィリピン的高等教育機関は、国公立大学と私立大学があり、その数では私立大学の割合が高い。高等教育の主管は高等教育委員会(CHED)である。

調査によると、2013年現在のフィリピンの大学生数は159万人(図表 3-1 & 2)。参考までに、東アジアの中国の大学生数は約2700万人、日本人は284万人、韓国は295万人である。

*** フィリピンの大学校数と大学生数**

アセアン諸国の大学生数	
アセアン諸国と日本	大学生数
インドネシア	2,915,291
フィリピン (大学数 2,294 校)	1,590,000
タイ	1,300,000
ベトナム	1,200,000
マレーシア	585,000
ミャンマー	340,000
カンボジア	120,000
シンガポール	30,000
日本	2,846,000

＜出所：CHED & アセアン諸国ランキングリスト 2014 年版/筆者一部編集＞



＜出所: CHED & アセアン諸国ランキングリスト 2014 年版/筆者図表作成＞

4) 職業技術訓練教育

フィリピンにおける職業技術訓練は、フィリピン産業の国際競争力を確保すると同時に、技術教育・技能開発に関して、教育セクターの一つのサブセクターとして、正規の学校教育の補完をする役割を担っている。

本来、職業技術訓練教育は学校教育と性質が異なるが、人間形成を幅広く教育の分野で実施していくという観点から、学校制度の一環と位置づけられている。

職業技術訓練教育は、技術教育技能開発庁 (TESDA/Technical Education and Skills Development Authority) の所管となっている。

TESDA は職業技術教育訓練のプログラムだけでなく、工業・製造業・サービス業における専門助手制度などを含め、中級レベルの技能教育・訓練全般にわたって管轄している。職業技術訓練のプログラムは、資格証書を発行する訓練コースに加えて、地域内企業ニーズに合わせた職業訓練内容を必要に応じて企業等と擦りあわせてプログラムすることもある。

5) 正規の学校教育以外の制度

正規の学校教育制度に就学した全ての生徒が学校を修了するわけではない。このため経済的事情、身体的理由などの特別なニーズを持った国民に応えるために、以下の特殊教育サービスを提供している。

① ノン・フォーマル教育、オルタナティブ学習システム

学校を基礎とした活動により構成され、特に非識字者、成人、非就学青少年などの対象者が、特別な学習目標の達成を目指す。

② 特殊教育

優れた才能のある児童や、身体、精神、感情、社会、文化的に何らかの難さはあるが、個人の能力を発展させるプログラム。対象者は個々に適した教育プログラムを受けることができる。

基礎教育、ノン・フォーマル教育、特殊教育は教育省 (DepEd) の所管となっている。

II. 3つの教育行政機構

1) 教育省 DepEd (Department of Education of the Philippines)

教育省は、「万人のための教育」の目標実現を目指して、基礎教育に取り組む機関として設置された。現在、教育省はフィリピン大統領秘書官が長官となっている。

初等教育局、中等教育局、ノン・フォーマル教育局の3つの局が、カリキュラムと職員の開発政策、基準、プログラムの立案を行っている。従来は中央集権的な体制であったが、現在は分権化が進められている。地方事務所は以下のような構成である。

① 地方事務所

ムスリム・ミンダナオ自治区 (ARMM) を含む18 地方事務所、地方部長 (ARMM の場合は地方長官) が長を治める。

② 州政府・市事務所

147 州・市事務所 (division office) は、各州・市の教育長の下にある。州・市の下に2,182学区があり、区の監督官が長を務める。

③ 州政府・市事務所に直属学校と学区

学校には、州・市事務所に直属の学校と、学区 (district) に属する学校がある。

2) 高等教育委員会 CHED (Commission on Higher Education)

CHED は、国内高等教育制度の効率的運営のために、大学の政策、計画、プログラムなどの作成と実施を行っている。高等教育委員会の政策取り組みは、特に大学の教育の質とその質レベルの向上に焦点を当てたものが多くなっている。

CHED の組織は、高等教育に関する計画、政策、戦略の作成を担当する計画委員会と、委員会の運営に関する重要な事項と問題を決定する経営委員会に大きく分かれる。

CHED アドバイザー理事会が委員の補助にあたり、国の発展ニーズと奨学金ニーズを満たす

ことで高等教育委員会の政策や計画を達成する。リージョン別の高等教育委員会は各地方の実施部署がその機能を持っている。（図表 4）

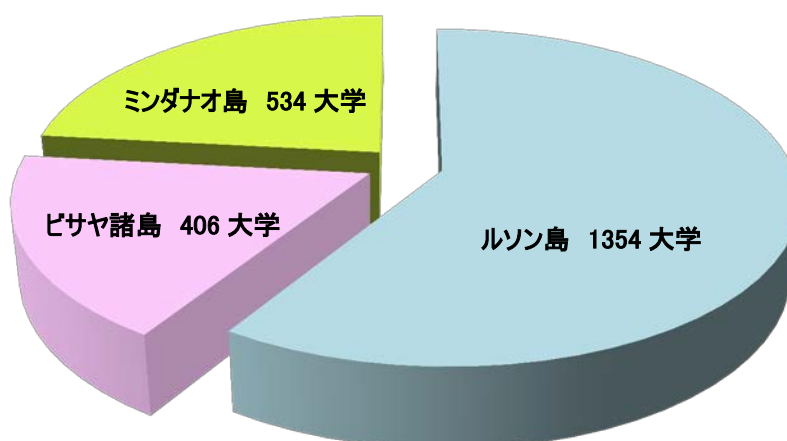
*** 高等教育委員会（CHED）加盟のリージョン別フィリピン大学数**

リージョン Region	大学(数)	3大ブロック	全国
首都圏 NCR	330	1,354 校	2,294 大学
北ルソン R-1	57		
イロコス R-2	114		
カガヤンバレー	73		
中部ルソン R-3	234		
カラバゾン R-4A	305		
ミマロパ R-4B	89		
南ルソン/ビコール R-5	152		
西部ビサヤ R-6	151	406 校	
中部ビサヤ R-7	160		
東部ビサヤ R-8	95		
ミンダナオ サンボアング R-9	106	534 校	
ミンダナオ 北部 R-10	112		
ミンダナオ ダバオ R-11	98		
ミンダナオ ソクスサゲン	92		
ミンダナオ スリガオ	60		
ミンダナ オオートモス モスリム	66		

＜出所：高等教育委員会 CHED 2012 年＞（図表

4）

*** CHED 加盟の大学総数（2,294 大学）**



3) 技術教育技能開発庁 TESDA (Technical Education and Skills Development Authority)

職業技術訓練を担当する行政機能は、かつて、国家人材・若年者評議会、教育・文化・スポーツ省の組織であった技術職業教育局、および労働省地方雇用局内の見習教育制度に分かれていた。これらを集約したのが、労働雇用省下の技術教育技能開発庁TESDA である。

職業技術訓練TVET(Technical Vocational Education and Training)は、公的な訓練機関、民間企業、職業訓練校、地域の職業訓練センターなど様々な形態を通じて提供されているがTESDAはこれらを全般にわたって監督する責任を負っている。

下記の図表は Philippines Education(フィリピン教育省)、CHED(高等教育委員会)、そしてTESDA(ノンフォーマル教育局)が管理している教育年齢とその役割の構図である。

TESDAはラモス大統領が1994年、国際的な技術競争力を持った人材育成することが目的で創設された。それはDOLE(労働雇用省)とDECS(教育文化スポーツ省)協同参画による全国組織である。

経済的に恵まれず、やむなく大学、高校中退者や企業内再教育など、新技術習得希望者を対象に、クラス講義やインターネット教育で年間350万人以上が受講している。

① TESDAと提携している職業専門学校

TESDAの教育施設は、首都圏マニラを中心に、州政府、地方政府、大学(マカティー大学等提携大学57大学)、民間教育施設とタイアップしている。

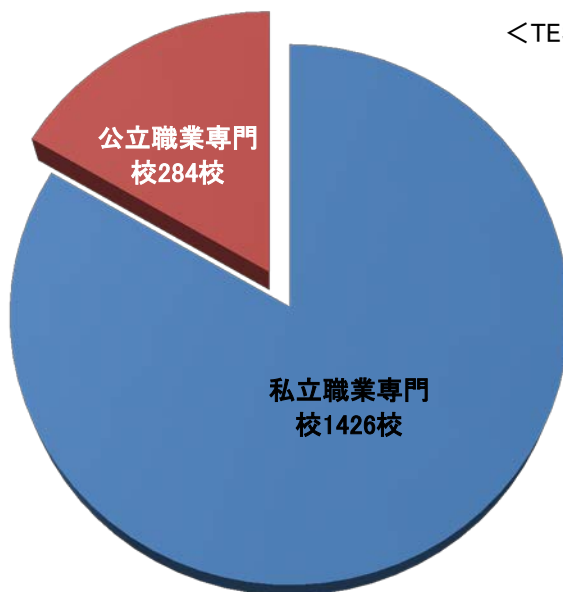
TESDA直営の教育訓練施設とTESDA以外の教育訓練施設を合わせると、TESDA関連と教育施設の合計は3,400カ所近くになる。

下記はTESDAが認定した専門学校の合計数は1,710校になる。内訳は公立職業専門学校が284校、私立職業専門学校が1,426校ある。(図表5)

TESDAと提携している全国の専門学校数（TESDA 認定 1,710 専門学校）

TESDAと提携している専門学数	
私立系の専門学校	1,426 学校
国公立系の専門学校	284 学校
全国専門学校数	1,710 専門学校

<TESDA 資料より、図表は筆者編集>（図表 5）



② 技術職業教育訓練 TVET（Technical Vocational Education and Training）

全国に TESDA 直営の訓練所、TESDAと国公立大学の合同の技術教育訓練所、専門学校の合計数は 3,397 ヲ所。その内、首都圏マニラ(16 市)にある職業教育訓練所(TVET)は合計で 991 ヲ所に上る。

* TVET/首都圏マニラと全国 12 リージョン/74 地区の技術教育訓練所（図表 6）

技術教育訓練施設がある地域（TVET / Region1～12）	
R-NCR リージョン首都圏（首都圏マニラ 16 市）	R-7/中央ビサヤ地域（セブ他 3 地域）
R-1/イロコス地域（ラウニオン他 6 地域）	R-8/東ビサヤ地域（レイテ他 4 地域）
R-2/カガヤン・バレー地域（イフガオ他 6 地域）	R-9/西ミンダナオ地域（スルー他 4 地域）
R-3/中部ルソン地域（パンパンガ他 5 地域）	R-10/北ミンダナオ地域（カミギン他 6 地域）
R-4/南タガログ地域（ラグナ他 9 地域）	R-11/南ミンダナオ地域（ダバオ他 4 地域）
R-5/ビコール地域（カマリネス・スー他 5 地域）	R-12/中央ミンダナオ地域（ラナオ他 4 地域）
R-6/西ビサヤ地域（イロイロ他 4 地域）	TESDA直営は 74 地域/職業教育訓練所

<TESDA 資料より、図表は筆者編集>

③ 教育期間と教育プログラム

TESDA の教育期間はカリキュラムにより、数週間から 1～3 年間の技術・技能研修プログラムが用意されている。

主な技術・訓練技能研修プログラムは次のような学習コースがある。

- ・ ホテル・レストランマネジメント、医療介護士・看護師アシストなど
- ・ コールセンター向けの外国語教育など
- ・ コンピュータ技術として、パソコン、携帯電話、機器修理、電子技術など
- ・ 電気・機械コースは電気技師・配管工・溶接工など
- ・ 自動車整備士・ディーゼルメカ・大型車など

4) 各教育機構と教育開始年齢

2014 年現在の幼稚園から大学までの教育年齢は下記のとおりである。

* フィリピンの教育年齢の構図（2014 年現在）（図表 7）

年齢	学級		
19 才	4 年生	高等教育 (CHED)	技術教育技能開発庁 (TESDA)
18 才	3 年生		
17 才	2 年生		
16 才	1 年生		
15 才	4 年生	基本教育 (DepEd) Secondary education / 中等教育	
14 才	3 年生		
13 才	2 年生		
12 才	1 年生		
11 才	6 年生	Primary education / 初等教育	
10 才	5 年生		
9 才	4 年生		
8 才	3 年生		
7 才	2 年生		
6 才	1 年生	公立幼稚園はオプション	
5 才	Pre-school 幼稚園		
4 才	Pre-school 幼稚園		

< 出所: フィリピン DepEd/教育省資料より、筆者編集 >

Ⅲ. フィリピンの教育改革

1) 教育改革プログラム

2012 年に、フィリピン政府は「K to 12 プログラム」(幼稚園/Kinder garden から 12 年間の基礎教育プログラム/ 12 プログラム)」という意)の教育改革制度を打ち出した。

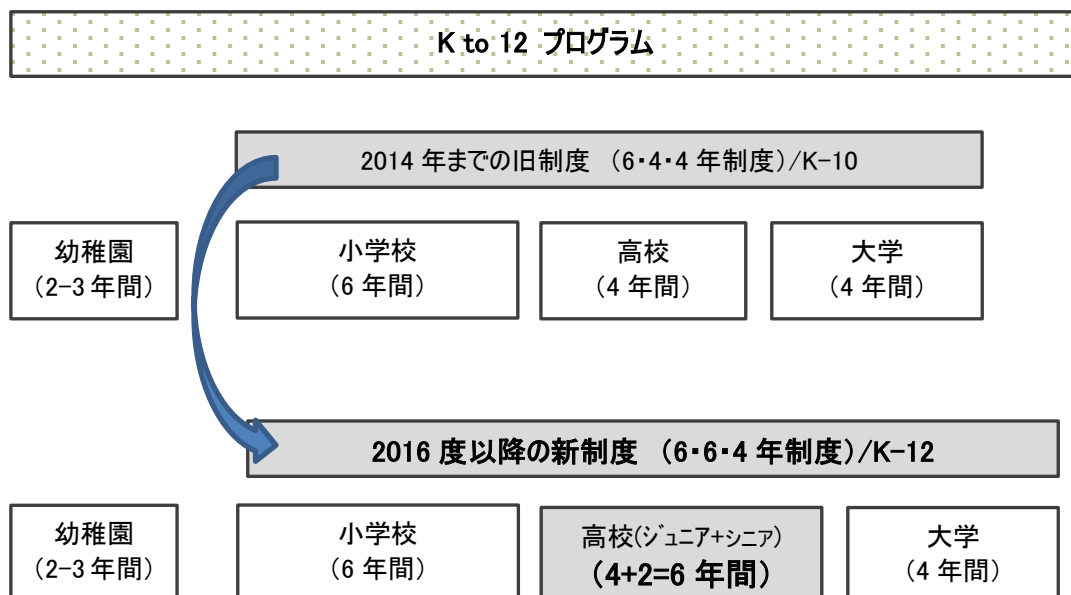
K-12 プログラムは、初等教育の前年 1 年間の幼稚園を義務教育とした。2016 年からフィリピン全国の高校は現状 4 年間のジュニア・ハイスクール修了後、更に 2 年間のシニア・ハイスクール(新設)を追加する。(図表 8)

その結果、大学入学までの基礎教育期間 10 年間(K-10/図表 7)を 2 年延長して、12 年間(K-12)とする教育法案を改正する。

この教育改革により、2015 年度生(2016 年 3 月卒業生)が最後の旧教育制度(K-10)の高校卒業生となる。そして 2016 年 6 月に、初めての新教育改革制度(K-12)の高校卒業生が誕生することになる。

したがって、2012 年度に高校入学した者(ジュニア 4 年)が上級高校(シニア 2 年)で過ごす。言い換えると、2 年後の 2016 年度と 2017 年度は、大学へ進学する者がゼロの空白の年になる。その結果、2020 年度と 2021 年度の大学新卒者もゼロになる。

* K - 12 プログラムの流れ (図表 8)



< 出所: フィリピン DOE/教育省資料より、筆者編集 >

2) K-12 プログラム

① 教育改革の目的

これまでも諸外国の教育制度と比較して、フィリピンの中高等教育（ハイスクール）は他国より 2 年間短いことの問題点を指摘されてきた。

第一に、基礎学力の低下である。12 年間分の内容を 10 年間で詰め込むため、教育の質が低下しているといわれている。

このような基礎学力の低下は、高校卒業後に、就業もしくは進学する若者自身にとっても、また彼らを受け入れる企業や大学にとっても喜ばしいことではない。例えば、各種国家試験の合格率の低下が近年問題になっているが、これも基礎学力の低下にあるとされている。

第二に、就業の問題である。フィリピンの成人年齢は 18 歳だが、高卒時は 16 歳である。16 歳では精神的にもまだ未成熟で、就職先も限られる。

就業経験が不十分だと経験不足とみなされる。その後の雇用機会にも恵まれず、失業状態が続く可能性が高い。実際、フィリピンの失業者の約 3 割は高校卒の学歴保持者であり、同じく失業者の半分が 15-24 歳の若年層である。

第三に、海外との制度の違いがもたらす不利益がある。例えば、12 年間の基礎教育を条件とする海外の大学に直接進学できない。

2 年間、国内の大学に在学するなどして時間を費やす必要がある。また海外勤労者（OFW/Overseas Filipino Worker）のなかには、国内では専門的な知識を持つエンジニアとされていても、海外では基礎教育が不足しているとして一段階下のテクニシャン扱いになるケースもある。

これまで中高等教育が 2 年短い問題点は、K-12 の教育改正によってフィリピン人が背負っていた多くの不利益が解決される。

そして、フィリピン人の日本への留学や技術者・技能者の海外就業の機会が増え、期待されることが多くなる

しかし、K-12 教育プログラムの改革により、暫定的ではあるが、2016 年と 2017 年は大学進学する学生がゼロになる。そして 2020 年と 2021 年には新卒大学生を輩出しない。

その 2 年間は新卒の就職者がいなくなることを心配する企業もある。（図表 9）

② 進級プログラム

旧教育プログラムの k-10 から k-12 プログラムに代わるが、2016 年と 2017 年の 2 年間、新入大学生の空白が生まれる。また、2020 年と 2021 年は新卒の大学生がいない。

* K-10 から K-12 プログラム課程による進級プロセス（図表 9）

	旧教育制度 (K-10)	新教育制度 (K-12)	
2012 年度	高校 2 年	ジュニア高校 1 年	
2013 年度	高校 3 年	〃 高校 2 年	
2014 年度	高校 4 年	〃 高校 3 年	
2015 年度	大学 1 年	〃 高校 4 年	
2016 年度	大学 2 年	シニア 高校 1 年	} 2016 年と 2017 年は 大学入学生がゼロ
2017 年度	大学 3 年	〃 高校 2 年	
2018 年度	大学 4 年	大学 1 年	
2019 年度	就職	大学 2 年	
2020 年度		大学 3 年	} 2020 年と 2021 年は 大学卒業生/新卒の就職者ゼロ
2021 年度		大学 4 年	
2022 年度		就職	

<DepEd/教育省資料より、図表は筆者編集>

第2章 産学連携の状況

I. フィリピンのホスピタリティ産業

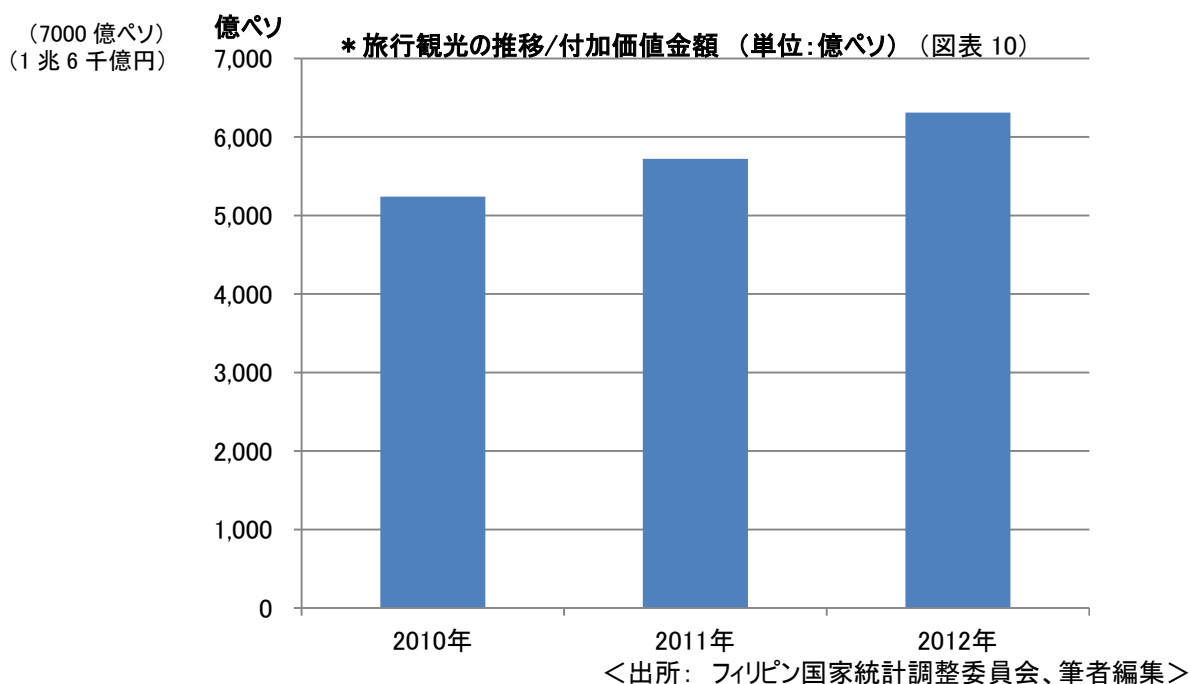
ホスピタリティ産業は欧米を中心にビジネス研究が進んでいる。その産業は経済に与える影響は大きく、関連産業のすそ野は広い。フィリピンでは第二次産業の製造業よりも第三次サービス業が盛んである。観光産業、宿泊産業、飲食産業、余暇関連産業、健康産業、医療・介護産業がフィリピンのホスピタリティ産業として急成長している。最近ではフィリピン人の英語力と豊かな国民性ホスピタリティを武器に、IT委託産業のコールセンタービジネスは世界一になった。

1) 観光産業

フィリピンは約 8000 近くの島々からなる南国である。国内には数多くのビーチ・リゾートが存在し、8 千の島の顔を持つ世界有数の観光資源を持つ国だ。

著名なセブ島以外にも、ボラカイ島は世界的に有名な旅行雑誌のトラベル&レジャー（本社：ニューヨーク）が 2 年連続で、海外で有名なバリ島、ガラパゴス、マウイ島、グレートバリアリーフなどを押さえて世界 1 の島に選んでいる。その他、各種の世界人気リゾート・ビーチランキングでフィリピンのリゾートビーチは世界観光地のトップ、あるいは上位を占めるようになった。

また、マニラ首都圏及びその周辺（ボニファシオ、イーストウッド・シティ、アラバンなど）、セブ島とその近接地のボホール、パラワン、避暑地でもあるタガイタイ、バギオなどが挙げられる。



多くの魅力のある観光資源をもち、国民性としてスペイン人の血が流れるラテンアジア系の明るさと大家族主義のホスピタリティーの相乗効果で、世界屈指の観光立国になりうる潜在力を有する国である。

国民の95%以上は英語を話し、人件費コストが安いことは人的資源から見ても、観光産業の潜在的な発展可能性は大いにある。

フィリピンの国家統計調整委員会が、2013年12月に、2012年の観光産業の動向を発表した。それによると、2012年の旅行産業の直接粗付加価値額(TDGVA:名目ベース)は名目GDP(国内総生産)に対して6.0%占めている。

① 経済成長伸び率と観光産業

ここ数年フィリピンの経済成長は目覚ましく、アセアン主要5か国の中で経済成長率はトップを走っている(図表11)。その牽引役が観光産業であり、そしてITのビジネスアウトソーシングと海外勤労者の母国送金による消費経済が高い成長率の背景にある。

*ASEAN 主要5か国の経済成長率(実質GDP) (図表11)

■ 2013年 ■ 2012年

(フィリピンの経済成長率 2012年6.8%、2013年7.2%)



<出所:国際通貨基金(IMF)2014年4月>

2013年に海外からフィリピンを訪れた観光客は468万人と前年に比べて9.6%増えた。政府は2016年までに1000万人の誘致を目標に掲げ、道路整備やホテル、カジノ開発などの設備投資、国際線のアクセス改善などに取り組んでいる。

東京とマニラ間のフライト時間は4時間前後の約3000kmの距離。東京からタイのバンコクまで4600km、同じくインドネシアのジャカルタまで5800km。つまり、日本とフィリピンの距離はASEAN諸国の中で身近な距離といえる。

比国観光省は、まず観光をきっかけにしてフィリピンを知ってもらい、フィリピン人材サービスや投資などに結びつくよう人の交流を深めたい戦略を考えている。

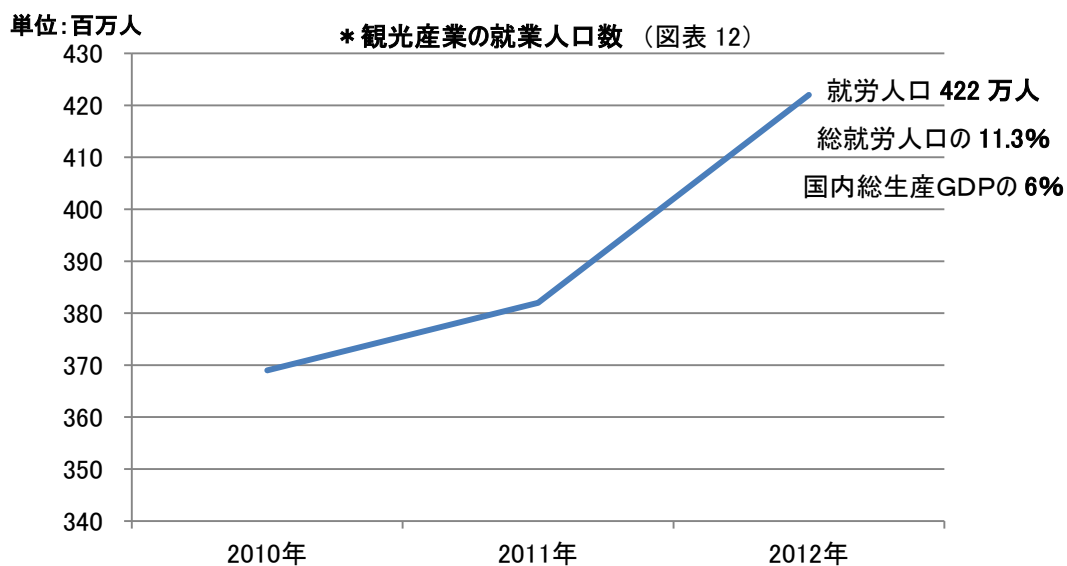
つまり、日本の製造産業の投資誘致のみならず、サービス産業(IT産業のコールセンターや教育産業の英語留学など)への積極的な投資誘致を狙っている。

② 観光産業の推移

フィリピンの観光産業はGDPシェアの6.0%を占めている。2010年5.8%、2011年は5.9%、2012年は6.0%と、観光産業関連ビジネスは順調に成長が続いている(図表12)。

③ 観光産業の就業人口の推移

フィリピン観光産業の就業者数は年々増えている。大学生や職業専門学校の間でも、将来も期待できるサービス産業だということで、文科系学部の中でもHRM(Hotel Restaurant Management)学科と観光学科は人気が高い。



<出所: フィリピン国家統計調整委員会、筆者編集>

*** フィリピン観光産業の推移**

年度	2010 年	2011 年	2012 年
旅行・観光付加価値 (TDGVA)	5239 億ペソ (1 兆 3097 億円)	5722 億ペソ (1 兆 4305 円)	6311 億ペソ (1 兆 5777 億円)
GDP シェア	5.8%	5.9%	6.0%
観光産業関連就業者	369 万人	382 万人	422 万人
国内の就業者総数の割合(%)	10.2%	10.3%	11.3%

＜出所：フィリピン国家統計調整委員会＞

また、2012 年度の旅行関連産業における就労者数は前年比 10.4%増の 420 万人に達した。国内の総就業者数 3,727 万人の 11.3%(詳細は図表 13)を占めている。これは、前年の 10.3%から大幅な上昇である。観光産業の就業労働人口のシェアは、2000 年～2006 年は 9%台、2007 年から 2013 年は 10%台前半で推移しており、政府は雇用面でも観光産業を重視している。

今後 2020 年まで、フィリピン政府の国策であるマニラ湾のカジノ産業、ホテル産業などの総合レジャー産業の発展が予想される。国家戦略としての観光産業の成長は、GDP に占める割合が更に大きくなると思われる。

④ 観光関連業の成長率

2013 年は台風などの大きな災害に見舞われたことで、フィリピン訪問客数がやや伸び悩み、2013 年フィリピン訪問者数 500 万人という目標は難しくなりつつある。しかし、今後は、フィリピンの旅行・観光産業が飛躍的に発展する可能性が大きい。

*** フィリピンの観光ビジネス別の粗付加価値(BVA)の成長率 (図表 13)**

年度	2011 年(前年%)	2012 年(前年%)
旅行・観光特定生産物	10.8	12.1
ホテル、施設サービス	8.8	12.0
旅客サービス	9.0	9.9
旅行代理店、予約サービス	19.4	11.5
娯楽・レクリエーション・文化	7.1	19.6
その他、観光サービス	9.2	14.6
(ウェルネス・ヘルスケア)	8.9	16.0

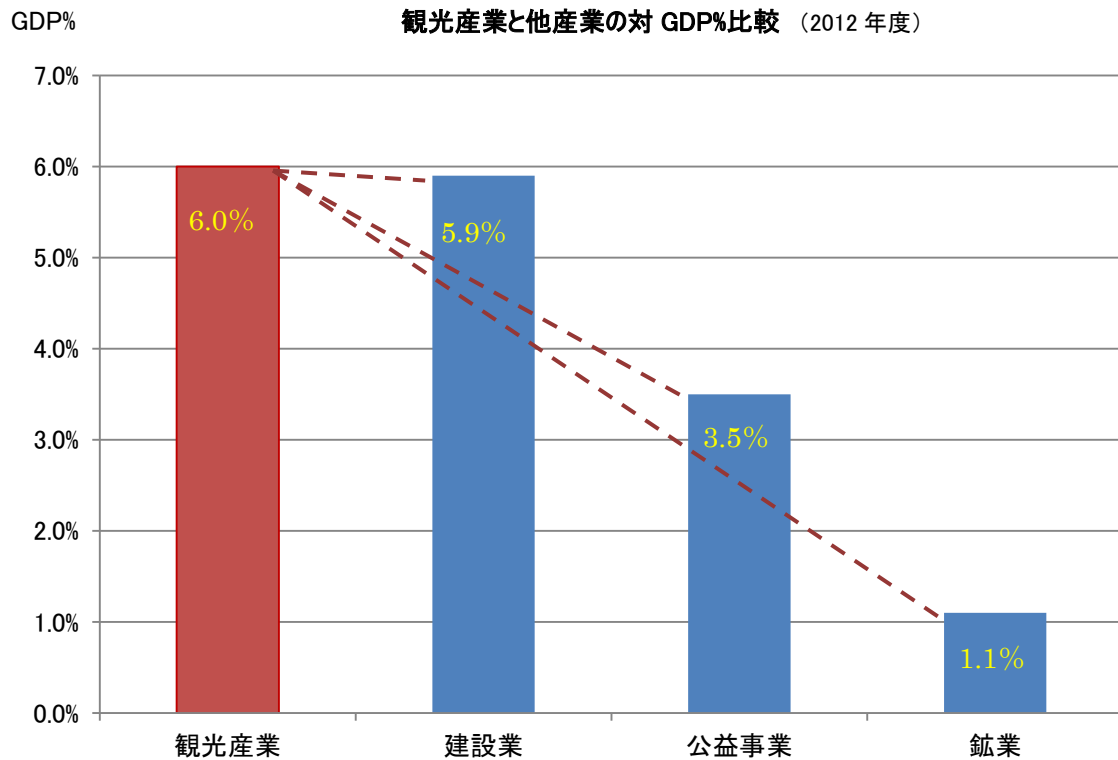
＜出所：フィリピン国家統計調整委員会資料より作成＞

政府は 2016 年までに 2014 年推定観光客数 430 万人が 1000 万人に目標策定した。観光省(DOT/Department of Tourism)が国際知名度を上げるために「ビジット・ザ・フィリピンズ 2015」キャンペーンを掲げ、2014 年度 TTG トラベル・アワード(※1)において、「デステイネーション・オブ・ザ・イヤー 2014」(2014 年お気に入り旅行先)を受賞。

(※1) TTG トラベル・アワードはアジア太平洋地域最大の発行部数を誇る旅行業界誌「トラベル・トレード・ガゼットアジア(TTG)」が主催し、1989 年より毎年開催されている。授賞式はタイの首都バンコクで 10 月 2 日に開催された。フィリピンからはヒメネス観光相が「アジア地域で最も素晴らしい観光地」としてトロフィーを受け取った。 <14 年 10 月 3 日フィリピン政府官報転載>

⑤ 観光産業と他産業の比較

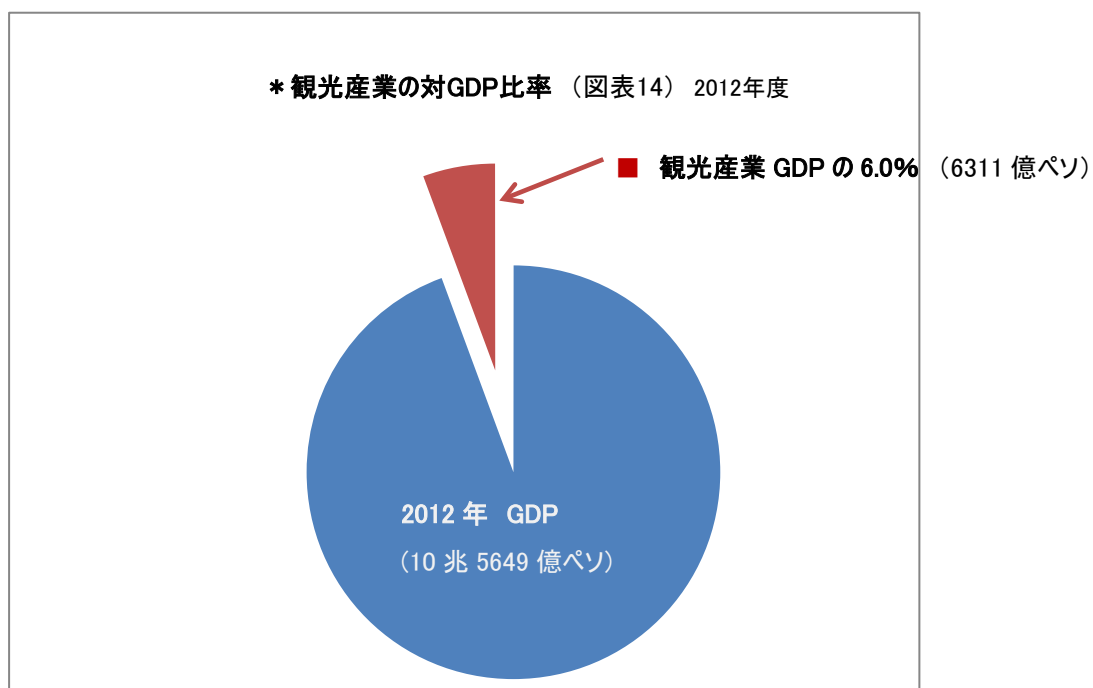
観光産業の規模は GDP シェア 6.0%を占める。観光産業は建設業の 5.9%、公益事業（電気・ガス・水道）の 3.5%、鉱業の 1.1%など重要産業よりその規模は大きい。



<出所：フィリピン国家統計調整委員会、筆者編集>

⑥ 観光産業の対 GDP 比較

2012 年の観光直接粗付加価値額は前年比 10.3%増の 6,311 億ペソ(1 兆 5777 億円)に達し、2011 年の前年比 9.2%増を上回る。その結果、観光産業の対 GDP(10 兆 5,649 億ペソ/26 兆 4122 億円)の 6%(図表 14)を占めた。



<出所: フィリピン観光省/2013 年>

⑦ 国別の訪比客数（図表 15）

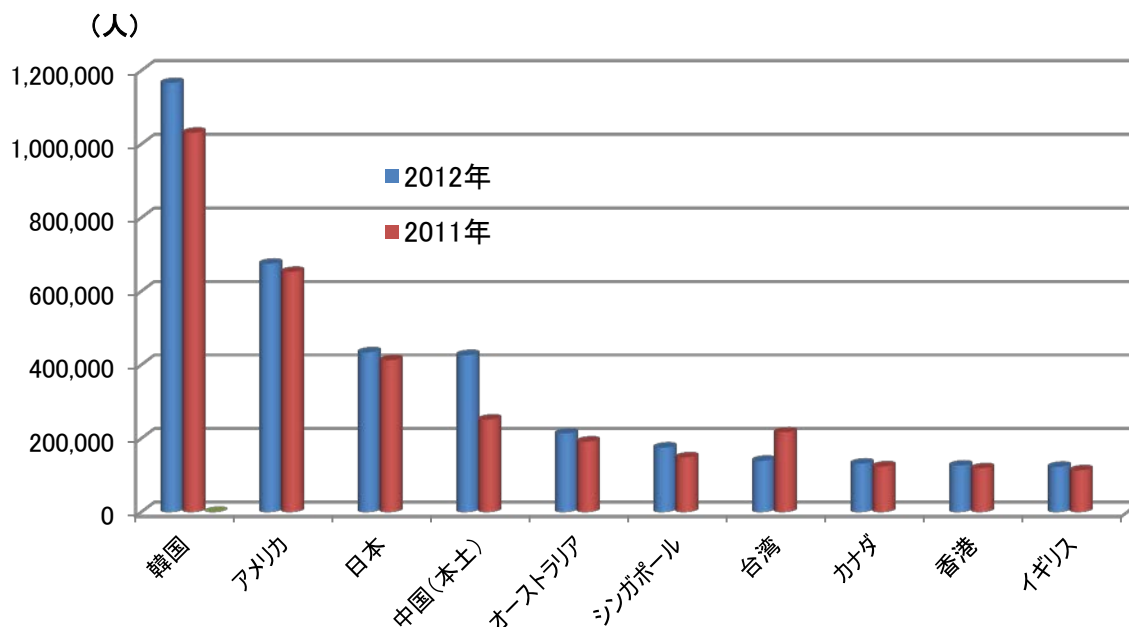
国籍別で見ると、トップは韓国人で前年比 13.1%増の 116 万 5,789 人（シェア 24.9%）、2 位米国は 国人の 3.4%増の 67 万 4,564 人（14.4%）、3 位は日本人の 5.1%増の 43 万 3,705 人（9.3%）、以下国別順位は下記図のとおりである。

* 国別訪比客数 2012 年度（図表 15）

国別	入国者数	前年比%	訪比客数%
1 位: 韓国	1,165,789	13.1	24.9
2 位: アメリカ	674,564	3.4	14.4
3 位: 日本	433,705	5.1	9.3
4 位: 中国(本土)	426,352	69.9	9.1
5 位: オーストラリア	213,023	11.4	4.6
6 位: シンガポール	175,034	18.1	3.7
7 位: 台湾	139,099	-35.8	3.0
8 位: カナダ	131,381	6.2	2.8
9 位: 香港	126,008	6.2	2.7
10 位: イギリス	122,759	8.4	2.6

<出所: フィリピン観光省/2013 年>

* 国別の訪比外国人客数（図表 15）

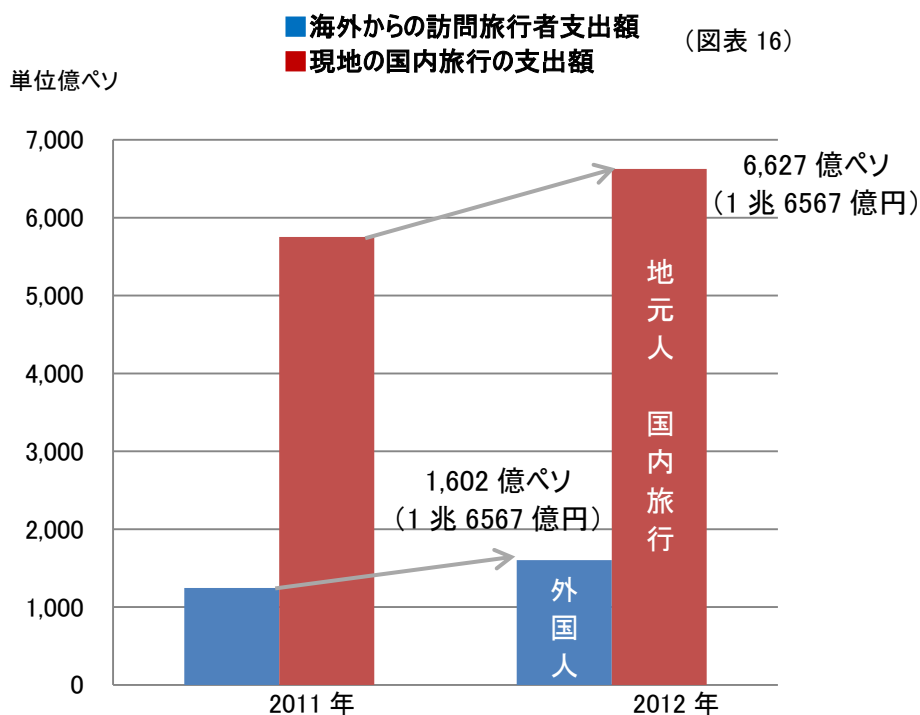


なお、2014 年 2 月のフィリピン観光省発表記事によると、2013 年のフィリピン訪問者の外国人旅行者の平均滞在日数は 9.4 日であった

⑧ 外国人&現地人のフィリピン国内観光支出 (図表 16)

観光の支出は 2012 年のフィリピン訪問者(外国人旅行者及び在外フィリピン人)支出が前年比 28.7%増の 1,602 億ペソ(4005 億円)へと急増。これが直接粗付加価値額(TDGVA)の 2 桁増に寄与した。

また、フィリピンの経済力が増すとともに、フィリピン居住者の国内旅行者数が増加。国内旅行の支出は前年比 15.2%増の 6,627 億ペソ(1 兆 6567 億円)に伸びた。この数字はフィリピン世帯の最終消費額の 8.5%に相当する高い水準である。



＜出所:比国観光省資料を筆者編集＞

⑨ 観光産業への期待

今後、フィリピンの観光産業がさらに成長する要因として、下記のことが期待される。

・ フィリピンのイメージの変化

これまでフィリピンへの投資、観光等を妨げていた大きな要因として、危険、汚いのイメージが強かった。

しかし、経済の安定、ボクシングのパックiao選手等のような世界的ヒーローの出現、現政権の不正防止努力等、本来の陽気で明るいというイメージが戻りつつある。イメージが改善するだけで、潜在能力の高さが顕在化することになる。

- ・ **政府が旅行・観光産業育成に注力**

政府が産業育成のための制度改革やインフラ整備に真剣になり始めた。昨年、地方空港への外国航空会社乗り入れに関する規制が緩和され、地方の空港改修・整備、新空港建設などの動きが活発化している。

- ・ **大手企業が観光事業に積極参入**

大手の不動産企業の大型投資に積極的になった。民間企業、有力財閥が旅行・観光事業に注力している。国際的な LCC 格安航空ブームと新規路線に積極就航、便数を大幅に増加などで旅行客の利便性を高めている。

- ・ **ブランド・ホテル開業が相次ぐ**

これまで、特に、マカティ市周辺の高級ホテル不足が指摘されていた。しかし、2013 年頃から海外大手ホテルチェーンが 5 ツ星クラスのホテルをマカティ市内や新興都市ボニファシオ・グローバルシティにタケノコのように建て始めた。

- ・ **語学留学、メディカル・ツーリズムなど、新しいタイプの旅行・観光**

注目を集めているメディカル・ツアーやスポーツ・ツアーにくわえ、フィリピンは、アジアで最大の英語国。英語留学や社内研修地としての人気を集めており、教育ツアーのメッカとなることも期待できる。

2) 医療観光産業（メディカル・ツーリズム）

メディカル・ツーリズム (Medical Tourism/MT) は、2000 年前後に入って急速に広まった概念である。

重要なことは、それが「新たなサービス産業」に成長したことだ。

メディカル・ツーリズムはいわゆる世界の「グローバル化」が一つの潮流となり、アジア新興国の発展を示す重要な指標となっている。

旧来の「観光旅行」概念、つまり健康体の観光客が、食や景観や文化を楽しむ目的での「観光」を主体とする「海外旅行」という概念でない。観光客(クライアント)は「診断、治療、健康維持・管理」を第一義的な目的とする「海外で治療を受けるための旅行」である。

その意味合いを強調するために、Global Health Care あるいは Health Tourism という用語も使われ

① 新ビジネスの国際的な医療産業

メディカル・ツーリズムは旧来の観光旅行とは大きく異なり、行政施策としての「現地国内の住民向け医療事業」から、先進国の外国人を対象とする「国際的医療産業」への転化した新ビジネスである。新興国の医師、看護師・介護士、医療技術者が先進国の最

新医療技術を学び、医療技術を母国に持ち帰り、母国で先進国の患者治療や検査する外貨獲得の新ビジネスだ。先進国から見れば新興国で観光を楽しみながら安く治療や検査を受けることができる魅力は大きい(図表 17)。

フィリピン人のホスピタリティと国の観光資源を活かしたメディカル・ツーリズムを観光産業の国家戦略の一つに挙げている。2015 年のフィリピン政府観光省による医療目的の外国人受け入れを年間 20 万人、医療観光で 3 億ドルを目標にしている。

*** フィリピンの医療費と米国・タイの医療費の比較表** (2010 年/米ドル&円) (図表 17)

治療内容	フィリピン	米国	タイ
歯科ブリッジ	\$360-600 ¥69,600-66,000	\$5,500 ¥605,000	\$290-430 ¥31,900-47,300
眼科レーシック	\$1,000-1,500 ¥110,000-165,000	\$3,000 ¥330,000	\$625-900 ¥68,950-99,000
心臓バイパス手術	\$11,000-25,000 ¥~2,750,000	\$90,000-144,300 ¥~15,730,000	\$423,000-25,000 ¥~2,750,000
鼻の美容整形	\$400-1,000 ¥~110,000	\$4,000-12,000 ¥~1,320,000	\$600-2,500 ¥~275,000
スパのサービス	41-100 ¥4,510-11,000	\$410-200 ¥45,100-22,000	\$45-100 ¥4,950-11,000

＜出所:Health CORE 2011＞

世界のメディカル・ツーリズム(医療観光)のビジネス規模は約 1 兆ドル以上と言われている。先進諸国のアメリカでは非医療保険者が 3200 万人といわれ、医療費が非常に高いことで知られている。先進諸国の顧客が多い背景には、受療者個々人の医療負担だけに留まらず、国家財政における負担の軽減をはかる目的である。

メディカル・ツーリズムにおける国別の海外から医療観光客(患者)のインバウンドのランキングリストを下記にまとめた。(図表 18)

*** 2010 年メディカル・ツーリスト(インバウンド)の国別トップ 20 ランキングリスト (図表 18)**

国名	世界ランキング	アジアランキング	医療ツーリスト数
タイ	1	1	120 万人
シンガポール	2	2	60 万人
USA	3		40 万人
インド	4	3	37 万人
マレーシア	5	4	35 万人
ハンガリー	6		33 万人
ポーランド	7		30 万人
スロベニア	8		30 万人
ヨルダン	9		21 万人
イギリス	10		10 万人
フィリピン	11	5	8 万人
ドイツ	12		7 万人
韓国	13	6	6 万人
台湾	14	7	6 万人
ベルギー	15		5 万人
ブラジル	16		4 万人
トルコ	17		4 万人
メキシコ	18		3.5 万人
イスラエル	19		3 万人
コロンビア	20		2.7 万人

＜出所：2010 年度 Young Man& Health CORE＞

② 医療観光と HRM/観光学部卒業生

従来の病院や介護施設はクライアント(患者)を待つ“受動的な体制”の仕事であったが、観光産業としてのメディカル・ツーリズムは積極的にクライアント(患者)を獲得する“能動的な体制”へ転換した医療サービス産業である。

フィリピンのメディカル・ツーリズムを進める病院(図表 19)は、外国人患者に病院・施設の案内役する専任者(ガイド)を置いている。外国人外来患者や家族への病院内施設・リハビリ・入院部屋・院内レストランの案内はガイドの仕事だ。国際空港送迎から院内ガイド役までこなすのは HRM や観光学部を卒業した若い専門職である。

その他、外国人向けヘルプデスクは母国の保険会社への請求サービス、外国人患者の治療費の支払い決済などのサービスも受けられる。

③ メディカル・ツーリズム・プログラム参加の病院数

メディカル・ツーリズム・プログラムに参加する病院のカタログは観光会社のパンフレット並みに美しく仕上がっている(図表 20)。料金表や検査内容などは各国語(日本語、中国語など)に翻訳されて配布されている。また、空港から病院までの送り迎えは専任スタッフが

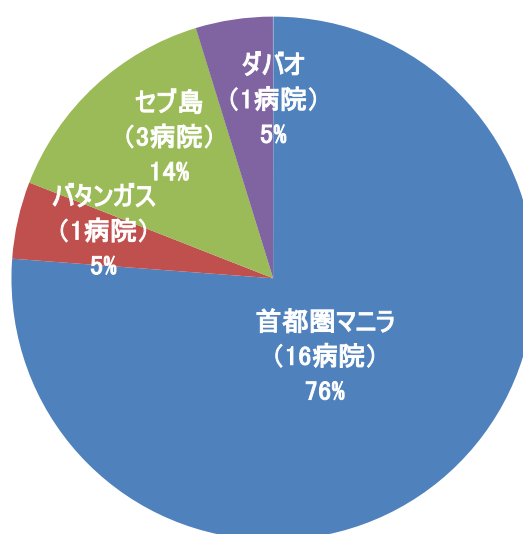
派遣されている。人間ドッグなど院内の宿泊施設、その他医療サービスは観光ビジネス並みのサービス産業に変貌しつつある。

メディカル・ツーリズムのプログラム (Philippines Medical Tourism Program, 2013)

場所	私 立		国 公 立		全 国 合 計	
	病院数	ベッド数	病院数	ベッド数	病院数	ベッド数
マニラ首都圏	11	4,371	5	2,107	16	6,478
バタンガス	1	220	－	－	1	220
セブ島	3	1,210	－	－	3	1210
ダバオ	1	250	－	－	1	250
合計	16	6,051	5	2,107	21	8,158

<出所: Philippine Institute for Development Studies>

フィリピンのメディカル・ツーリズム (図表 19)
参加病院数 (全国 21病院)



<出所: Philippine Institute for Development Studies>

④ 医療観光のPR

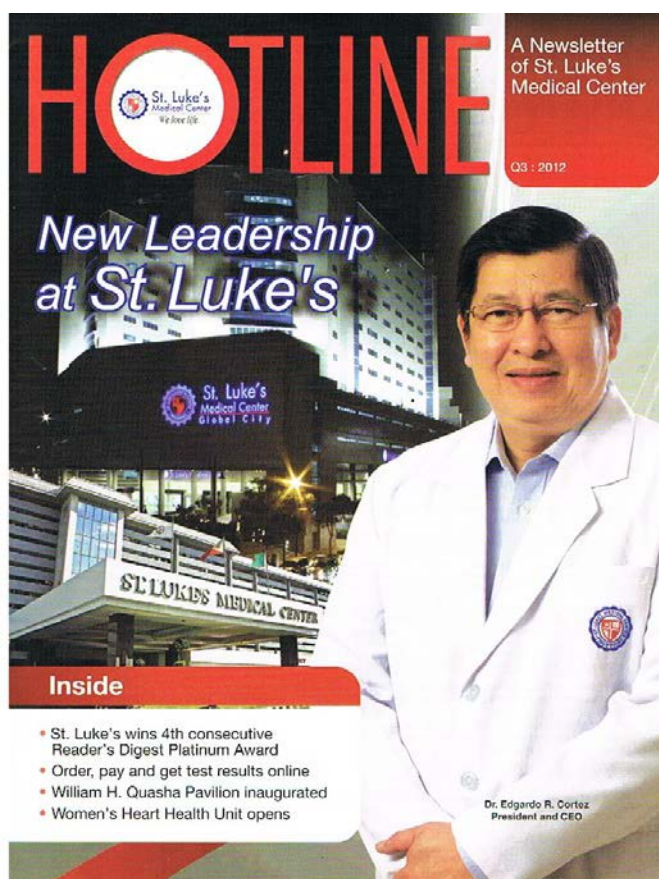
メディカル・ツーリズムを推進する病院は、日本のクライアント(患者)向けに日本語の案内カタログを用意している(図表 20)。また、和食の用意から日本人の英語通訳、医療相談、日本の医療保険金還付手続きの支援まで、きめ細かい医療サービスを行っている。

更には、日本人スタッフがフィリピン人医師との診察、レントゲン技師の検診撮影の立会もしてくれる。2012 年ごろから現地日系企業や医療観光で来る日本人患者は増え続き、口コミによるフィリピン病院側の対応は評判が高い。

一方でフィリピンの医療機関は日本の高齢社会への医療対応や日本の医療先端技術に高い関心を持っている。ここ数年、メディカル・ツーリズムに取り組む病院や医療関係者は、日本の病院や医療関係者と提携を望むケースが増えてきた。

日本の高齢化社会は、日比両国の病院の間でメディカ・ツーリズムに関する医療交流が積極的になってきた。日本側の背景には高齢者の介護施設の不足、看護師・介護士の人材不足など日本国内の介護・看護事情がある。また、フィリピン側は日本人スタッフの採用など、新しい医療観光ビジネスを創造したい強い意欲が感じられる。

＊「メディカル・ツーリズム」のセントルークス病院パンフレットと日本語表示の料金表（図表 20）



健康診断 プランB (1泊2日)

血液一般検査	赤血球、白血球、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板
血液化学検査	血糖、尿酸、クレアチニン、コレステロール、BUN(尿素窒素)、トリグリセライド(中性脂肪)、HDLコレステロール、LDL/VLDLコレステロール、SGPT
血清学検査	HCV抗体検査、B型肝炎スクリーニング
一般検査	尿検査、
循環器系検査	安静時心電図、運動負荷心電図
消化器系検査	腹部超音波検査(肝臓・胆嚢・膵臓)、 検便(寄生虫・アメーバ)、S字結腸内視鏡検査
呼吸器系検査	胸部X線(正面・側面)、肺機能検査
泌尿器系検査	前立腺超音波検査(男性)

婦人科	膣内視鏡超音波検査 又は経直腸(女性)
外科	乳房X線検査(マンモグラフィー・40歳以上)・乳房超音波検査

料金

男性		女性	
プライベート	31,700 ペソ	プライベート	35,700 ペソ
スイート	39,500 ペソ	スイート	43,700 ペソ
プレジデンシャルスイート	47,500 ペソ	プレジデンシャルスイート	51,600 ペソ

カップル(1人あたり)	
プライベート	33,100 ペソ
スイート	39,900 ペソ
プレジデンシャルスイート	45,700 ペソ

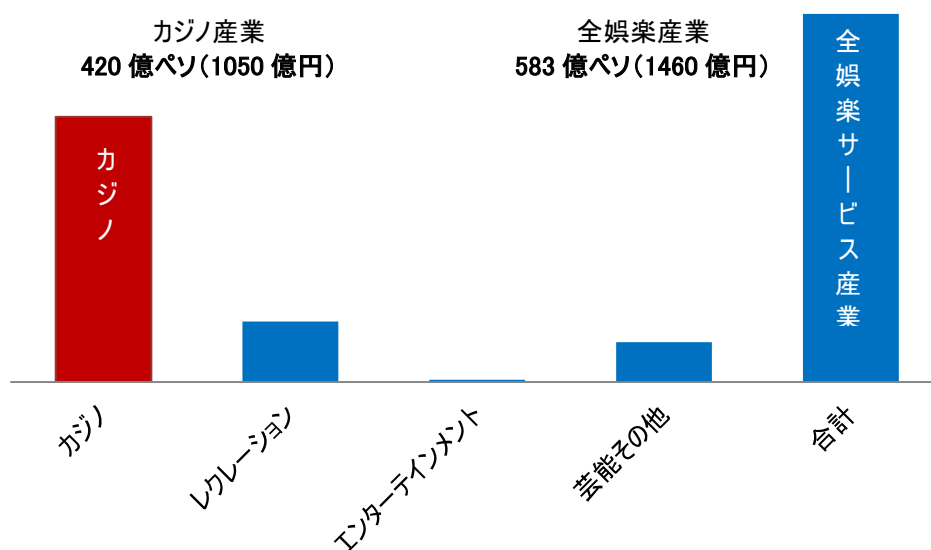
- ＊ プロフェッショナル料金込み。
- ＊ 料金は予告無く変更される場合があります。

3) カジノ産業

2010 年のフィリピンの全娯楽サービス産業の売り上げ規模はカジノ産業を含めて合計 583 億ペソ(約 1,460 億円)であった。

その内訳はカジノが 420 億ペソ (72%、約 1050 億円)、アミューズメント&レクリエーションが 96 億ペソ (16.5%、240 億円)、芸術 & エンターテインメント、3.7 億ペソ (0.6%、7.5 億円)、その他 & 芸能 63.3 億ペソ(10.9%、約 158 億円)である。(図表 21)

* フィリピンの娯楽サービス産業の規模 2010年 (図表 21)



< 出所: 比国観光省資料を筆者編集 >

政府はフィリピン・アミューズメント & ゲーミング公社 (PAGCOR) は同国カジノ産業の規模が 2017 年には 100 億ドル(1 兆 1500 億円)に達すると強気にみている。

この予想がもしも実現すると、フィリピンは、シンガポールを抜き、東南アジア諸国連合 (ASEAN) で最大の「カジノ大国」になる見込みだ。

現地紙のインクワイアラーによると、フィリピンのカジノ産業は 2018 年まで年平均 28% の成長を維持する見通しだ。

すでにマカオのカジノはロサンゼルスやラスベガスの売上を超え、現在はシンガポールが世界 2 位に肉薄する数字を記録している。

そして、いよいよ 2014 年からフィリピンは 3 年前から建設が始まった国家プロジェクト、『エンターテインメント・シティ・マニラ』がマカオやシンガポールに参戦する形だ。今、世界のカジノ産業は複合型の総合娯楽産業として大きな成長転期を迎えた。マカオやシンガポールの例を見るまでもなく、大型カジノの進出はホテルやレストラン、エンターテインメント施設、高級コンドミニアム、スポーツ施設、医療クリニックなどが隣接して複数設置されるので、その相乗効果は大きい。政府公社の「PAGCOR」はマニラ湾の『エンターテインメント・シティ・マニラ』地域だけでも、年間 100 万人の観光客、4 万人の現地雇用が生まれると予測している。

① エンターテインメント・シティ・マニラ・ベイ

エンターテインメント・シティ・マニラベイはマニラ湾に面したパラニャーケ市の西側、SM モールオブアジアの南側に位置する。4 つのカジノのほかに、ホテル、マンション、巨大ショッピングモールなど、統合的な複合リゾート施設が建てられ、2017 年にはアジアを代表する巨大なエンターテインメント地域が誕生する(図表 22)。

* マニラ湾 「エンターテインメント・シティ」 (図表 22)



② カジノ&HRM の専門学校 GSTA (Genting-Star Tourism Academy)

フィリピン国営の PAGCOR(フィリピン・アミューズメント&ゲーミング公社)には、公社直 営のカジノ専門教育のトレーニングルームをもっている。そこでカジノ・ディーラーの卵たちに教育訓練している。但し、PAGCOR は国営の職業教育訓練公社であるために外国人向け教育トレーニングは解放されていない。

ところが 2010 年にホンコン本社の「ゲンティン社香港」が運営する専門学校 Genting-Star Tourism Academy がオープンされた(図表 23)。ここではフィリピンで唯一民間企業として、外国人向けのカジノとホテル&レストランを併設した専門学校がマニラに出来た。

この専門学校はフィリピンの技術教育技能開発庁(TESDA)から認証されている。学生募集は年に 4 回あり、募集人数は 100 名~120 名まで。インタビューで海外(インドネシア、ベトナム、インド、韓国など)から約 10 数名の留学生が来ている。

学習期間は 6 カ月の研修と実習が行われる。カリキュラムはオーストラリアの TAFE T ASMANIA を基準に、認定書のコース(Certification Course)と修了証書コース(Diploma Course) の 2 つが用意されている。

* ゲンティン・スター・ツーリズム・アカデミー専門学 (図表 23)



About us At Genting-Star Tourism Academy (GSTA), we bring the world and our top-class industry partners closer to our students. Empowered with a global-class education and training, our students define the bar of excellence that meets the more discerning requirements of the hospitality and tourism industry. Our Vision To be the Center of Excellence in the delivery of quality, competency-based hospitality and professional development training. Our Mission GSTA is committed to providing holistic, experiential, industry-based, and high-quality professional and practical training combining proprietary and the best-in-class curriculum. Our Corporate Legacy GSTA is affiliated with Genting Hong Kong Limited and Travellers International Hotel Group, Inc. 	Diploma Courses - Diploma of Hospitality Management in Kitchen Operations (15 months including internship) - Diploma of Hospitality Management in Food & Beverage Operations (15 months including Internship) - Diploma of Hospitality Management in Front Line and Accommodation Services (15 months including Internship) Certificate Courses  - Front Office NC II (3 months plus 300 hours of internship) - Food & Beverage NC II (3 months plus 300 hours of internship) - Accommodation Services NC II (Housekeeping) (3 months plus 300 hours of internship) - Commercial Cooking NC II (6 months plus 300 hours of internship) - Bread & Pastry Production NC II (4 months plus 300 hours of internship) - Catering Services NC I (50 hours) - Catering Services NC II (80 hours) - Catering Services NC III (50 hours) 	Corporate Training - Basic Soft Skills - Developing Managerial Skills - Developing Training Skills - Pre-Employment Training - Crew Upgrade/Enhancement Training Program - Leadership Training - Personality Development Program Other Professional Training Programs - Chefs' 'R' Us Cooking Workshop - Basic International Language - Student Educational Tours and Seminars - Faculty Enhancement Program Other Services - Facility Rental - Banquet Events 
---	---	--

授業料は6ヶ月で18万ペソ(約45万円)。フィリピンの私立大学や専門学校の授業料と比較すると高い。

地方出身や外国人留学生は、学校に隣接するリゾート・ワールド社が運営管理する学生寮に宿泊する全寮制だ。

日本人向けとして、ホテル&レストラン、そして英語教育のプログラムを企画デザインができる。カジノ教育については Genting-Star Tourism Academy (GSTA)は、特別に概要航路クルーザーのカジノ・ディーラーが指導。基本的1日8時間X28日のHRMのレッスンコースと英語レッスンを組み合わせたカリキュラムがオプションで受講できる。

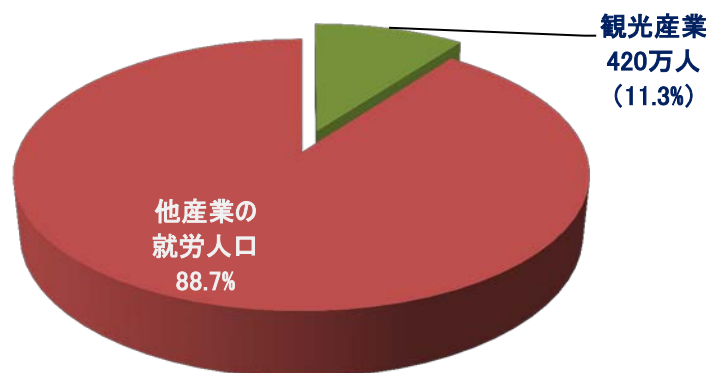
II) フィリピンのホテル&レストラン市場規模

1) ホテル&レストラン(宿泊業&飲食業)と他産業の就業人口比較

国家統計調整委員会(NSCB)、観光省(DOT)、NSCB 観光統計庁間委員会が作成した2012年の旅行関連産業の就労者数は2011年比較で40万人増加した。

その結果、2012年現在、420万人(10.4%増)に達し、観光産業の就業人口数は、全フィリピン国内の総就業者数3,727万人の11.3%を占めている。(図表24)

*** 全産業の就労人口の10%が 観光産業の就業人口420万人 (図表24)**



<出所: 国家統計調整委員会、観光省、筆者編集>

2) ホテル&レストランのマーケット規模

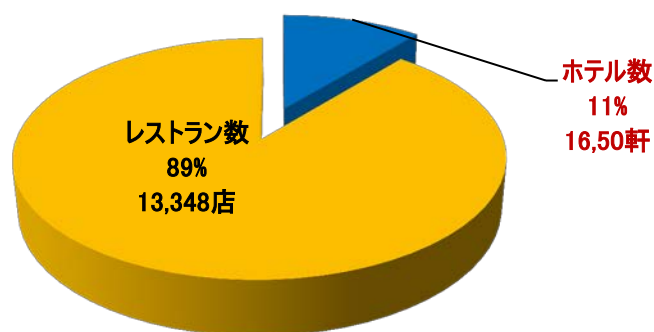
① ホテル&レストランの店舗数と従業員数

ASPBI(Annual Survey of Philippine Business and Industry/フィリピンビジネス&インダストリー/2012 年)が発表した 2011 年度フィリピン国内のホテル・レストランの全国調査で、国内の宿泊業件数(ホテル数)は 1650 件(11%)、レストラン・バー・食堂などの飲食業店件数は 13,384 店(89%)という結果であった(図表 25)。

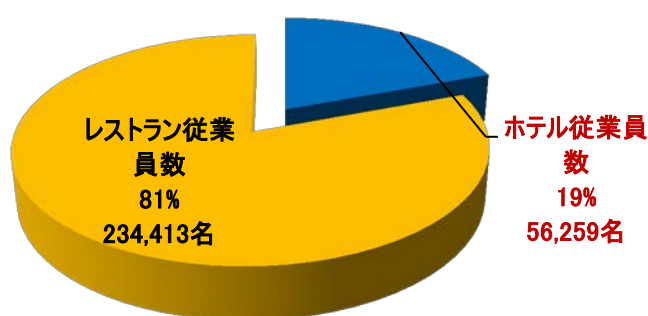
そして、従業員数はホテルが 56,259 名(19%)、飲食業が 234,413 名(234,413 名(81%))であった(図表 26)。

ホテル&レストランの市場規模(1)

* フィリピン全国の飲食業 & ホテルの店舗数 (図表 25)



* フィリピン全国のホテル&レストランの従業員数 (図表 26)



陽気で英語力に優れるフィリピン人は、ホテルなどの観光・旅行産業に向いており、人的資源という観点からも豊かな観光資源を有する国である。国内のホテル・レストランの就業の機会と先進国の欧米・シンガポールへ海外就職チャンスが大きい為、HRM や観光学部は人気の学部の一つだ。

② ホテル&レストランの売上規模

フィリピンのホテルとレストランの売上と費用、そしてその比率を分析すると、売上げ規模は飲食業がホテル業の約 4 倍の規模(図表 27)で圧倒的に高い。

しかし、コストパフォーマンスはホテル業に軍配が上がっていた。

全国のホテル&レストランの売上と費用の比較 (2009 年)

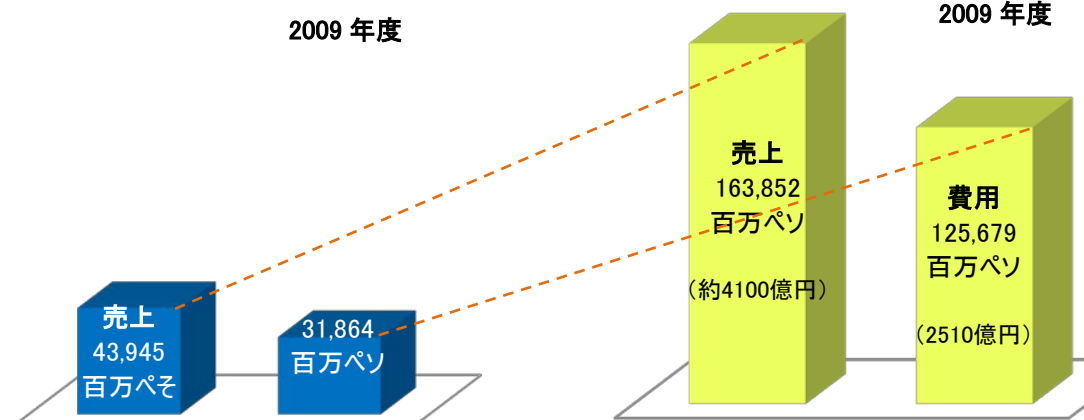
Hotel& Restaurant	売上	費用	対費用の売上比率 コスト・パフォーマンス
ホテル	43,945 百万ペソ (約 1,100 億円)	31,864 百万ペソ (約 800 億円)	72.5%
レストラン	163,852 百万ペソ (約 4,100 億円)	125,679 百万ペソ (約 2510 億円)	76.7%
合計	207,798 百万ペソ (約 5,200 億円)	157,544 百万ペソ (約 3,940 億円)	75.8%

<出所:Philippines Statistic Authority>

宿泊業&飲食業(ホテル&レストラン)の市場規模(2) (図表 27)

宿泊業(ホテル)の「売上と費用比較」
2009 年度

飲食業(レストラン)の「売り上げと費用比較」
2009 年度



売上規模: レストランがホテルより大きい

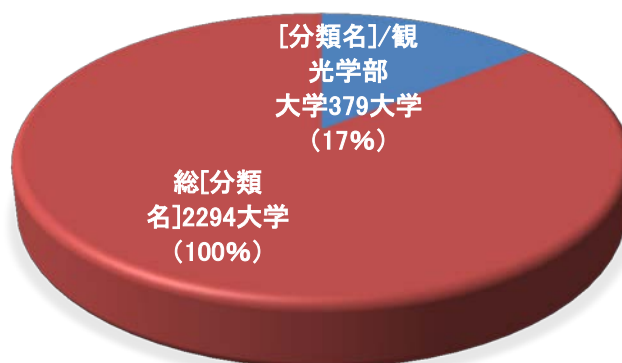
コスト・パフォーマンス: ホテルがレストランより高い

3) 学生に人気の高い HRM 観光学部

① 観光産業と大学観光学部

2012 年現在、フィリピン高等教育委員会の CHED に加盟している全国の大学 2,294 校の内、379 校の大学に HRM 学部や観光学部(図表 28)を持っている。それだけフィリピンの観光産業に期待する大学生が多い。

* 全国で HRM/観光学を教える大学数は 379 大学 (図表 28)



② 観光産業とHRM/観光学部の推移

観光産業の就業者シェア伸び率は、2000 年～2006 年まで 9%台、2007 年から 2013 年までは 10%台前半で推移している。

今後ますます観光産業の成長に期待が持てる。フィリピンの大学の HRM 学部や観光学部は他の学部よりも人気が高いわけである。

2012 年現在、フィリピンの大学の HRM (Hotel Restaurant & Management)学科や観光学科と専門学校を加えると、観光関連の学校数は 1000 校を超える。入学希望者は年々増加している。

③ HRM/観光学部がある代表的な大学リスト (379 大学)

HRM/観光学部を目指す学生は年々増え、その学部人気は高い。理由は観光産業が将来期待できる事、一般事務職よりも待遇が良い事(チップも含めた副収入)、海外のホテル・レストランなどへ就職できるチャンスがほかの学部より大きい事・・・等があげられる。

HRM/観光学部のある大学リスト

No.	大学名	場所	私立/国公立	ホームページ
1	University of San Carlos	Cebu	Private	http://beta.usc.edu.ph/www2/
2	University of the East	Manila	Private	https://www.ue.edu.ph/
3	De La Salle Araneta University	Manila	Private	http://dlsau.edu.ph/
4	St. Paul University Quezon City	Manila	Private	http://www.spuqc.edu.ph/
5	Far Eastern University	Manila	Private	http://www.feu.edu.ph/
6	St. Paul University Manila	Manila	Private	http://spumanila.edu.ph/
7	Malayan Colleges Laguna	Laguna	Private	http://mcl.edu.ph/
8	De La Salle-College of Saint Benilde	Manila	Private	http://www.benilde.edu.ph/
9	Philippine Women's University	Manila	Private	http://www.pwu-online.net/
10	University of Manila	Manila	Private	http://www.upm.edu.ph/
11	Polytechnic University Of The Philippines	Manila	Public	http://www.pup.edu.ph/
12	De La Salle University Dasmariñas	Cavite	Private	http://www.dlsud.edu.ph/index.asp
13	University of Baguio	Benguet	Private	http://www.ubaguio.edu/main/
14	University of Makati	Manila	Public	http://umak.edu.ph/v3/
15	Universidad de Manila	Manila	Public	http://universidaddemanila.wordpress.com/
16	University of the Philippines Diliman	Quezon	Public	http://www.upd.edu.ph/
17	University of Santo Tomas	Manila	Private	http://www.ust.edu.ph/
18	Asia Pacific College 	Manila	Private	https://www.apc.edu.ph/
379	その他 大学校数 361 大学校	全国	私立/ 公立	
HRM&ツーリズムのある大学の合計 379 大学 (全大学リストは補足資料巻末に記載)				

<出所: CHED(高等教育委員会 2014 年度版)資料より筆者編集>

④ ホテルマンの平均給与

ホテルマンの平均給与は一般事務職よりも 5～10%ほど高い(図表 29)。管理職になるほど給与の差が出てくる。

給与以外の収入として、欧米と同じような客からの「チップ」が意外に大きいのがホテルマンにとって大きな魅力である。

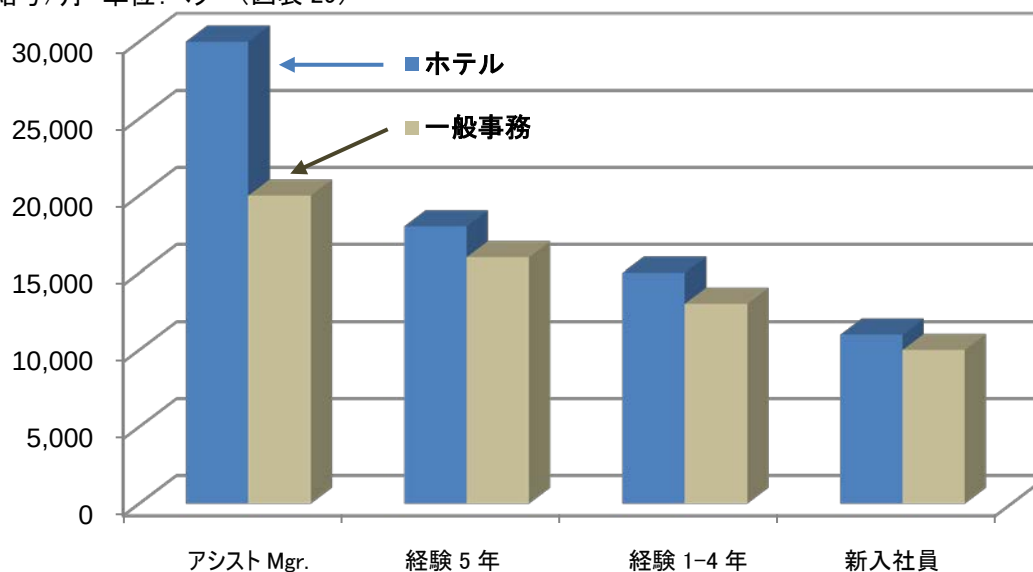
その他に給与待遇が国内よりも高いので、ホテルマンとして海外勤務を希望するが学生が多いのも、大学カリキュラムで人気が高い理由の一つだ。

ホテルマンの給与(首都圏マニラ) 単位:ペソ/円				
<キャリア>	ホテル		一般事務	
アシスタント Mgr.	30,000 ペソ	75,000 円	20,000 ペソ	50,000 円
経験 5 年	18,000	45,000	16,000 ペソ	15,000
経験 1～4 年	15,000	37,500	13,000 ペソ	32,500
新入社員	11,000	27,500	10,000 ペソ	25,000

<出所: シンガポール Job Street Salary Report 2014 年版>

* HRM/観光学部の人気の秘密(待遇と海外就職)

給与/月 単位:ペソ (図表 29)



<出所: シンガポール Job Street Salary Report 2014 年版>

第3章 単位互換の事例

I. フィリピン国内大学の単位互換と単位認証

1) 自主運営の大学と単位認証

フィリピンの教育制度では、高等教育の主管は高等教育委員会(CHED)にある。学部・学科の新設、単位認証などはCHEDの認証が必要となる。

しかし一定規模の大学はCHEDにかわり、自主的に学部・学科の新設、単位の授与、国内外の学校提携などの教育運営管理を任されている国公立大学と私立大学がある。

① 自主運営の国公立大 (AACCUP)

AACCUP はフィリピンの国公立大学がフィリピンの高等教育カリキュラム・プログラムを自主的に認定するために、1987 年に設立されたNGO組織である。更にこの組織は、2003 年に地方公立大学の 33 大学の大学協会(ALCU/Association of Local Colleges and Universities)とも連携した。現在、AACCUP(公立/州立大学)加盟 111 校と ALCU(地方公立)加盟 33 校は、自主管理大学(図表 30)として海外の大学と国際協定を結ぶことができる。

つまり、海外の大学と単位互換・単位認証を行う場合、CHED(高等教育委員会)の承認なしに、AACCUP とALCU加盟の大学は、各大学の自主管理と決定基準に基づいて国際協定を結ぶ事ができる。

AACCUPホームページ

<http://www.aaccupqa.org.ph/InstitutionalMembers.html>

<AACCUP加盟に必要な主な事項>

- ・ AACCUP の教育内容の質を落とさず、高い教育レベルを維持する努力
- ・ 学生たちへ質の高い教育プログラムの提供
- ・ 奨学金などの財政支援
- ・ 客観的に評価できる教育プログラム

<教育カリキュラムのプログラム認定基準>

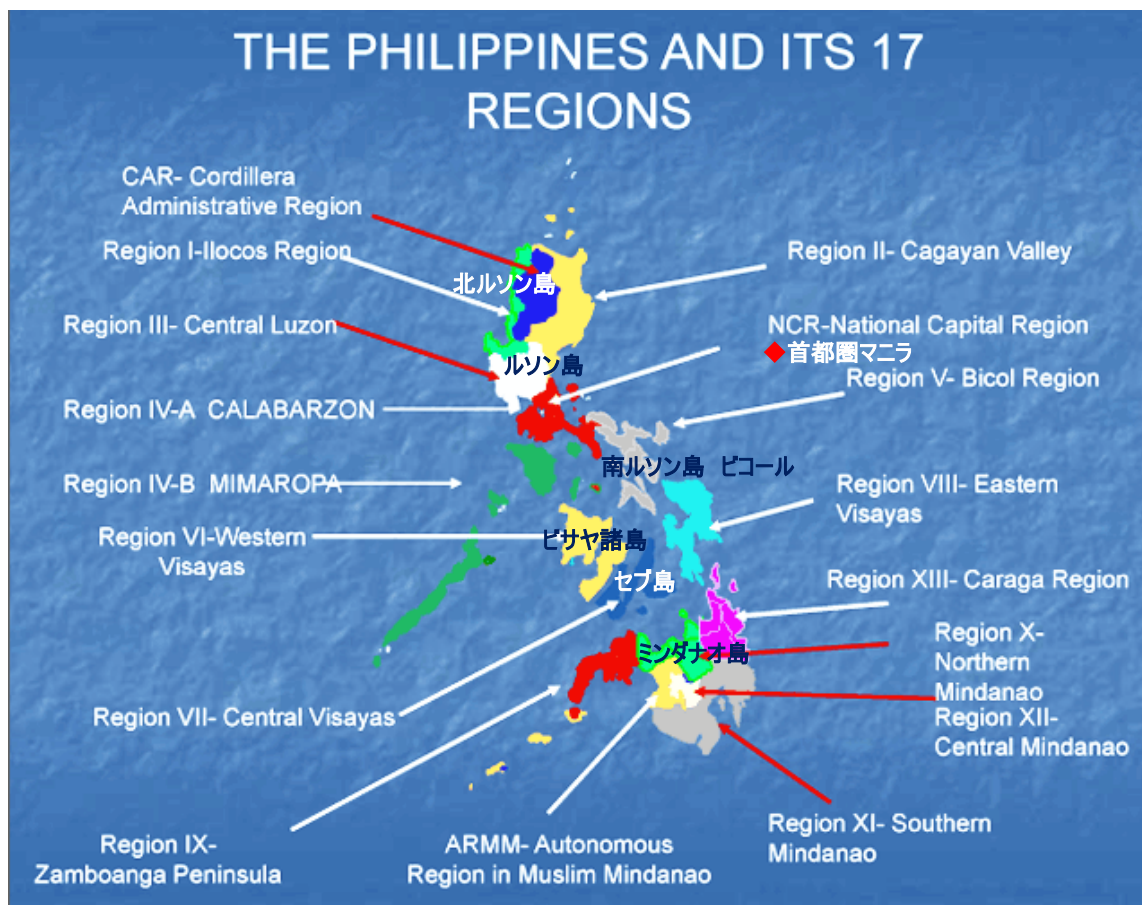
- ・ 教育省(DepEd)の中等教育認定プログラムを修了した学生
- ・ 州立大学(SUC/State of University & College)レベルの教育基準を判断ベース
- ・ 外国人学生が学校を選択する際の大学の教育レベル
- ・ 教育推進活動のために AACCUP への会議などに参加
- ・ 海外に留学したフィリピン人学生の認定状況の AACCUP への報告

<フィリピン AACCUP が加盟している国内外の教育団体>

- ・ National Network of Quality Assurance Agencies
教育プログラム質向上の国内ネットワーク機構

- Asia-Pacific Quality Network (APQN)
香港が本部 <http://www.apqn.org/>
- International Network of Quality Assurance Agencies in Higher Education (INQAAHE)
オランダのハーグが本部 <http://www.inqaahe.org/>

*** フィリピンの 17 地区（リージョン別大学）**



*** 国立・州立大学（AACUP 加盟の大学リスト） 111 校（図表 30）**

リージョン別	State University or College (SUC) リスト
北ルソン島	Don Mariano Marcos Memorial State University
リージョン I (6 大学)	Ilocos Sur Polytechnic State College
	Mariano Marcos State University
	North Luzon Philippines State College
	Pangasinan State University
	University of Northern Philippines
北ルソン島	Batanes State College
リージョン II (5 大学)	Cagayan State University
	Isabela State University
	Nueva Vizcaya State University
	Quirino State University
中部ルソン島	Aurora State College of Technology

リージョン III (12 大学)	Bataan Peninsula State University Bulacan Agricultural State College Bulacan State University Central Luzon State University (CLSU) Don Honorio Ventura Technological State University Nueva Ecija University of Science and Technology Pampanga Agricultural College Philippine Merchant Marine Academy Ramon Magsaysay Technological University Tarlac College of Agriculture Tarlac State University
西部ビサヤ リージョン IV (11 大学)	Batangas State University Cavite State University Laguna State Polytechnic University Southern Luzon State University University of Rizal System Marinduque State College Mindoro State College of Agriculture and Technology Occidental Mindoro State College Palawan State University Romblon State University Western Philippines University
南ルソン島 リージョン V (9 大学)	Bicol State College of Applied Sciences and Technology Bicol University Camarines Norte State College Camarines Sur Polytechnic Colleges Catanduanes State University Central Bicol State University of Agriculture Memorial State College of Agriculture and Technology Partido State University Sorsogon State College
北部ビザヤ リージョン VI (11 大学)	Aklan State University Capiz State University Carlos Hilado Memorial State College Central Philippines State University Guimaras State College Iloilo State College of Fisheries Northern Iloilo Polytechnic State College Northern Negros State College of Science and Technology University of Antique West Visayas State University Western Visayas College of Science and Technology
中部ビサヤ リージョン VII (5 大学)	Bohol Island State University Cebu Normal University Cebu Technological University Negros Oriental State University Siquijor State College
南部ビサヤ リージョン VIII	Eastern Samar State University Eastern Visayas State University Leyte Normal University

(10 大学)	Naval State University Northwest Samar State University Palompon Institute of Technology Samar State University Southern Leyte State University University of Eastern Philippines Visayas State University
西部ミンダナオ リージョン IX (5 大学)	J. H. Cerilles State College Jose Rizal Memorial State University Western Mindanao State University Zamboanga City State Polytechnic College Zamboanga State College of Marine Sciences and Technology
北部ミンダナオ リージョン X (8 大学)	Bukidnon State University Camiguin Polytechnic State College Central Mindanao University Mindanao State University – Iligan Institute of Technology Mindanao University of Science and Technology Misamis Oriental State College of Agriculture and Technology Northwestern Mindanao State College of Science and Technology
中部ミンダナオ リージョン XI (4 大学)	Davao del Norte State College Davao Oriental State College of Science and Technology Southern Philippines Agri-Business, Marine and Aquatic School of Technology University of Southeastern Philippines
南部ミンダナオ リージョン XII (5 大学)	Cotabato City State Polytechnic College Cotabato Foundation College of Science and Technology Mindanao State University – General Santos City Campus Sultan Kudarat State University University of Southern Mindanao
ARRM (4 大学)	Basilan State College Mindanao State University Sulu State College Tawi-Tawi Regional Agricultural College
北ルソン島 CAR (6 大学)	Abra State Institute of Sciences and Technology Apayao State Benguet State University Ifugao State University Kalinga Apayao State College Mountain Province State Polytechnic College
ミンダナオ北 CARAGA (4 大学)	Agusan del Sur State College of Agriculture and Technology Caraga State University Surigao del Sur State University Surigao State College of Technology
首都圏マニラ NCR (7 大学)	Eulogio “Amang” Rodriguez Institute of Science and Technology Marikina Polytechnic College Philippine Normal University Philippine State College of Aeronautics Polytechnic University of the Philippines Rizal Technological University Technological University of the Philippines

<出所:AACCUP/2013 年>

② 自主運営の市立大学連合（ALCU） Association of Local Colleges and Universities

首都圏にあるマカティー大学は市の財政はフィリピンで一番恵まれているといわれる。ここは大学はマカティーの公的援助金が多く、授業料の 90%は市が財政負担している。一方、財政的に恵まれない地方都市の公立大学は富裕層が通う私立大学との教育レベルの差がつくなどの問題がある。

ALCU協会(図表 31)はマカティー大学などが中心となって公立大学を組織化した。都会に位置して、財政豊かなマカティー大学は公立大学の交流の場として、同大学の教育施設、体育館、運動場などを利用して全国大会等が開催される。

* ALUC 加盟の市立大学 37 大学（図表 31）

	大学名	場所	大学設立年
1	University of Makati マカティー大学	首都マニラ圏	1972
2	Quezon City Polytechnic University	" "	1994
3	Tagoloan Community College	" "	2003
4	Universidad De Manila	" "	1999
5	University of Caloocan City	" "	1971
6	Mabalacat City College	中部ルソン	2007
7	Bacolod City College	Western Visayas	1997
8	Bago City College	Western Visayas	1988
9	City College of San Fernando, Pampanga	中部ルソン	2009
10	City College of Oliver Dizon	" "	2020
11	Bulacan Polytechnic College	" "	1971
12	City College of Calapan	MIMAROPA	2008
13	City College of Tagaytay	CALABARZON	2003
14	City of Malabon University	首都マニラ圏	1994
15	Dr. Filemon C. Aguilar Memorial College of Las Piñas	" "	1998
16	Gordon College	中部ルソン	1999
17	Gov. Alfonso D. Tan College	MIMAROPA	1984
18	La Carlota Cit y College	Western Visayas	1966
19	Laguna University	CALABARZON	2006
20	Lipa City Public College	CALABARZON	1994
21	Mandaue City College	Central Visayas	2005
22	Mariano Quinto Alarilla Polytechnic College	中部ルソン	2003
23	Navotas Polytechnic College	首都マニラ圏	1994
24	Pamantasan ng Bayan ng San Mateo	CALABARZON	2004
25	Pamantasan ng Cabuyao	CALABARZON	2003
26	Pamantasan ng Lungsod ng Maynila	首都マニラ圏	1965
27	Pamantasan ng Lungsod ng Marikina	" "	2003
28	Pamantasan ng Montalban	CALABARZON	2004
29	Pamantasan ng Lungsod ng Muntinlupa	首都マニラ圏	1991
30	Pamantasan ng Lungsod ng Pasay	" "	1994

31	Pamantasan ng Lungsod ng Pasig	" "	1999
32	Pamantasan ng Lungsod ng Taguig	" "	2006
33	Pamantasan ng Lungsod ng Valenzuela	" "	2002
34	Parañaque City College of Science & Technology	" "	2000
35	Passi City College	Western Visayas	2005
36	Quirino Polytechnic College	Cagayan Valley	1998
37	Urdaneta City University	Ilocos Region	1966

<出所: CHED & AACCUP>

③ 私立大学の自主運営 (AUTONOMOUS) (図表 32)

私立大学が自主的に大学独自の教育カリキュラム・プログラムの編成などを決定する権限を高等教育委員会(CHED)から認められている大学の事を“Autonomous“という。認定された大学はCHEDから定期的なモニタリングと評価を受ける。

2010 現在、CHEDから AUTONOMOUS に認定されている私立大学は 58 大学ある。

<http://pacu.org.ph/wp2/wp-content/uploads/2013/03/CMO-No.46-s2012.pdf>

Autonomous に認定された大学リスト (図表 32)

	State University or College (SUC) リスト
北ルソン島 リージョン I (2 大学)	University of Luzon Colegio de Dagupan
北ルソン島 リージョン II (3 大学)	St. Paul University Philippines University of St. Louis St. Mary's University
中部ルソン島 リージョン III (9 大学)	Adventist University of the Philippines De La Salle Dasmariñas Manuel S. Enverga University Foundation Lyceum of the Philippines University-Batangas Deregulated (5 years) St. Michael's College of Laguna University of Perpetual Help System Deregulated (3 years) University of Batangas
西部ビサヤ リージョン IV (8 大学)	Adventist University of the Philippines De La Salle Dasmariñas Manuel S. Enverga University Foundation Lyceum of the Philippines University-Batangas St. Michael's College of Laguna University of Perpetual Help System Deregulated (3 years) University of Batangas
南ルソン島 リージョン V (1 大学)	Ateneo de Naga University

北部ビザヤ リージョン VI (4 大学)	Central Philippine University University of Negros Occidental-Recoletos University of St. La Salle Filamer Christian College
中部ビザヤ リージョン VII (1 大学)	Silliman University University of San Carlos
西部ミンダナオ リージョン IX (1 大学)	Ateneo de Zamboanga University
北部ミンダナオ リージョン X (2 大学)	Liceo de Cagayan University Xavier University
中部ミンダナオ リージョン XI (2 大学)	Ateneo de Davao University University of Mindanao
南部ミンダナオ リージョン XII (3 大学)	Notre Dame of Dadiangas University Notre Dame University Notre Dame of Marbel University
北ルソン島 CAR (3 大学)	University of Baguio Saint Louis University University of the Cordilleras
首都圏マニラ NCR (19 大学)	Assumption College Ateneo de Manila University Centro Escolar University De La Salle University デ・ラサール大学 Mapua Institute of Technology Miriam College Foundation Our Lady of Fatima University St. Joseph's College of Quezon City The Philippine Women's University University of St. Tomas Jose Rizal University Lyceum of the Philippines University-Manila St. Paul University – Manila Trinity University of Asia University of the East Adamson University Far Eastern University Deregulated (3 years) Technological Institute of the Philippines-Quezon City

<出所: CHED2010 年度>

2) 国内の大学間の単位認証の実例

自主運営管理の単位認証について、学校間の単位認証、職業専門学校と大学編入、社会経験を単位に換算した単位互換などが行われている。

- ・ 大学間の単位認定

学校間の単位認定はそれぞれの大学の基準による。科目名が違って、科目内容が似ている場合、単位認証の判断は大学に任せる。但し、まったく違う科目の認定は不可。

- ・ 転校時の単位認証

以前の大学で修得した学目単位が、転校先の大学で単位認証した場合はその単位は有効。大学の転校、学部の編入が頻繁にある。

- ・ 職業専門学校から大学編入への単位認定

専門学校、TESDAで修得した科目単位は、受入大学が認定すればその単位は有効。職業専門学校から公立・私立大学に転校して、学位の取得が可能。)

- ・ 復学後の単位認定

経済的理由などで退学して数年後に復学しても、大学が認めた過去の修了単位を認める。大学中退して4～5年後に復学して、大学が履修科目単位を認めた場合、学位取得可。

- ・ 社会経験と能力を単位認定 “Equitable Course単位認定”

社会経験と実績を評価して、大学は履修科目の単位に認定すれば卒業の学位を授与。大学は経験重視から社会人の経験を単位に換算。少ない履修科目で学位が取れる。

(例) コールセンターのスーパー・バイザー、ホテルのアシスタント・マネージャー、銀行マネージャーなど社会的能力を評価して大学が単位認証する仕組み。短期間で卒業と学位が取れる。

II. 技術教育技能開発庁 (TESDA) と学校の単位互換

1) TESDAの教育プログラム

学習コースは、特定職業技術やキャリアにフォーカスした教育プログラムである。

専門スキル養成講座として、ホテルマネジメント・介護看護ヘルスケア・医療アシスタント・コンピュータのネットワーク管理・ 아이폰などのアプリケーション・美容エステ〜エンジニア系のコンピューター技術・携帯電話の修理・配管・電気システム・自動車修理などの技術系・技能職の講座コースが用意されている。

<TESDA の職業教育プログラム>

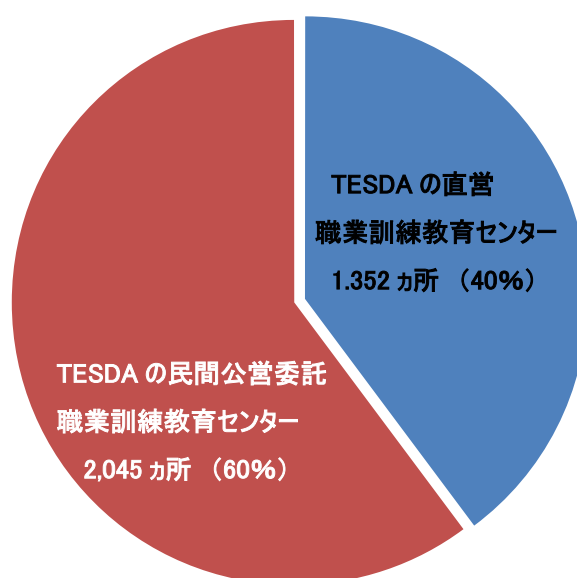
TESDA の教育関連部門	メ モ
◆ TSDO (教育システム開発オフィス) 4 部門 ・システム開発部門 ・TVET (専門教育トレーニングプログラム) のサポートサービス部門 ・テクニカル・リサーチ & プログラム開発部門 ・キャリア・ガイダンス開発部門	「産業技術教育コース」では 4 学期、2 年間の授業を受けた後、受講者は 1 年間、実際に企業で実地訓練を受ける。この訓練は「監督下の産業訓練」(STI)と呼ばれている。 受講者は日給をもらえる上に現場の最先端の技術を学ぶことができ、 一方、企業側としても受講者を選別、優秀な者だけを取り込むことができるため「1 石 2 鳥」とみられている。
◆ TESDA が直接運営する教育トレーニングセンター ・全国主要都市（首都圏と地方都市）60 カ所 ・TESDA と提携の全国の大学数 57 校 ◆ TESDA の間接運営する教育トレーニングセンター ・直営の職業訓練教育センター 1,352 カ所 ・間営の職業訓練教育センター 2,045 カ所 （全国の職業教育センター合計 3,397 カ所）	TESDA が直接、運営に携わっている教育センターは 60 カ所、TESDA と提携大学は 57 カ所である。（大学は産業技術系が 31 校、農業系が 19 校、水産系が 7 校）。 全国各地の 3,397 カ所に TESDA の職業訓練教育センターが存在し、TESDA 直営の訓練センターが 1,352 カ所、大学や専門学校など間営の職業訓練教育センターは 2,045 カ所ある。 教育センターや大学で学ぶ、訓練期間は、1 年～3 年の普通コース、1 年以内の短期コース、3 カ月以内のミニコースに大別される。
◆ TESDA の教育プログラム ・大学教育に準じたプログラム（57 コース） ・教育センターに準じたプログラム（60 コース） ・地域コミュニティに準じたプログラム ・企業の社内教育に準じたプログラム	カリキュラムは、技術教育技能開発局 (TESDA) に模範がある場合はそれを基にカリキュラムを組み、模範がない場合は独自にカリキュラムを開発している。 カリキュラムの研究・監視チーム、改定・最新化チームがそれぞれ設けられ、各産業界と連携を取りながらカリキュラムの向上に努めている。
◆ TESDA の外国語スキルコース ・英語、日本語、韓国語、中国語、アラビア語、スペイン語	英語はコールセンター勤務に必要なアメリカンのアクセントやイントネーションの矯正訓練を受けるために設けられている。 外国語（左記）は技術者・技能者として海外勤務を狙って学習。

<出所: TESDA 2012 年>

2) TESDAと学校(大学・専門学校)間の連携

TESDA が直接運営する全国の職業訓練の教育トレーニングセンターは直営の職業訓練教育センター は 1,352 カ所。 間接的に学校(大学や専門学校)と連携して、学校の校舎を職業訓練教育センターとしてTESDA の教育プログラムを開いているのは2,045カ所ある。(図表 33) (職業訓練教育センターは全国各地に合計で 3,397 カ所ある。)

* 全国の TESDA の職業訓練教育センター(直営と委託) (図表 33)



[編集 >](#)

3) TESDAと各種専門学校 (Vocational School) 間の連携

フィリピンの Vocational School (専門学校) は職業専門大学、専門学校、職業学校、地域カレッジのことを意味している。各地の専門学校は全国に広がる TESDA と組んで官民一体で行う TVET プログラム(Technical-Vocational Education and Training/技術専門学校教育訓練プログラム) は国内で広く知られている。(図表 34)

① 専門学校間の学校提携

近年、国内専門学校と TESDA は、若者の技術教育や海外からの帰国勤労者向け再教育プログラムでコラボレーションしている。

TESDAが実施する2年間のノンフォーマル教育からフォーマルな技術・職業教育学校への編入を認めている。

TESDA の職業訓練教育の学習科目を単位として認証している学校数は、首都圏のマニラ 16 市と自治体で 991 学校(全国は 2,045 校)ある。

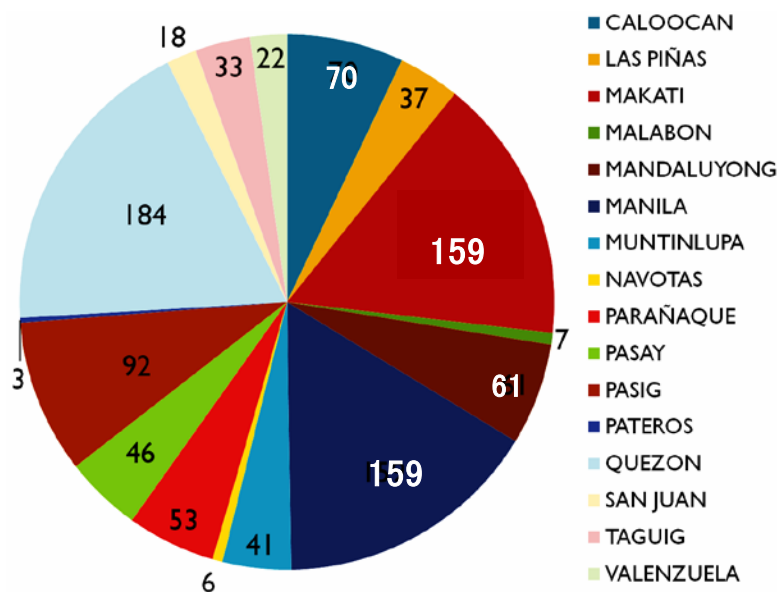
一定の学習期間と学科基準をクリアした場合、学校にもよるが職業訓練教育の修了科目を学校の単位に認証される。

② 専門学校と大学の連携（提携校数 991 校）

TESDAから認定と承認された専門学校(4 年制)は、TESDAの教育プログラムで一定の成績と単位をクリアした入学希望者に対して大学編入学を許可する制度。

その他、TESDAでは中央政府ベースのプログラム、州政府のコミュニティベースのプログラム、現地企業のベースに合わせた教育プログラムがある。これは TESDA が行政や民間企業に代わって代替学習システム(ALS)を実施している。

* TESDA と首都圏マニラの大学・専門学校が連携する学校 991 校（図表 34）
（全国は 2,045 校）



<出所: TESDA と提携している学校関連 URL 資料参照>

<TESDA と提携している学校関連 URL>

<http://www.courses.com.ph/list-of-tesda-courses-in-the-philippines/>

<http://www.schoolsphilippines.com/2012/01/universities-and-colleges-offering.html>

<http://tesdacourse.blogspot.com/2012/06/tesda-accredited-schools-quezon-city.html>

4) 学校(大学&専門学校)間の単位認証

フィリピンの大学やその他の専門学校は、フィリピンの公的な職業訓練教育機関の TESDA の教育プログラムを学習科目によっては単位認証している。学校(大学・専門学校)TESDA の学習修了科目を「単位」として承認(単位認証)するのは、各大学の判断に任されている。

5) 海外企業間の共同開発プログラム

フィリピンに進出した海外企業の現地従業員の人材育成と技術養成のために企業から TESDA へ奨学金、寄付金などの支援が続いている。

例えば、トヨタ自動車(トヨタ財団法人)、パナソニックなどの日本企業のみならず、コカコーラなどの世界企業が産学協同を目指して、TESDA へ教育訓練用機材や教育援助金など支援している。

また、首都圏を中心に全国各地にある広がる専門学校は、TESDA と組んで官民一体となって行う TVET プログラム(Technical-Vocational Education and Training 技術専門学校教育訓練プログラム)は、国内では広く知られている。

6) リカレント教育

近年、国内専門学校と TESDA は若者の技術教育や海外からの帰国勤労者向け再教育プログラムでコラボレーションしている。

TESDAには、大学中退者や海外勤労者の再教育プログラムとして、2 年間のディプロマ・コースから数週間の短期教育プログラムを提供している。これらのプログラムには、配管工、溶接工、自動車整備士、自動車技術などの技術コース、介護者、介護士、ホテルレストランマネージメントなどのサービスコースがある。

IT産業が注目を浴びる中、それらの関連ビジネスのコンピュータ技術、コールセンター、電子機器修理などが人気コースになっている。

希望者によっては、一定の期間と試験を受けることによって、大学への復帰も可能である。その他、地方の学習者にはインターネットを活用したオンライン学習が急速に広がっている。

第4章 単位互換と単位認証の条件

I. 英語力と外国人留学生

1) フィリピン人の英語力

アメリカ・カリフォルニア州に本社を置き、オンラインのビジネス英会話学習ソフトウェアを提供しているグローバル・イングリッシュ社(GB 社)は、ビジネス英語力を定量化し、ビジネス英語指数(BEI/Business English Index)の研究でその企業名は世界で知られている。

世界 78 ヶ国と地域、137,000 人を対象に、非ネイティブスピーカーの実践的なビジネス英語能力を国別に評価する調査をしているので、国別の英語実力比較はよりグローバルな比較が可能といわれている。

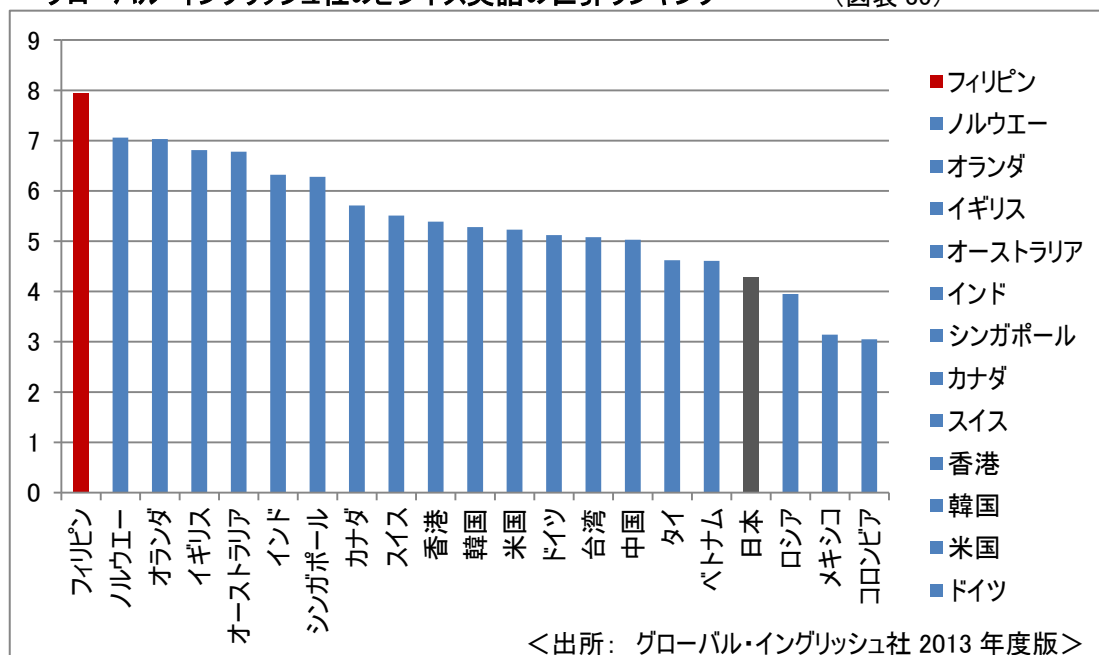
その GB 社は、2014 年 4 月末、国別にビジネス英語能力を評価する「ビジネス英語指数(BEI)の 2013 年版でフィリピンが最高スコアであると発表した。(図表 36)

フィリピンのビジネス英語 7.95 点(図表 35)は、非英語圏からフィリピン英語留学として、留学費用と教育の質の両方の面から脚光を浴びている。

英語力のみならず、欧米企業の国際会計業務(CPA)、国際医療業務(医療カルテのデジタル化)、コールセンターなど海外からの業務委託が増えた。

ビジネス英語資源国として、フィリピンの英語力資源は世界中から注目が集まっている。

グローバル・イングリッシュ社のビジネス英語の世界ランキング (図表 35)



BEI(ビジネス英語指数)はグローバル企業が海外に支店・営業所の拠点を置く際に考慮するひとつの指標とされている。

フィリピンのBEI指数が世界トップである事とこの国のコールセンターが世界一に成長した事は大いに関係している。

欧米先進国の国際ビジネス展開で、フィリピンに拠点を構えるのは、の person 費が安いという意味だけでなく、大事な顧客に対応できる「ビジネス英語の質」が高いことに起因している。

*** グローバル・イングリッシュ社 BEI (ビジネス英語指数) ランキングリストと英語指数** (図表 36)

BEI(ビジネス英語指数)	国名	BEI スコア
ADVANCED / 上級レベル 9~10 ネイティブスピーカー並の会話ができ、協力して業務を遂行できる。		
INTERMEDIATE / 中級レベル 7~8 商談で積極的な役割を果たすことができ、比較的複雑な業務を遂行できる。	フィリピン	7.95
	ノルウエー	7.06
	オランダ	7.03
BASIC / 基礎レベル 4~6 ビジネス・プレゼンテーションの内容を理解でき、問題や解決策について会話することが可能だが、商談や複雑な業務では最小限の役割しか果たすことができない。	イギリス	6.81
	オーストラリア	6.78
	インド	6.32
	シンガポール	6.28
	カナダ	5.71
	スイス	5.51
	香港	5.39
	韓国	5.28
	米国	5.23
	ドイツ	5.12
	台湾	5.08
	中国	5.03
	タイ	4.62
	ベトナム	4.61
	日本	4.29
BEGINNER / 初級レベル 1~3 簡単な読解や会話はできるが、電話での基礎的なビジネス情報を伝えたり理解することはできない。	ロシア	3.95
	メキシコ	3.14
	コロンビア	3.05

＜出所： グローバル・イングリッシュ社2013 年度版＞

① 英語力資源

フィリピンの英語教育が海外に輸出されはじめたのは、中国の文化大革命のころであった。当時の中国はフィリピン人英語教師を受け入れて国際化を進めようとした。その様子は中国人女性作家ユン・チアンの自伝的ノンフィクション「ブラック・ スワン」(全世界で 1000 万部を超えるベストセラー)に、フィリピン人の英語教育が詳しく描かれている。

近年、フィリピンの英語が本格的にビジネスとしてスタートしたのは 2000 年頃からである。その背景には世界的な IT 革命と欧米のバックオフィスとして、フィリピンの英語力が注目を浴び始めたのもそのころからである。

2000 年 10 月、名古屋の中京女子大生 7 名と大学教授がフィリピン英語留学に関する調査(図表 36)を皮切りに、日本でもフィリピン英語留学に関心をもたれてきた。韓国人学生のフィリピン英語留学が首都圏マニラや北ルソン島のバギオ市で増え続けたのもこのころであった。

* 日本の大学生がフィリピン英語留学した記事 (2000年10月) (図表 37)

12 Features *To Sarangat* June - October 2000



Oishi! Fr. R-L, (1st row); Junko, Shiho, (2nd row) Hiro and Michi, with two Abong Foundation student scholars clown around after dinner.

WE'RE COMING BACK!

by Romelda Frances Escano

Seven young Japanese women took part in Benguet State University's Intensive Functional English and Experiential Learning Program, which lasted from 28 July to 8 August, 2000. Junko Muraoka, Michiko Moriguchi, Hiroko Fujii, Masako Kagohara, Yumi Hyodo, Shiho Miura, & Machiko Yamada, from Chukyo Women's University in Nagoya, Japan, comprise

the fourth batch of exchange students to undergo the various learning experiences, (apart from the formal English classes,) offered by the program.

The young ladies had micro-learning classes in poultry farming, cooking and baking, food processing, handicrafts, and even in Filipino folk dances. They were

particularly impressed by the paper bead-necklaces, which they had learnt to make during their handicraft session, since they looked like shells. They also acquired a taste for our very own santol- both raw and processed - to which they were first introduced on the very day they arrived, at the BSU Food Processing Center.

Prof. Dennis Wandit and Ms. Romelda Frances Escano, who handled their formal English classes, found them conscientious and eager to learn. In fact, it was the young ladies' politeness, simplicity, and humility which won Prof. Wandit and Ms. Escano over from the moment they first met their students. Both teachers also enjoyed looking at Baguio City and La Trinidad through the eyes of these visitors who couldn't help exclaiming over the views at Mines View Park and Loakan Road, (en route to the Philippine Military Academy) which they visited.

Shopping at the local markets was a delightful experience for everyone -

and all seven ladies brought packetsful of Filipino trinkets and accessories to give as presents to their friends. They also learned to love Filipino food - in fact, "kalamansi with alamang" became one of their favorite dishes.

Two nights before they left, the students and their teachers were invited for a rare treat- a "true blue" Japanese dinner at the Abong Foundation Headquarters in Bukaneg St., Baguio City. The ladies were pleasantly surprised to find authentic Japanese food cooked in the traditional Japanese way in a city so far from home.

As a whole, it was mutually acknowledged by both teachers and students that their seven-day stay was too short. All hearts were heavy when they left - and even some of the students cried right after their Farewell Program held last 8 August 2000 at the Strawberry Hall. When asked if they ever would like to come back, the students said, "We definitely will - and soon!"

< 出所: 北ルソン・国立ベンゲット大学の大学新聞 >

周知のとおり、フィリピンは英語とフィリピン語が公用語である。テレビやラジオといった公共放送でも一般的に使われている。また、英語に重点を置いた教育制度もフィリピン人の英語力を高める要因の一つである。

学校では初等教育の段階から英語の授業があり、中等教育では数学や理科といった理数系科目の授業が英語で行われていることが挙げられる。

② 欧米人のフィリピン人英語力評価

2012 年、イギリス BBC 放送は次のような放送を世界に発信した。「The Philippines is fast becoming the world's low-cost English language teacher – with rapid increases in overseas students coming to learn English or study in English-speaking universities・・・」、「There might be other countries that people think about as a classic place to learn English, such as the UK, the US or Australia, It's much cheaper！」

(概略訳) フィリピンは安い英語教師の人件費で、海外からの英語留学や英語による大学留学生が急増。留学費が安い！これまでのイギリス、アメリカ、オーストラリアの国で英語を勉強するのはクラシックだ。

「But there is one key reason that they are switching to the Philippines. It's much cheaper. And in the competitive market for language students, it means the Philippines is attracting people from countries such as Iran, Libya, Brazil and Russia., citing her school's fees of \$500 (£313) for a 60-hour class – about a third of the price of an equivalent course in the US or Canada.」

(概略訳) イラン人、リビア人、ブラジル人、ロシア人の英語留学にとって、これは魅力的だ。60 時間で \$ 500 (¥ 55,000) は、アメリカやカナダの 1/3 の授業料だ。安いフィリピン英語留学が世界中に放送され、その内容はインターネットでも大きな反響を呼んだ。欧米各国はクリアなアメリカ英語を話すフィリピン人の英語力を次のように評価している

- (1) 50 年以上にわたりアメリカの植民地であった
- (2) アメリカ市場の最大コールセンターがフィリピンにある
- (3) 欧米人は、コールセンターで働くフィリピン人をネイティブスピーカーと信じている

2) フィリピンの外国人留学生

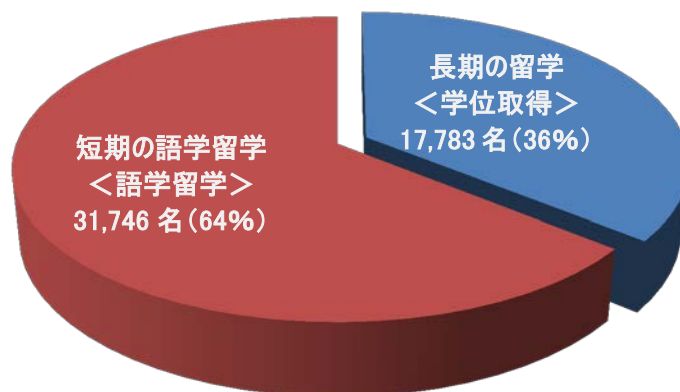
フィリピンに留学する外国人は、「語学留学」を目的とする短期間と「学位取得」のための長期留学に分かれるが、圧倒的に語学留学生が多い。

2014 年 9 月現在、フィリピン入庫管理局へ学生ビザ申請者は 17,783 名、特別学生ビザ (Special Study Permit /SSP) 申請者 (短期留学) は 31,746 名、合計 49,529 名である。

このデータをベースに、短期留学と長期留学の推定比率を図式すると、明らかに語学留学生比率が高い。(図表 38)

① 短期留学と長期留学 (図表 38)

フィリピンの留学生(2014 年 9 月現在)



<出所: フィリピン入国管理局 2014 年 9 月現在>

数週間から1ヵ月以内の短期語学留学生の場合、特別学生許可ビザ（SSP）を申請せずに観光ビザだけで留学するケースが多い。SSP申請費用140ドルを節約するとか、手続きが面倒だというのが理由らしい。その結果、実際の短期語学留学生の数字を確認するのは難しい。

アテネオ大学が学生ビザ申請者数の調査結果によると、2013年の外国人留学生の数は24,000人に上ったという報告だ。同大学が調査した外国人留学生を受け入れている大学や語学専門学校数などの合計数は、2011年が104語学校、2012年は前年比20倍以上の2,145校に膨れ上がった。外国人学生も、2011年は26,000名、2012年には2.3倍にして61,000名に急上昇した。しかし、短期語学留学生は観光ビザで英語留学するケースが多いので、学校数と学生数のギャップが出たと思われる。(図表 39)

また、地元経済新聞によると、2014年の1月～9月までにフィリピンを訪れた外国人観光客は約360万いる。その内韓国人は86万5,950人。全体の24.1%を占め、ここ数年はトップの座にいる。その理由は留学生とその家族が増加したからだといわれている。

② 留学生を受入れするフィリピンの学校数（前年比 21 倍の急増）

* 外国人留学生と受入れの学校（大学、専門学校など）

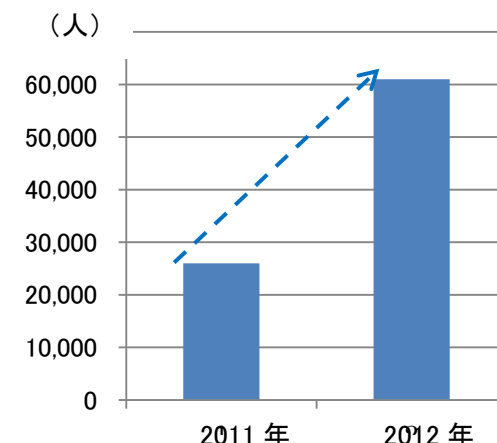
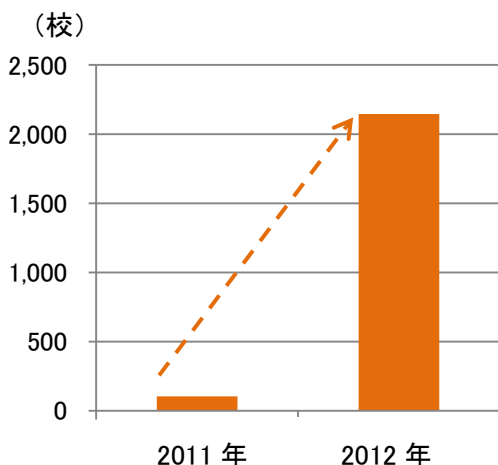
学校 & 留学生/年度	2011 年	2012 年	伸び率(倍)
外国人受入の大学、専門学校数	104 校	2,145 校	21.0 倍
海外からの留学生数	26,000 名	31,000 名	1.2 倍

＜出所：アテネオ大学 & 入国管理局、筆者編集＞

＜フィリピンの留学生受入れ学校数と留学生数の比較＞（図表 39）

留学生受入れ学校数（2,145 学校/前年比 2100%）

留学届出の外国人（31,000 名/前年 20%増）



＜出所：アテネオ大学 & 入国管理局、筆者編集＞

上図は明らかに学校数が急増しているのが分かる。この数字をベースに 2014 年 10 月現在のフィリピンの推定外国人留学生数は 66,000 名を超える見込みだ。ただし、この数字はあくまでの入国管理局にビザ申請した確実な学生ビザ申請者の人数である。

観光ビザだけで、特別学生ビザ(SSP)を申請せず、数か月の短期語学留学する外国人学生数は相当大きいように思われる。SSP なしで外国人がフィリピンで英語留学する人数を加えると、フィリピンに留学生数は 10 万人を超えるは間違いない。

③ 届出の国別留学生数

国別の外国人留学生のトップがイラン人(21%、歯科部などの学位取得の長期留学)、その次が2位韓国人(20%)、3位中国(18%)、そして4位がタイ、ベトナムなどのアセアン諸国(11%)である。

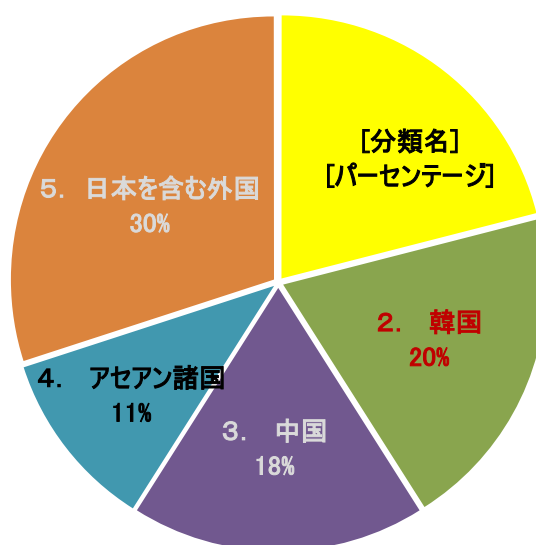
その他外国人では日本人、ブラジル人、ロシア人、アラブ系、アメリカ人など外国人などの合計が30%と続く。しかし、その殆どの留学生はフィリピンで短期型の英語留学生であるのが実態だ。

アメリカ人留学生がフィリピンに留学するケースを時々見かける。それはフィリピンとアメリカの間で二ヶ国間医療協定を結び、看護師資格国家試験、大学間の単位互換制度を取り交わしているためである。

今回のフィリピン視察中に、マカティ大学の看護学部アメリカ人2名が留学中であることを聞かされた。アメリカ人留学生はフィリピンの授業料や滞在費がアメリカより安いことと職業資格が取れることに魅力を感じている。

フィリピンで学位を取得する目的の本格的留学生数で、イラン人が韓国人を抜いて、最も留学生が多い(図表40)が、殆どのイラン人留学生は医学・歯学部集中していた。その他、学位取得目的でフィリピンに留学する外国人は看護学部や薬学部などに多い。

* フィリピンの国別外国人留学生 (2012 年) (図表 40)



< 出所: フィリピン入国管理局/2013年度 >

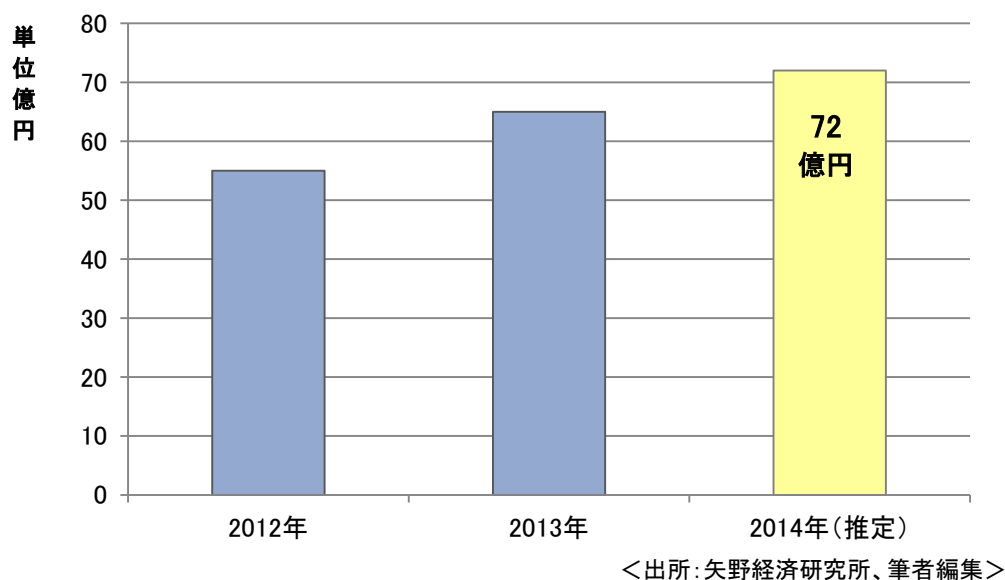
3) オンライン英会話サービス

フィリピンの英語が本格的なビジネスとしてスタートしたのは 20 世紀が終わるころの 1999 年頃だ。当時は韓国人学生が首都圏マニラや北ルソン島のバギオで英語留学がはじまった。

IT 技術が発展する中で、SKYPE が世界でも普及し始め 2003 年頃、フィリピンで初めてオンライン英語がスタートした。その記事は 2004 年 8 月、読売新聞が詳しく報道した。

今日、日本の e-learning（オンライン英会話）の市場規模は、2012 年度が 55 億円、2013 年度が 65 億円、2014 年（予測）は 72 億円と、年々増加している。（図表 41）

* 日本のオンライン英会話市場規模 （図表 41）



II. 単位互換と単位認証の条件

1) 国内と日比両国間の連携事例

フィリピンの大学は CHED (高等教育委員会/大学) が国公立・私立の高等教育の教育計画、政策、方針、運営を決めている。つまり、大学と大学との連携は CHED の認証なしで大学が独自に高等教育の教育計画、政策、方針、運営を決めることができない。

しかし、一定規模（例えば、大学設備、教員数、大学生数などの評価）以上の大学は CHED に代わって「自主運営できる大学」として認定される。認定された一部の国公立大学・私立大学は、各大学独自の判断で、カリキュラムの新設、設備の増設、また国内・海外の大学と単位互換・単位認証など、大学間の提携を結ぶことができる。

すなわち、日本の専門学校や大学が「自主的に運営」できるフィリピンの大学と提携し、大学間で双方の条件が満たせば、新しく学科目(カリキュラム)の設定、単位互換(ディプロマ)や単位認証することができる。

2) マカティ大学とラサル大学の単位認証の条件

今年、日本の専門学校や大学とフィリピンの大学との単位互換について、公立大学(市立)のマカティ大学と私立大学のラサル大学(ベニール校)で聞き取り調査を行った。

自主運営できるフィリピンの大学は、海外の大学間での単位互換制度の認識は大学によって違う。しかし、両校は日本とフィリピンの学校間の単位認証と単位互換の相互認証については積極的であった。

3) 単位認証についてインタビューした2つの大学

マカティ大学とラサル大学のHRM/観光学部の学部長及び複数の担当教授たちに直接インタビューした。以下(図表 42)はそれをまとめたものである。

インタビューした単位認証のまとめ (図表 40)

主な確認事項		マカティ大学とラサル大学の回答
学習科目	⇒	対象の科目は、日本の専門学校、大学と協議のうえで決める。
学習時期	⇒	随時入学。
学習内容	⇒	講義 & 実習、およびホテルでのインターンシップ。
学習期間	⇒	基本は大学の学期間(マカティ大学 4 ヶ月、ラサル大学 3.5 ヶ月) 日本側の希望により、1 ヶ月単位の短期留学の受け付けも可能。
英語能力	⇒	マカティ大学は韓国人留学生の TOFEL500 点前後が入学基準。但し、コミュニケーション力を重視するので、日比両大学で基準を検討する。 日本側の提案である CEFR(Common European Framework of Reference for Languages)を入学基準の研究課題とする。 ラサル大学は外国人の授業参加は IELTS(International English Language Testing System)6 レベルを要求。しかし、英語力を 0(ゼロ)ベースで考える。
入学費用	⇒	マカティ大学は 12 万ペソ/学期 (4 ヶ月=350 時間で約 30 万円)。 (提携先のガム大学に準じた 1 ヶ月授業料。価格交渉余地はある。) ラサル大学は未回答

＜出所：マカティ大学とラサル大学との会議議事録＞

4) 外国人の入学許可の英語レベル（ラサール大学）

通常、欧米・カナダ・オーストラリアの学生ビザ取得に必要な IELTS スコアは 5.5、海外の学校が求める出願に必要な IELTS スコア目安も 5.5～6.0 と言われている。ラサール大学は IELTS を 6.0 のスコアー（図表 43）を求めている。しかし、単位互換の入学許可について、英語レベルはゼロベースから考えていく。

*** IELTS/TOEFL/TOEIC/PTE/英検 スコア換算表目安（図表 43）**

IELTS	TOEIC	英検	TOEFL iBT	TOEFL CBT	TOEFL PBT
9	—	—	120	297～300	673～677
8.5	—	—	119	293	670
8	—	—	117～118	287～290	660～667
7.5	970～990	—	109～116	267～283	630～657
7	870～970	1 級	100～108	250～263	600～627
6.5	820～870	—	90～99	233～247	577～597
6	740～820	準 1 級	80～89	213～230	550～573
5.5	600～740	—	69～79	192～212	521～549
5	550～600	2 級	61～68	173～190	500～520
4.5	500～550	—	52～60	150～170	470～499
4	450～490	準 2 級	45～51	130～149	450～469
3.5	300～440	—	33～44	110～129	400～449
3	291～299	3 級	29～32	100	391～399
2.5	270～290	—	20～28	90	390
2	260～269	4 級	12～19	—	350～389
1.5	100～259	5 級	—	—	—

＜出所：インターネットで検索＞

5) 授業に参加できる英語レベル（マカティ大学）

外国人の語学基準の目安は現状、韓国の留学生の TOFEL 500 点前後(図表 44)を基準にしている。しかし、英語力基準よりもコミュニケーション力を重視する。日本とフィリピンの学校間と話し合いにより、新しく入学基準を決めても問題はない。

また、日本人留学生の単位互換のカリキュラムについて、開始時期、期間の長さ、カリキュラムの選択、講座の時間数/日、大学の提携先ホテルでのインターンシップ、ホテル英語などはフレキシブルに単位互換プログラムとして、日比両国が検討していくことで合意した。

TOFEL (Test of English as a Foreign Language) (図表 44)

TOFEL(USA)	TOEIC(日本)	英検
600-677	860-990	英検 1 級
500-597	730-859	英検準 1 級
460-497	470-729	英検 2 級
400-457	220-469	英検 3 級-準 2 級

<出所: インターネットで検索>

6) マカティ大学とグアム大学の単位認定

マカティ大学とアメリカのグアム大学はホスピタリティ・マネジメント学科で単位互換プログラムに合意して両校は学術提携した。

次ページは両大学が合意した 1 年間(10ヶ月間/350時間)の単位互換プログラムである。

(図表 45)

EQUIVALENCY PROGRAM
BS IN HOSPITALITY MANAGEMENT
 Ten-Month (10) Module Program
 (350 Hours)

単位互換プログラムマカティ大学
 ホスピタリティマネジメントのモジュール
 (10 カ月 / 350 時間 / 学期)

Hotel and Restaurant Management
 (HRM 学部)

HRM その 1

ホテル・レストラン・マネジメント

＜Module1-1～Module3＞ (図表 45)

Tracks	Module 1-1	Module 1-2	Module 2	Module 3
	Communication Module コミュニケーション モジュール	Arts and Humanities Module アート人文科学	Basic Business Core Module 基礎ビジネス- 共通	Advance Business Module 上級ビジネス
Hotel and Restaurant Management ホテル・レストラン・マ ネージメント	Contemporary World 業界は今・・・ Math, Science and Technology 数学、サイエンス&テクノロジー Purposive Communication コミュニケーションの目的 Math in the Modern World HRM 関係業界の数学 Science, Technology and Society サイエンス、テクノロジー、社 会学 Readings in Philippine History フィリピン歴史 Foreign Language 1 & 2 外国語	Understanding the Self 立場の理解 Social Science and Philosophy 社会科学&原論 Arts and Humanities アート&人文科学 Art Appreciation アートの応用 Ethics 倫理学 Life and Works of Rizal 英雄ホセ・リサールの生 涯 Personality Development 自己改革	Principles of Management マネージメント原則 Principles Marketing マーケティング原則 Hospitality Management ホスピタリティ・マネー Entrepreneurial Management 起業マネージメント Basic Finance 財務基礎 Law on Obligations and Contracts 法的義務&契約 Applied Business Economics 応用ビジネス経済 Fundamentals of Accounting 基礎会計	Human Resource Management 人事管理 Human Behavior in Organization 組織行動学 Market Promotions in Hospitality ホスピタリティのマイケ ティング&プロモーション TQM in Hospitality Management TQM ホスピタリティ・マ ネージメント Personal Wealth Management 健康自己管理 Strategic Managements 戦略マネージメント Legal Aspects 法的なホスピタリ

Hotel and Restaurant Management

(HRM 学部)

ホテル・レストラン・マネジメント

<Module4~Module7>

HRM その2

Module 4	Module 5	Module 6	Module 7
Basic Hospitality Module 基礎ホスピタリティ	Hotel and Restaurant Management Module ホテルレストラン管理	Culinary Arts Module 調理アート	Capstone Project 課題目標
Food Safety, Hygiene and Sanitation 食品の安全、衛生管理 Food Preparation 調理の準備 Nutrition and Wellness Food and Beverage 飲食栄養と健康管理 Service Operations and Cost Control Systems サービス運営とコスト管理シ ステム Hospitality Information Systems ホスピタリティ情報システム Room Division Management and Control 客室マネジメントと管理	Housekeeping Procedures ハウスキーピング準備 Front Office Services フロント・オフィス・サービス Beverage and Bar Management 飲み物と Bar サービス管理 Resort and Operations and Management リゾート運営マネジメント Facilities Planning and Design 什器備品の管理とデザイン Convention and Event Management 大会イベントマネジメント Hotel and Restaurant Operation Management ホテルレストランマネジメント運 営	Commercial Cooking 商業的なクッキング Fundamentals of Baking and Pastry Production ベーカリー&パスタ料理基礎 Culinary Math 調理の係数管理 Catering and Banquet Management with Lab 仕出し料理と宴会料理のマ ネジメント Asian Cuisine アジア料理 Management Charcuterie Stocks, Soups and Sauces 食肉店の在庫、スープ、ソース の管理 Western/Classical Cuisine 伝統的な西洋料理 International Cuisine 国際的な料理	Hospitality Management Research (Project Study with Practicum) ホスピタリティ・マネジメント調査 (プロジェクト実習)

Travel and Tourism Management（観光学部）

トラベル&ツーリズム・マネジメント

観光学部 その1

Tracks	Module 1-1	Module 1-2	Module 2	Module 3
	Communication Module コミュニケーション モジュール	Arts and Humanities Module アート人文科学	Basic Business Core Module 基礎ビジネス 共通	Advance Business Module 上級ビジネス
Travel and Tourism Management トラベル& ツーリズム・ マネジメント	Contemporary World 業界は今・・・ Math, Science and Technology 数学、サイエンス&テクノロジー Purposive Communication コミュニケーションの目的 Math in the Modern World ツーリズムの数学 Science Technology and Society サイエンス、テクノロジー、社会 学 Readings in Philippine History フィリピン歴史 Foreign Language 1 & 2 外国語 1&2	Understanding the Self 立場の理解 Social Science and Philosophy 社会科学&原論 Arts and Humanities アート&人文科学 Art Appreciation アートの応用 Ethics 倫理学 Life and Works of Rizal 英雄ホセリサールの生涯 Personality Development 自己改革	Principles of Management マネジメントノ原則 Principles of Marketing マーケティング原則 Introduction to Hospitality Management ホスピタリティー・マネジメン ト入門 Entrepreneurial Management 起業マネジメント Basic Finance 財務基礎 Law on Obligations and Contracts 法的義務&契約 Applied Business Economics 応用ビジネス経済 Fundamentals of Accounting 基礎会計	Human Resource Management 人事管理 Human Behavior in Organization 組織行動学 Marketing and Promotions in Hospitality ホスピタリティーのマイケティ ングとプロモーション TQM in Hospitality Management TQM ホスピタリティー・マネ ージメント Personal Wealth Management 健康自己管理 Convention and Event Management イベント大会等のマネジ メント

トラベル&ツーリズム・マネジメント

Module 4	Module 5	Module 6	Module 7
Basic Hospitality Module ホスピタリティ ー	Travel and Tourism Module ツーリズム	Culinary Arts Module 調理	Capstone Project プロジェクト
Tourism Planning and Development ツーリズム・プランと開発 Nutrition and Wellness 栄養学と健康管理 Food and Beverage 食事と飲料 Service Operations and Cost Control Systems サービス運営とコスト管理システム Hospitality Information Systems ホスピタリティ情報システム Room Division Management and Control 客室マネジメントと管理 Facilities Planning and Design 什器備品の管理とデザイン	Housekeeping Procedures ハウスキーピング準備 Front Office Services フロント・オフィス・サービス Tour Guiding and Escorting ツアーガイド&エスコート Resort Operations and Management リゾートオペレーション&マネジメント Airport Management 空港マネジメント Heritage and Cultural Tourism 文化遺産のツーリズム International Tourism インターナショナル・ツーリズム Transportation Systems and Management 移動システム&マネジメント Gaming and Casino Management ゲーム&カジノ マネージメント Ecotourism エコ ツーリズム Theme Parks and Attractions Operations テーマパーク&アトラクション オペレーション International Tourism 国際ツーリズム	Culinary Math 調理の係数管理 Food Safety, Hygiene and Sanitation 安全食品と衛生管理 Food Preparation フード準備 Commercial Cooking コマーシャル クッキング Catering & Banquet Management with Lab 仕出し料理、宴会料理のマネージメント Beverage and Bar Management 飲料とバー マネージメント	Hospitality Management Research (Project Study with Practicum) ホスピタリティ・マネージメント調査 (プロジェクト実習)

7) 日本とフィリピンの大学間の提携リスト

フィリピンの大学と提携している日本の大学は提携内容と学内々規により、修了証書又は証明書の発行をしている。

本格的な留学や単位互換の修了証書(Diploma)の発行する大学もあるが、全般的には短期の研修や語学留学などの参加証明書(Certification)を発行するケースが多い。

下記は主なフィリピンの大学と姉妹校提携、国際学術交流協定している日本の大学リスト(図表 46)である。

姉妹校提携、国際学術交流協定している日本の大学リスト (図表 46)

	フィリピンの大学	日本の大学
1	フィリピン大学 デリマン校 University of the Philippines Diliman http://www.upd.edu.ph/	東京大学、同志社大学、神戸大学、大阪大学、立命館大学、中央大学、名城大学、広島商船高等専門学校、広島大学、千葉大学、国際大学、金沢大学、関西国際大学、関西外国語大学、熊本大学、明治学院大学、明治大学、名城大学、日本大学、長崎大学、名古屋大学、東京工業大学、愛媛大学、帝京大学、宮城教育大学、拓殖大学、日本福祉大学、創価大学、津田塾大学、東京海洋大学、静岡県立大学、筑波大学
2	フィリピン大学 マニラ校(医学部) University of the Philippines Manila http://www.upm.edu.ph/	金沢医科大学、東京医科歯科大学、日本歯科大学、新潟大学、神戸大学
3	フィリピン大学 ビサヤ校 University of the Philippines Visayas http://www.uphighschoolcebu.edu.ph/	東京海洋大学、長崎大学、山形大学、鹿児島大学、三重大学
4	フィリピン大学 ロスバニョス校(農学部) University of the Philippines Los Banos http://www.uplb.edu.ph/	東京大学、名古屋大学、宮崎大学、東京農業大学、筑波大学、日本大学、帯広畜産大学
5	ラサール大学 De La Salle University http://xsite.dlsu.edu.ph/	東北大学、神戸大学、名城大学、国士舘大学、名城大学、日本大学、帯広畜産大学、明治大学、大阪大学、福岡大学、日本大学、同志社大学、茨城大学、立命館大学、神奈川大学、創価大学、東京工業大学、西南学院大学、早稲田大学
6	サント・トマス大学 University of Santo Tomas http://www.ust.edu.ph/	名古屋市立大学、金沢医科大学
7	マニラ大学 University of Manila http://www.plm.edu.ph/	札幌大学
8	マプア工科大学 Mapua Institute of Technology	早稲田大学

	http://www.mapua.edu.ph/	
9	UE 大学 University of East http://www.ue.edu.ph/manila/index.html	新潟大学歯学部、愛知学院大学、長崎大学
10	アテネオ・デ・マニラ大学 Ateneo De Manila University http://www.admu.edu.ph/	大阪大学、京都大学、東北大学、九州大学、名古屋学院大学、上智大学、神戸大学、関西学院、大阪外国語大学、同志社大学、南山大学、早稲田大学、関西外国語大学、神戸学院大学、明治大学、城西大学、国際基督教大学、立命館大学、立教大学、中央大学、国際教養大学、西南学院大学、桜美林大学、清泉女子大学
11	ミリアム・カレッジ Miriam College http://www.mc.edu.ph/	西南学院大学
12	アジア経営大学院 Asian Institute of Management http://www.aim.edu/	立命館大学、立命館アジア太平洋大学
13	シリマン大学 Silliman University http://su.edu.ph/	国際基督教大学、フェリス女学院大学、四国学院大学
14	サンカルロス大学 University of San Carlos http://www.usc.edu.ph/	福島大学、北海道大学、鹿児島大学、慶応大学、京都大学、九州大学、南山大学、大阪学院大学、東北大学、愛知東邦大学
15	国立ミンダナオ大学 Mindanao State University http://www.umindanao.edu.ph/	中部学院大学
16	フィリピン女子大学 Philippines Women University http://www.spup.edu.ph/	至学館大学
17	セントポール大学 University of St. Paul http://www.spup.edu.ph/	仙台白百合女子大学、西南学院大学
18	ミンダナオ国際大学 Mindanao International University http://www.mkd-edu.com/	FSG カレッジリーグ
19	イフガオ州立農林業大学 Ifugao State of University http://ifsu.edu.ph/	神戸学院大学
20	レジナ・カルメリ大学 University of Regina Carme Carmeli http://www.urc.edu.ph	大阪キリスト教短期大学
21	トリニティー大学 Trinity University http://new.trinity.edu/	神戸国際学院大学
	フィリピン・ノーマル大学 Philippines Normal University http://www.pnu.edu.ph/	関西国際大学、東京学院大学、
22	アサンプシオン大学	広島女学院大学

	Assumption College	
23	パーペチュアル・ヘルプ大学 University of Perpetua http://perpetualdelta.edu.ph/	専門学校日本ホテルスクール

＜出所：日本学生支援機構 JSSO 及び NPO 独自調査＞

(姉妹校提携に関するメモ)

- ・ 提携校学校独自の試験/面接あり。
- ・ 上記提携以外の私費留学生も、個人で入学申込みができる。
- ・ 単位互換により海外の大学2、3年次に編入可能。
- ・ 住居、生活費は別途費用。
- ・ 東京工業大学は授業料 授業料等不徴収協定。

III. フィリピンの自主運営できる大学

CHED(高等教育委員会/大学)はフィリピンの国公立・私立の高等教育の教育計画、政策、方針、運営はこの委員会が管理している。

一方で、CHED の認証なしで大学が独自に学科、学位、分校が作れる大学を自主運営できる大学という。

つまり、大学が新しい教育カリキュラムの創設、新しい教育プログラムの学位授与などは CHED の委員会の認定がいることを意味する。

すなわち、日本の専門学校や大学がフィリピンの大学と新しくカリキュラムの創設、学位授与、ディプロマの単位互換プログラムを組むことができることを意味している。

今回視察した公立大学のマカティー大学、私立大学のラサール大学などは自主運営できる大学である。これらの大学は自主的に運営できる大学として、独自に学科の新設、新学科の学位授与、地方分校の開設などができる。

海外の学校との姉妹校提携、企業と産学共同プログラムの新設など、自主運営権のある大学と組むメリットは大きい。

1) ラサール大学の単位認証と交換留学

今現在、ラサール大学ホテル・レストラン・マネジメント学部のベニール校(Benilde/School of Hotel, Restaurant and Institution Management)は日本の専門学校、大学と学部間の国際交流などの提携はしていない。

しかし、ラサール大学(ベニール校)は多数の海外の大学と提携している。ラサール大学が海外提携先留学生に与える単位認証で、必要とされる提出書類は次の通りである。

- ・ 単位認証の趣意書
- ・ これまで取得した単位の記録
- ・ 写真付の申込書と誓約書
- ・ 教授又は副学部長からの推薦状
- ・ 英語力は IELTS (International English Language Testing System) を基準
(但し、HRMについては、日本とラサル大学ベニール校と話し合いの上、あたらな基準を設ける。)

*** ラサル大学の交換留学生制度**



<出所: インターネット <http://www.dlsu.edu.ph/linkages/links.asp>>

2) フィリピン国立大学(UP)との姉妹校提携と留学応募条件

海外提携先の大学からフィリピン国立大学 (University of Philippines/UP) へ留学する場合に、必要とする提出書類は次の通りである。

- ・ UP大学は海外提携先大学の海外交換留学生を受け入れする
University of the Philippines accepts foreign exchange students from their partner universities around the world
- ・ 交換留学プログラムに従って、各大学の国際交流事務局に申請
a student must first be endorsed by their respective university through their International Office as the official representative of their university to the exchange program
- ・ UP大学は国際リンクエージ事務局 (Office of Institutional Linkages /OIL)が外国人留学生の書類申請を受付し、適切に対応する。
University of the Philippines through the Office of the International Linkages (OIL) accepts the endorsement and the application packet of the foreign student for review and appropriate action
- ・ 留学申込者に対し、OILは必要な申請書類を各国の国際交流事務局へ発送

OIL sends the Notice of Acceptance along with the other necessary documents and information for exchange student to their university's International Office

- ・ 下記のフィリピン留学ビザを取得

bearers of the following visas and permit are allowed to study in the Philippines

- ・ 学生ビザ 9F

Student Visa 9F

- ・ 特別なノン・イミグラント(移民)47(A)(2)

Special Non-Immigrant 47(A)(2) Visa

- ・ フィリピンの入管で特別留学許可(SSP)

Philippines Bureau of Immigration's Special Study Permit

* UP大学の姉妹校提携の概要



Office of Extension Coordination

University of the Philippines Diliman

● Exchange Programs
● International Linkages
● Local Linkages
● UPD Extension Services

» Home

» News & Events

» Exchange Students

» Visiting Professors

» OEC Services

» Contact Us

Links to other UP Diliman Offices

[UP Diliman](#)

[OVCAA](#)

[University Registrar](#)

[Main Library](#)

[DILC](#)

[ODI](#)

[OEC at Iskwiki](#)

Website updated
as of: April 3, 2013

International Linkages

In line with its mission to promote greater international academic cooperation, with the end of promoting the Institution as a world-class university, the University of the Philippines Diliman (UPD), has expanded its network by forging more Memoranda of Agreements (MOAs) and Memoranda of Understanding (MOUs) with various international academic institutions in Asia, Europe, Oceania, and in North America.

These MOAs/MOUs have been entered into in pursuit of the following objectives:

1. to enhance and enrich the University's and the partner institutions' academic and research programs;
2. to mobilize intellectual resources into developmental and creative undertakings; and
3. to promote technology transfer and innovative strategies in teaching and research between UPD and its partner institution.

As of December 19, 2011, the UP Diliman has partnerships with 24 countries and four international organizations.

UP System Linkages

As the flagship campus of the University of the Philippines System, the UP Diliman is autonomous in managing its

Index

The list of UP Diliman's partner institutions can be found here:

- » Africa
- » Asia [A - J]
- » Asia [K - Z]
- » Europe
- » North America
- » Oceania
- » Others

In Numbers

As of March 22, 2013 -
Total MOU / MOA: 192
Number of Partnerships -
Africa: 1
Asia: 120
Europe: 44
Oceania: 6
North America: 18
Others: 3

In terms of countries:
Total # of countries: 31
Africa: 1
Asia: 13
Europe: 14

< 出所: インターネット <http://ovcaa.upd.edu.ph/oec/international.html> >

第5章 単位互換の事例

I マカティ大学の基本情報

1) 大学の概要

基本情報	概要説明	メモ
設立	マカティ大学の前身は 1972 年に設立されたマカティポリテクコ・コミュニティー・カレッジである。学生数が増えるに従い、2002 年当時のビナイ市長（現職、副大統領）により、公式に University of Makati（マカティ大学/UMAK）の名称に変えた。 この大学はCHED（高等教育委員会）の認証を得ないで、UP（フィリピン国立大学）、ラサル大学、アテネオ大学などと同様に、大学が一定規模以上の学生数、教育設備などを有するとして、独自のカリキュラムを創設することができるのも、この大学の大きな魅力である。 （カリキュラム新設など、自主運営できる大学の一覧は下記リスト参照。） 更にこのプログラムは政府教育機関であるTESDA/技術教育技能開発庁（Technical Education and Skills Development Authority）と組んで、技術・技能研修プログラムを大学生のみならず、一般社会人にも実践教育を提供している。 大学の特徴の一つとして、首都圏のマカティ市の優位性を活かして、他の地域では難しいグローバル企業やローカル企業などと組んで Makati Training, Placement and Livelihood Consortia (MTPLC/就職実践教育プログラム) と呼ばれる実践的な産学協同の教育プログラムがある。 大学生のインターン研修先は、マカティに本社/支社を構える世界的な IT 企業、グローバルな病院やホテル、飲食サービス産業、TV などのマスコミ関連、化学製品などのサプライチェーン企業、建築デザイン、不動産開発企業などへ 300～600 時間以上の OJT を実施している。 大学生のインターン研修先は、マカティに本社/支社を構える世界的な IT 企業、グローバルな病院やホテル、飲食サービス産業、TV などのマスコミ関連、化学製品などのサプライチェーン企業、建築デザイン、不動産開発企業などへ 300～600 時間以上の OJT を実施している。	①観光学部と HRM学部はビジネス・アドミニストレーション・カレッジ（単科学部大学）に所属。 その他カレッジ（単科学部大学）は、②自然科学カレッジ（文学部・経済部・教育学部を管理）、③公共行政学カレッジ（法学部・政経学部）、④健康科学カレッジ（看護学部・薬学部）、⑤デジタル・カレッジ（パソコン・アニメ学部）、⑥技術管理カレッジ（生産技術管理学部）、⑦コンピューターサイエンス・カレッジ（コンピューター学部）、⑧人間工学カレッジ（バイオ学部）の合計 8 カレッジ（単科学部大学）がある総合大学。 ALCU は地方公立の大学の高

	マカティー市立大学(UMAK)は地方の市立大学の教育機構 ALCU (Association of Local Colleges and Universities/アルク)を創設。首都と地方の公立大学間の学術・スポーツ・運営などの教育交流を広げている事でもその名が知られている。 ※下記の3)項目にて詳細説明	等教育連合グループ。
学生数	現在の学生数はおおよそ 12,000 人。	年間授業料は 2400 ペソ/年 (6,000 円/年、半期は 1200 ペソ/3,000 円)。全国一学費が安い。 学費の 90%以上はマカティー市が学費負担。
日本人留学生数	日本人はただ今ゼロ。 韓国とインドネシアからの留学生が 10 数名在籍中。	外国人留学生にはこの上記の授業料は適用されない。

2) マカティー大学(ホスピタリティ・マネージメント)のカリキュラム

ホスピタリティ・マネージメント学科 (Bachelor of Science in Hospitality Management) の 1 年から 4 年生 (一学期と二学期) までのカリキュラムを科目と単位にまとめた。

下記の詳細記述 (図表 47)

① HRM学部 1～4 年のカリキュラム

マカティール大学HRM(Hotel Restaurant & Management)学科 4 年間のコースと単位
(図表 47)

FIRST YEAR, FIRST SEMESTER (1 年生/一学期)

COUR SE コー ス CODE コード	DESCRIPTION 科目	UNITS 単位	PRE-REQUISITE 前提条件
CORE 001	Understanding the Self 自己管理	3	
CORE 003	Contemporary World 現代社会	3	
ELE 1	Mathematics, Science and Technology 数学、科学 & 技術	3	
CUL MATH	Culinary Mathematics 料理のメカニズム	3	
HRM 101	Food Safety, Hygiene and Sanitation 食品の安全と衛生	3	
HRM 102	Principles of Food Preparation 料理の前準備	3	
MGMT 1	Principles of Management マネジメント概論	3	
TMGT 101	Introduction to Hospitality Management 入門ホスピタリティ	3	
		24	

■ 1 科目 (UNIT) は週 3 時間

- ・ 月/水/金が 60 分授業 (1 時間 X 3 回のクラス = 3 時間/週)
- ・ 火/木が 90 分授業 (1.5 時間 X 2 回のクラス = 3 時間/週)

■ クラスの時間

- ・ 3 時間/週 X 18 週 = 1 学期 (約 4 カ月プラス)
- ・ First Semester (1 学期) & 2nd Semester (2 学期) の 2 学期制

■ 4 年制は 24 単位 (一学期) + 27 単位 (二学期) >>> 合計 51 単位/年

■ TESDA で取得した単位はマカティール大学の単位にカウントできる Ladderized 制度 (階段システム) (NC-I, NC-II) National Competency / 各年

- 1 年 調理、ハウスキーピング
- 2 年 フロントオフィスサービス、料理と飲み物サービス
- 3 年 パーテンダー、イベントマネジメント (NC-III)、ツーリズム・プロモーション・サービス (NCII)
- 4 年 トラベル・サービス、ツアーガイド、アトラクション & テーマパーク・オペレーション (NC-II)

FIRST YEAR, SECOND SEMESTER (1年生/二学期)

COURSE CODE	DESCRIPTION	UNITS	PRE-REQUISITE
CORE 002	Purposive Communication コミュニケーションの狙い	3	
CORE 004	Mathematics in the Modern World 社会科学と理念	3	
ELE2	Social Science and Philosophy 自然科学と哲学	3	
MKTG 1	Principles of Marketing マーケティング論	3	
MGMT 2	Human Resource Management 人事管理	3	MGMT 1
HRM 103	Nutrition and Wellness 栄養学とウエルネス	3	HRM 101 and HRM 102
TMGT 103	Housekeeping Procedures ハウスキーピング	3	TMGT 101
HRM 104	Commercial Cooking ビジネス・クッキング	6	HRM 101 and HRM 102
		27	

SECOND YEAR, FIRST SEMESTER (2年生/一学期)

COURSE CODE	DESCRIPTION	UNITS	PRE-REQUISITE
CORE 005	Science Technology and Society 科学技術と社会	3	
CORE 006	Readings in Philippine History フィリピン歴史	3	
ELE 3	Arts and Humanities 人文芸術	3	
PER DEV	Personality Development 自己開発	3	
HRM 105	Fundamentals of Baking and Pastry Production パンとパスタの基礎	6	HRM 101 and HRM 102

HRM 106	Food and Beverage Service Operations and Cost Control System 飲食サービス・コスト管理	3	HRM 101 and HRM 102
ACCTG 1	Fundamentals of Accounting 会計基礎	6	TMGT 101
		27	HRM 101 and HRM 102

SECOND YEAR, SECOND SEMESTER (2年生/二学期)

COURSE CODE	DESCRIPTION	UNITS	PRE-REQUISITE
CORE 007	Art Appreciation 美術鑑賞	3	
CORE 008	Ethics 倫理学	3	
RIZAL	Life and Works of Rizal 英雄リサル伝	3	
TMGT 105	Front Office Services フロント・オフィス・サービス	3	TMGT 101
HRM 107	Catering and Food Quantity Food Production with Lab 実験ケータリングと食糧数値管理	6	HRM 101 and HRM 102
HRM 108	Banquet Functions and Services 宴会サービス	3	HRM 101 and HRM 102
FIN 1	Basic Finance 財務入門	3	ACCTG 1
		24	

THIRD YEAR, FIRST SEMESTER (3年生/一学期)

COURSE CODE	DESCRIPTION	UNITS	PRE-REQUISITE
HRM 109	Beverage and Bar Management 飲み物とバーのマネージメント	3	HRM 101 and HRM 102
FOR LAN 101	Foreign Language 1 外国語 1	3	
MNGT 3	Human Behavior in Organization 組織行動	3	MGMT 1

TMGT 106	Marketing and Promotions in Hospitality ホスピタリティとマーケティング	3	MKTG 1
HRM 110	Asian and International Cuisine アジアと世界の料理	6	HRM 101 and HRM 102
BUS LAW	Obligations and Contracts 義務と契約	3	
		21	

THIRD YEAR, SECOND SEMESTER (3年生/二学期)

COURSE CODE	DESCRIPTION	UNITS	PRE-REQUISITE
HRM 112	Garde Manger and Charcuterie 食肉管理	3	HRM 101 and HRM 102
HRM 113	Stocks, Soups and Sauces 在庫、スープとソース	3	HRM 101 and HRM 102
TMGT 114	Facilities Planning and Design 機材の計画と用意	3	TMGT 101
HRM 114	Western/Classical Cuisine 西洋と古典料理	6	HRM 101 and HRM 102
TMGT 115	Convention and Event Management イベントの管理学	3	TMGT 101
FOR LAN 102	Foreign Language 2 外国語 2	3	FOR LAN 1
BUS 101	Business Economics ビジネス経済	3	
		24	

FOURTH YEAR, FIRST SEMESTER (4年生/一学期)

COURSE CODE	DESCRIPTION	UNITS	PRE-REQUISITE
ENTREP	Entrepreneurship and Business Planning in Hospitality 起業とビジネスプラン	3	MGMT 1
TMGT 116	Room Division Management and Control 客室マネジメント	3	MGMT 1 & TMGT 101

MGMT 8	Strategic Management 戦略的マネージメント	3	MGMT 1
HRM 115	Hotel and Restaurant Operation Management ホテルレストラン管理	3	MGMT 1 & TMGT 101
TMGT 117	TQM in Hospitality Management TQM ホスピタリティー管理	3	MGMT 1 & TMGT 101
TMGT 118	Legal Aspects in Hospitality Management ホスピタリティーと法の順守	3	MGMT 1 & TMGT 101
TMGT 112	Hospitality Management Research ホスピタリティー研究	3	TMGT 101
		21	

FOURTH YEAR, SECOND SEMESTER (4年生/二学期)

COURSE CODE	DESCRIPTION	UNITS	PRE-REQUISITE
HRM 117	Practicum A – In House Practicum 実習科目/大学内	3	
HRM 118	Practicum B – Industry Immersion 実習科目/ホテルなど	3	
	TOTAL	6	

② マカティー大学の卒業必要単位 (図表 48)

マカティー大学は 4 年間に 168 単位の修得と 600～1200 時間のインターンシップは卒業のためにの必須科目である。

3 年修了して、その月の夏休みに入ると、インターンシップを始める学生もいる。4 年生は大学での受講よりもインターンシップ先で研修することが多い。

マカティー市は首都圏でもあり、フィリピンで一番大きな都会である。そのため、他のマニラ地区や方都市よりもインターンシップする場合は学生にとって有利である。

卒業までに必要な単位数 (図表 48)

学年	単位/学期制	学年別 単位合計	メ モ
1 学年	一学期/24 単位 二学期/27 単位	51 単位	インターンシップは卒業 必須科目。 3 年生の学科終了後、 夏休み頃(比国の夏 季休暇は 4 月～5 月) からに行われる
2 学年	一学期/27 単位 二学期/24 単位	51 単位	
3 学年	一学期/21 単位 二学期/24 単位	45 単位	
4 学年	一学期/21 単位 インターンシップ 600～1200 時間	21 単位	
1～4 学年の単位合計+インターンシップ		168 単位	

<出所:マカティー大学ビジネス・アドミニストレーション>

II. ラサル大学（ベニール校）の基本情報

1) ラサル大学の概要

ラサル大学は一学年を3学期制に分けている。最近では HRM/観光学部と IT 学部の関係ではフィリピン国内大学のトップにランクされている。（図表 49）

ラサル大学(ベニール校)の概要（図表 49）

基本情報	概要説明	メモ
設立	1988 年設立。ラサル・カレッジ大学(ベニール・カレッジ)はラサル・ユニバーシティ大学リーグ(本校)から HRM 学部が分離独立した職業専門大学である。 学生たちのキャリア開発、夜間大学、身体障害者教育などに、実学を重視した教育は世界的に有名。 特に HRM(ホテル・レストラン・マネージメント)は国内のホテル・レストラン・コンペティションで数々の優勝を重ね、教育の質・レベルはフィリピンでナンバーワンの声が高い。 ラサル大学ベニール校が直営するホテル「ホテル・ベニール/Benilde」は、学生自主運営するホテルとして、国内外で有名。 学生向けのインターンシップ(研修)を目的に、国内就職のみならず、海外 5 ツ星ホテル・レストランへの就職機会を創造するために数年前にオープンした。 ラサル大学ベニール校の就職率は 90%と言われ、その殆どは国内の5ツ星クラスのホテルへ就職している。また海外有名ホテルにも多数就職。 ホテルへのインターンシップについては、学生が望む国内ホテル研修はほとんど希望がかなっている模様。 学士号授与として、経営管理学、貿易輸出管理、ホテル、レストラン管理、芸術、ファッションデザイン、マーチャンダイジング、外交学、ろう者学の学士号などがある。又、ラサル大学夜間学部の職業プログラムなどもある。	学部 ・HRIM (Hotel, Restaurant & Institution Management) ・デザイン&アート ・IT マネージメント - デジタルデザイン、音楽、デジタルアニメ等) ・Deaf Education and Applied Studies (SDEAS) 手話等、聴覚障害者の教育と応用研究
学生数	職業技術を充実させ、専門に特化したラサル大学(ベニール・カレッジ)は今や 14,000 名(2014 年現在)を超えた。この在校生数は母校のラサル大学(ユニバーシティ 11,000 名/2014 年現在)よりも、学生数は大きい。	HRM(ホテル・レストラン管理学部)の授業は通年(3学期制)。 学費は 18 万～21 万ペソ/年 (日本円で 45 万円～53 万円/年) (6 万～7 万ペソ/

		円で 15 万～18 万円/学期)
VANTEL と提携 (ヴァテル加盟 大学)	30 年以上前に作成された、ヴァテルは、4 つの異なる大陸に 26 以上のキャンパスを持つ。世界でホテル経営学校の最高、最大のホテルレストラン・グループに加盟。 経営コースと専門的な実務を交互に実績のある教授法のおかげで、ヴァテルは、国際的に「Vateliën」卒業生の質とプロフェッショナリズムのための最も有名なホテルチェーンの上級および中間管理職にはよく知られている。 ホスピタリティ業界との密接かつ友好的な関係を保つことにより、観光産業の急成長部門で国際的なキャリアへのパスと言われている。 ヴァテルは労働、雇用、健康のフランスの省によって認識される学部と大学院学位を提供している。ラサール大学はフランスの大学との単位互換と相互認証により、2つの大学卒業資格が取得できる。	フィリピンの代表的な HRM とツーリズムの大学として、ラサール大学(ベニール校)は国内外で有名だ。 就職率もほぼ 100%と、フィリピンでのトップクラスの人気大学だ。 フィリピンの代表的な HRM とツーリズムの大学として、ラサール大学(ベニール校)は国内外で有名。 就職率もほぼ 100%と、フィリピンでのトップクラスの人気大学だ。 海外インターンシップも盛んで、特にスイス、フランスのホテルなどは毎年 100 名前後がヨーロッパに研修している。
日本人のラサール大留学生数	日本人は 2～3 名(その内、日系人が 5 名/2014 年現在)。因みに、ラサール大学には、韓国人約 200 名が留学。その内 HRM(ベニール校)には約 50 名が在籍。	

2) ラサール大学 (ベニール校) 1～4 年の HRM カリキュラムと卒業単位

ラサール大学は 3 学期制なので、卒業するまで 1 学期～11 学期とインターンシップ(600 時間～1000 時間)が必須である。インターンシップ先はラサール大学直営のホテル(「ホテル・ベニール/Benilde」)、または大学が提携している国内 5 ツ星クラスのホテルで研修する。

大学生の希望によって、海外のホテル(VANTEL/ヴァテル加盟のホテル)で研修が可能。

ラサール大学の 2014 年度の 1～4 年の HRM カリキュラムと単位(図表 50)は下記の通りである。

楽器別科目の翻訳は
この頁の下部に記載

① HRM学部 1～4 年のカリキュラム

1 年生カリキュラム (取得:58 単位) (図表 50)

Units	CODE	Code	Description	1 st Term 1 年生 1 学期
3	AESTHET	単位数:58 (3)	Aesthetics	1 st Term 1 年生 1 学期
3	BIBSTUD		Bible Study	
3	CORWRIT		Reading and Writing in English for College Students	
3	FILIP11		Sining ng Pakikipagtalastasan	
3	GEPSYCH		General Psychology	
2	PEONEPF		Physical Fitness	
(3)	CSBLIFE		College of Saint Benilde Student Life	
			2nd Term	2 nd Term 1 年生 2 学期
3	BUSMATX	単位数:57 (3)	Business Mathematics 2	2 nd Term 1 年生 2 学期
3	DYNAREL		The Dynamics of Religion	
3	WORPROC		Word Processing	
3	TECWRT		Technical Writing	
3	FILIP13		Retorika	
3	POLIGOV		Politics and Governance	
2	PETWODA		Dance Area	
(3)	NSTP-01		National Service Training Program-01	
			3rd Term	3 rd Term 1 年生 3 学期
3	IHMLOGC	MAJOR 1 単位数:40 (3)	Foundations of Logic	3 rd Term 1 年生 3 学期
3	RECONSE		Religion & Contemporary Search for Self	
1	IHMFRE1		French One	
3	ORALCOM		Oral Communications	
3	NATSC13		Natural Science 3	
3	WORLITE		World Literature	
2	PETRIID		Individual/Dual Sports	
3	JOSERIZ		Jose P. Rizal	
(3)	NSTP-02		National Service Training Program-02	

(上記の学期別英文科目の和訳)

1st Term 1 年生 1 学期

美学
聖書の勉強
聖書の勉強
大学生の英語の読み書き
フィリピン語
心理学概論
フィットネス体操
セントベニール大学生生活

2nd Term 1 年生 2 学期

ビジネス数学
宗教の原動力
ワープロ
テクニカル文書作成
フィリピン語
政治と行政
ダンスの領域
国家奉仕のトレーニングプログラム

3rd Term 1 年生 3 学期

基金の論理
宗教と今の自己を見つめて
フランス語その 1
口頭でのコミュニケーション力
自然科学 3
世界文学
個人/ペアのスポーツ
ホセ・リサル(フィリピンの英雄)
国家奉仕のトレーニングプログラム 2

2年生カリキュラム（取得:57 単位）

翻訳文はこの頁の
下部に整理記述



			4th Term	4 th Term 2 年生 1 学期
3	CATHWOR		Catholicism in The Modern World	
1	IHMFRE2	MAJOR 1	French Two	
3	HAZONFO		Hazard Analysis in Food	
2	DEVPER1	MAJOR 2	Personality Development in The Hospitality Industry 1	
3	PRINMGT		Principles of Management	
2	PEFORTS		Team Sports	
3	STATIHM		Statistics	
3	PTOUR-1		Principles of Tourism 1	
単位数:20				
			5th Term	5 th Term 2 年生 2 学期
3	BACNTHI		Basic Accounting-Hospitality Industry	
3	NUTRWEL	MAJOR 1	Nutrition and Wellness (Lecture)	
1	IHMFRE3	MAJOR 2	French Three	
3	RDIMCON		Rooms Division Management & Control Systems	
2	DEVPER2	MAJOR 3	Personality Development in The Hospitality Industry 2	
2	FRONOP1		Front Office Operations - Lec	
1	FRONOP2		Front Office Operations - Lab	
2	HOUSE01		Professional Housekeeping - Lec	
1	HOUSE02		Professional Housekeeping - Lab	
単位数:18				
単位数:19				
			6th Term	6 th Term 2 年生 3 学期
3	CULTHRO		Cultural Anthropology / Intercultural Management	
3	INTECOM		Introduction to Economics	
1	IHMFRE4	MAJOR 1	French Four	
3	INFOSYS		Information for the Hospitality Industry w/Lab	
2	FADBES1	MAJOR 2	Facilities Design & Building Engineering Systems (Lec)	
1	FADBES2	MAJOR 2	Facilities Design & Building Engineering Systems (Lab)	
3	MARKMG1		Marketing Management for Hospitality Industry	
3	PTOUR-2		Principles of Tourism 2	

（上記の学期別英文科目の和

4th Term 2 年生 1 学期

近代のカソリック
フランス語その 2
食品危機管理
ホスピタリティにおける自己開発 1
マネージメントの原理
集団スポーツ
統計学
ツーリズム原論 1

5th Term 2 年生 2 学期

会計学基礎ーホスピタリティ産業
栄養学とウエルネス(講義)
フランス語その 3
部屋割りの管理 & コントロールシステム
ホスピタリティ産業の自己開発 2
フロントオフィス(講義)
フロントオフィス(実習)
職業的ハウスキーピング(講義)
職業的ハウスキーピング(実習)

6th Term 2 年生 3 学期

文化人類学/ホスピタリティ産業
経済学の基礎
フランス語その 4
ホスピタリティ産業の情報(講義)
設備デザイン & 建築工学システム(講義)
設備デザイン & 建築工学システム(実習)
ホスピタリティ産業のマーケティング
ツーリズム原論 2

3 年生カリキュラム (取得:46 単位)

			7th Term	7th Term 3 年生 1 学期
2	BARMAN1	MAJOR 1	Beverage Management - Lec	
1	BARMAN2	MAJOR 1	Beverage Management - Lab	
2	MARKMG2	MAJOR 2	Hospitality Sales & Marketing	
2	FOODSY1	単位数:17	Food Service Systems - Lec	
1	FOODSY2		Food Service Systems - Lab	
3	HUMANBE	Human Behavior In Organization		
3	TOTALQM	Total Quality Management		
3	TOURDEV	Tourism Planning & Development		
			8th Term	
2	CULTEUR	MAJOR 1	European Culture	
2	EUROTUR	MAJOR 2	European Tourism Economy	
2	GLOBTRE	MAJOR 3	Global Trends in Tourism	
3	FINMGMT		Financial Management for the Hospitality Industry	
3	HUREMGT	MAJOR 4	Human Resource Management for the Hosp. Ind.	
1	WINEAPP	MAJOR 5	Wine Appreciation / Oenology (Lab)	
2	PRIMLEC	単位数: 6	Principles of Food & Menu Planning - Lec	
2	PRIMLAB		Principles of Food & Menu Planning - Lab	
			9th Term	9th Term 3 年生 3 学期
6	IHMPPA1		Internship	

(上記の学期別英文科目の和訳)

7th Term 3 年生 1 学期

飲料マネージメント(講義)
飲料マネージメント(実習)
ホスピタリティのセール&マーケティング
フード・サービス・システム (講義)
フード・サービス・システム (実習)
組織の人間行動学
トータル品質管理
ツーリズム企画開発

8th Term 3 年生 2 学期

ヨーロッパ文化
ヨーロッパツーリズム経済学
ツーリズムのグローバルな傾向
ホスピタリティ産業の財務管理
ホスピタリティ産業の人事管理
ワインの識別 / 醸造学 (実習)
フードとメニュー作成の基本(講義)
フードとメニュー作成の基本(講義)

9th Term 3 年生 3 学期

インターンシップ

4年生カリキュラム +OJT (取得:22 単位 + インターンシップ 600~1,000 時間)

		10th Term	<u>10th Term 4 年生 1 学期</u>
1	CATRPR1	単位数:16	Professional Catering Services - Lec
2	CATRPR2		Professional Catering Services - Lab
3	ENFRAMA		Entrepreneurship, Franchising, & Small Business Management
4	EVNTMGT		Events Management
3	INTELAW	MAJOR 1	International law
1	CSBGRAD		College of Saint Benilde Graduating Students
3	CONTSIS		Cost Control and Analysis
		単位数: 6	
		11th Term	<u>11th Term 4 年生 2-3 学期</u>
6	IHMPRA2		Internship (Deluxe Hotel)

(上記の学期別英文科目の和訳)

10th Term 4 年生 1 学期

職業的な給仕/ケータリング・サービス(講義)
 職業的な給仕/ケータリング・サービス(実習)
 起業家/フランチャイズと小規模ビジネス管理
 イベント管理
 国際的な法律
 セント・ベニール卒業生
 コスト管理と分析

11th Term 4 年生 2-3 学期

インターンシップ

② ラサル大学の卒業必要単位

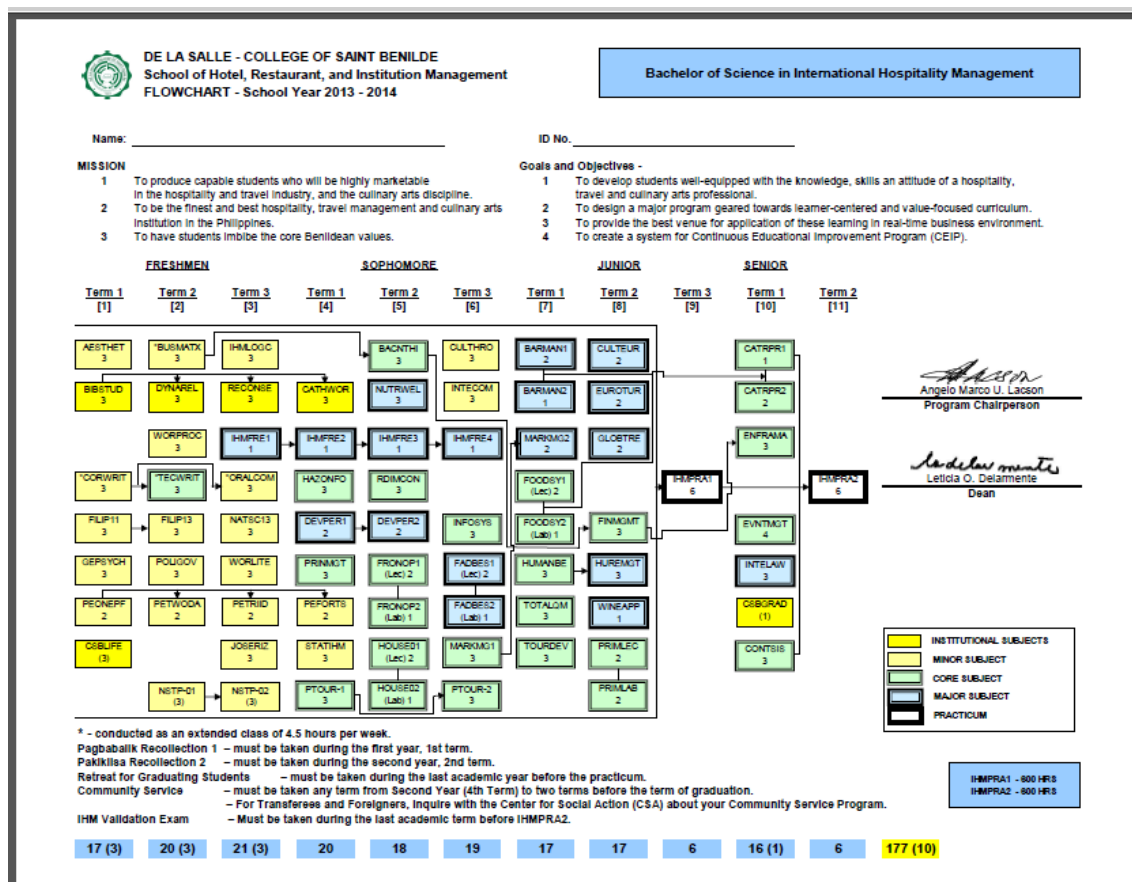
ラサル大学の4年間での取得単位は177単位～188単位と、インターンシップになる。

卒業単位

学年	単位 (3学期制)	メモ
1 学年	58 単位	卒業に必要な単位(177 単位) & インターンシップ(600～1200)時間
2 学年	57 単位	
3 学年	40 単位	
4 学年	22 単位+インターンシップ	

<出所:ラサル大学/ベニールカレッジ>

DE LASALLE - COLLEGE OF SAINT BENILDE 校 / 4年間の単位取得フローチャート



<出所:ラサル大学/ベニールカレッジ>

また、インターンシップは4年生になると、その期間4カ月以上(平均600時間)、長い場合は夏休みやクリスマス休暇を利用して1200時間のインターン経験する学生もいる。

3) ラサル大学生の海外留学

① 応募資格

ラサル大学(DLSU)では少なくとも2学年を修了したDLSUの学生に限る。DLSUの卒業の学生は認めない。そして継続的にDLSUで学ぶ必要がある。その他に、下記の条件が決められている。

- ・ 留学期間は姉妹校提携先に、1 学期～最長で 1 年
- ・ 交換プログラムの事前登録する必要があります
- ・ 姉妹校に留学するための論文提出（事前にDLSU側に提出が必要）
- ・ 学生は海外滞在期間を決める
- ・ 一定の成績（2.0 の最小累積成績平均点/GPA が必要）
- ・ 科目に不合格の評価点(グレード)があってはならない
- ・ 犯罪歴がない
- ・ 英語またはホスト大学が必要とする第二外国語
- ・ 海外の学習環境でも留学が成功する可能性
- ・ 往復の海外渡航費やその他の渡航関連費用、保険、書籍や学用品、その他の個人や生活費が負担できる財政力

② 帰国後の単位認定

海外留学から帰国したラサル大学は海外の学習コースの説明と単位認証とその単位数を DLSU の学部長(Chair)宛に認定書と帰国報告書を提出する。

- ・ 留学直前に提出した受講科目の単位リスト
- ・ 姉妹大学に登録した科目リストの提出
- ・ 留学目的とその結果を所定のフォームにレポートして、ウェブ上でアップロードする
- ・ 留学する前に提出した海外の学習科目とDLSUのカリキュラムのフローチャート同等である（DLSUの科目と同じ科目が姉妹校にない場合、代替科目を取得して認定を受ける。）
- ・ 姉妹校からもらった単位認定を DLSU の学部長(Chair)から単位として承認を受ける

III. 海外の大学と単位互換と単位認証の事例

1) マカティー大学と USA のグアム大学(グアム島)姉妹校提携

海外の専門学校・大学と姉妹校提携している場合、単位互換と単位認証の考え方はフィリピンの大学によってまちまちである。

海外の学校からフィリピンの大学へ編入学する場合、海外留学生の入学時期は殆どが新学期の(6 月)、あるいは二学期が始まる(11 月)である。

マカティー大学の年間カリキュラムは 2 学期制なので、一般に海外からの編入学は 1 学期(6 月)か 2 学期(11 月)になる。

後で詳しく述べるが、自主運営管理を任された大学(マカティー大学やラサール大学など)は、高等教育委員会(CHED)の承認なしに、その大学は独自の判断と責任において、海外の学校や大学と単位互換や単位認証の科目・時間・時期などが自由に決定できる。

ここでは 2014 年度のフィリピンのマカティ大学とアメリカのグアム大学の HRM 学部は相互の大学HRMのカリキュラムを検討、編纂した単位認証の事例を報告する。(図表 51)

マカティー大学は通常科目とは別に、グアム大学に 1 年留学コース(10 ヶ月コース/上期と下期)の学習科目を編集している。それを双方の大学が単位互換としている。

今回の単位互換調査の中で、マカティ大学からの提案として、日本の専門学校・大学のインターンシップ先をフィリピンのみならず、グアム島のホテルの研修も可能だとの提案を受けた。

マカティー大学と同様提案として、ラサール大学ベニール校はフランスとスイスの Hotel VANTEL(ヴァテール・ホテル)と提携している。

その欧州のホテルで、日本人学生がインターンシップを受けて、講義と実技の単位認証をラサール大学から受けることができることの提案を受け取った。

マカティー大学とグアム大学との大学提携の覚書 (図表 51)





MEMORANDUM OF UNDERSTANDING

This Agreement is entered into this _____ day of _____ 2014 between:

UNIVERSITY OF MAKATI, a local government institution of higher learning established and operating under City Council Ordinance No. 99-126, with principal office at National Road, Barangay West Rembo, Makati City, and represented herein by its President in accordance with Section 1 Article VI of the same Ordinance, **Prof. Tomas B. Lopez, Jr.**, hereinafter referred to as "UMAK";

-AND-

GUAM COMMUNITY COLLEGE, a multi-faceted, public career and technical education institution, created by Guam Public Law 14-77 (as amended by Guam Public Law 31-99 in 2011) to strengthen and consolidate career and technical education on Guam. The College is located in the US territory of Guam, and represented herein by its President, **Mary A. Y. Okada, Ed. D.**, hereinafter referred to as "GCC";

WHEREAS, both parties firmly believe in the importance of training, education and human resources development;

WHEREAS, both parties consider the strategic significance of entering into partnership with other like-minded institutions to develop effective curricular designs, implementable research, advance studies, among other academic endeavors to create the best learning environments for their students and faculty as well.

Now therefore, for and in consideration of the foregoing, parties mutually agree to comply with all the terms and conditions of agreement, viz:

I. PROJECT DESCRIPTION

This is a sister school partnership/cooperation between UMAK and GCC for meaningful educational opportunities for the parties' respective faculty members, administrative staff and students geared towards the demands of emerging cutting edge educational reforms, that can benefit both parties.



 Page 1

II. OBJECTIVE

To set up a UMAK-GCC sister school partnership/cooperation that aims to share human and material assets as well as to link the parties' academic resources.

III. SUMMARY of the RESPONSIBILITIES of PARTIES

PROJECTS AND PROGRAMS

- In consideration of the partnership/cooperation, parties shall assist each other in institutional development in terms of curricular designs, material development, academic program development, faculty development and research development.
- Both parties have the leeway to institute an exchange program for the benefit of their faculty members and their respective students.
- Parties are not prohibited to craft programs for their benefit and advantage, in keeping with the objective set forth in this agreement.

PHYSICAL FACILITIES

- Provide for the provision of facilities, equipment and utilities in any agreed faculty and student development, if necessary.

CONTACT PERSON

- To ensure the smooth operational flow of all programs and activities that will be undertaken under this agreement, point of contact for GCC will be **Dr. R. Ray D. Somera, Vice President for Academic Affairs** and the point of contact for UMAK will be **Dr. Elyxur Ramos, University Secretary**.

EXCHANGE PROGRAMS

- In the event that GCC faculty members, students and other representative from GCC will decide to visit the Philippines and take part in the academic programs of UMAK, GCC with the assistance of UMAK shall be responsible for all their immigration needs, among other concerns.
- In the event that UMAK faculty members, students and other representative from UMAK will decide to visit Guam and take part in the academic programs of GCC, UMAK with the assistance of GCC shall be responsible for all their immigration needs, among other concerns.



 Page 2

- Recipients of the exchange program or scholarship program shall bear their respective personal expenses such as, but not limited to, airfares, board and lodging, transportation, school supplies, uniform and book allowance, among other expenses UNLESS parties agree otherwise.
- Provision on conditions regarding the tuition/taken fees may be agreed upon by the parties.
- Other expenses that may be incurred in the implementation in any of the programs and activities agreed by the parties shall be subject to any further agreement of the parties, which shall be in writing and will form part as an Addendum to this Memorandum of Understanding.

CERTIFICATE AND DIPLOMA

- UMAK or GCC is responsible for the conferment of degree or certificate earned by the recipients of the exchange or scholarship programs after due evaluations and assessments are conducted.

IV. MUTUAL TERMS AND CONDITIONS

1) DURATION OF AGREEMENT

- This Agreement will commence upon written acceptance by both parties on the foregoing terms and conditions and will be valid for a period of five (5) years unless sooner revoked or extended as mutually agreed upon by both parties.

2) TERMINATION OF AGREEMENT

- The parties may terminate this Memorandum of Understanding for any reason by giving the other party written notice thirty (30) days prior to the effective date hereof.

3) RELATIONSHIP OF PARTIES

- This agreement will not be deemed in any manner whatsoever, either directly or indirectly, to create an employee-employer relationship between and among UMAK, GCC and their respective personnel, employee or agent of the respective parties to this agreement.

4) RESERVATION OF RIGHTS

- Both parties reserve the right to discipline its respective personnel assigned to assist in the project implementation.



 Page 3

5) WAIVER / Non-LIABILITY

- Both parties hereby agree not to be held responsible for failure to render service due to fortuitous events such as but not limited to force majeure, typhoons, earthquakes, and other unforeseen circumstances beyond both parties control.

6) INTELLECTUAL PROPERTY OWNERSHIP

- All materials that may be produced, reproduced, and/or created in the course of the program will be owned and will belong exclusively to the party who produced, reproduced, and/or created such materials unless said party surrenders his/her right of ownership on his/her own account or volition.

7) MODIFICATION OF AGREEMENT

- All modifications, waivers, or alterations to this Memorandum of Understanding must be approved in writing by both parties.

8) ASSIGNABILITY AND TRANSFERRABILITY

- No party may assign its rights as well as its responsibilities under this agreement without the prior written consent from the other parties.

9) WARRANTIES

The parties represent and warrant to each other that:

- The execution, delivery and performance of this agreement have been duly authorized by all necessary corporate actions and will not result in any breach or violation of any of its existing charter documents, contracts, licenses, permits and authorizations, except as otherwise disclosed herein;
- This agreement when executed constitutes a valid and binding obligation on the party and shall be enforceable in accordance with its terms; and
- All authorizations, licenses resolutions and consents from their respective governmental authorities, as required by law in respect of the execution and performance of this agreement have been duly taken, and shall be kept valid and effective by the parties during the Term of this Agreement.

10. WAIVER

- The waiver by a party of a breach of any of the provisions of this Agreement by any of the other parties shall not be construed as a waiver of any succeeding breach of the same or other provisions; nor shall any delay or omission by a party



 Page 4

< 出所: マカティー大学 Foreign Affair >

2) フィリピン国立大学 (UP)と海外大学との単位互換と認証

フィリピン国立大学(UP)が海外の姉妹校提携した大学の学生受け入れに関する UP 側の入学許可と単位認証の条件と手続きをピックアップした。

- ・ UP が提携している海外の大学の交換留学生を受け入れる
(University of the Philippines accepts foreign exchange students from their partner universities around the world)
- ・ UP留学希望の外国人学生は提携先窓口の母国の大学国際交流課を通じて申し込む
(a student must first be endorsed by their respective university through their International Office as the official representative of their university to the exchange program)
- ・ UP の海外連携事務所(OIL)は、留学希望者の推薦状を審査し、適切な対応をとる
(University of the Philippines through the Office of the International Linkages (OIL) accepts the endorsement and the application packet of the foreign student for review and appropriate action)
- ・ UP 本校の海外連携事務局(OIL)を通じて、必要な書類など承諾通知を交換留学生宛に発信
(OIL sends the Notice of Acceptance along with the other necessary documents and information for exchange student to their university' s International Office)

＜出所：インターネット調査＞

IV. インターンシップ先の現地ホテルの視察

1) HRM(Hotel Restaurant & Management)のインターンシップ

フィリピンの大学生にとって、インターンシップの体験は卒業のために必須である。殆どの大学のホテル・レストラン管理学部や観光学部のインターンシップ期間は1学期以上(時間数にして最低300時間、長い人で1000時間以上)である。

HRMの学生が職場訓練を受けるインターンシップ先のホテル、レストランは無給である。昼食や夕食が出るケースはあるが、交通費が出ないケースが多い。

① インターンシップの申請フォーム (図表 51)

マカティ大学のOJT申請書 見本 (図表 51)


Republic of the Philippines
CITY OF MAKATI
UNIVERSITY OF MAKATI
J. P. Rical Extension, West Rembo, Makati City
 Tel. Nos. 882-8335 • 882-8677 • 882-0676 • 882-1880 • 882-1862 • 882-1867 • 882-1868

ON-THE-JOB TRAINING AND PLACEMENT SERVICES CENTER

OJT & 職場研修サービスセンター

Personal Information Sheet:

Name: **個人データ情報** Last Name First Name M. I. Program: _____

Year & Section: _____ Time: _____ Telephone Number: _____

Address: _____

Date of Birth: _____ Place of Birth: _____ Age: _____

Father's Name: _____ Occupation: _____ Tel. No. _____

Mother's Name: _____ Occupation: _____ Tel. No. _____

Parent's Address: _____

Faculties Teacher: **担当教授** _____ **学生の署名** _____

Student's Signature

Attach
 here
 Photo

写真

1. **OJT先の企業データ情報** Available Time for Training: **OJT勤務時間**

Company Name: _____ Address: _____

Telephone Number: _____ Date of Application: **OJT申込み日**

Contact Person: _____ Position: **希望職域**

2. **OJT先の企業データ情報** Available Time for Training: _____

Company Name: _____ Address: _____

Telephone Number: _____ Date of Application: _____

Contact Person: _____ Position: _____

3. **OJT先の企業データ情報** Available Time for Training: _____

Company Name: _____ Address: _____

Telephone Number: _____ Date of Application: _____

Contact Person: _____ Position: _____

4. _____ Available Time for Training: _____

Company Name: _____ Address: _____

Telephone Number: _____ Date of Application: _____

Contact Person: _____ Position: _____

REMARKS: _____

*** No on-the-job training shall be recognized unless undergone without prior explicit approval of the Dean of College/On-the-Job Training and Placement Services Center Director.

2) インターンシップ生にインタビュー

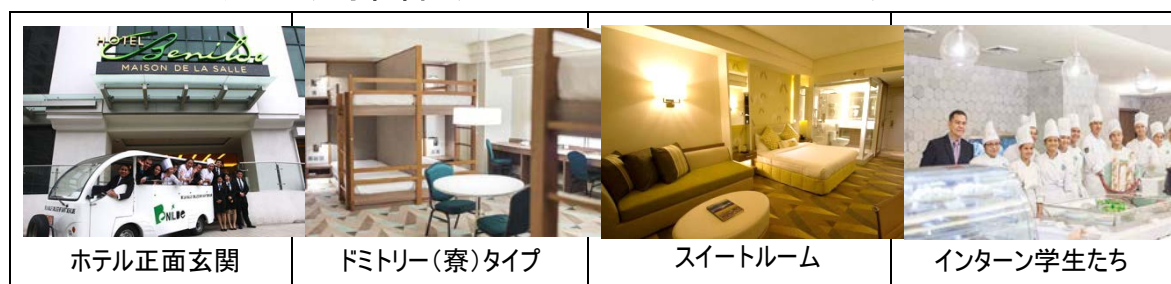
ラサル大学はフィリピンでは珍しく自前でホテルを経営している。

その「Hotel Benilde Maison De La Salle」は5ツ星クラスの部屋2室、4ツ星クラスの部屋47室、ドミトリタイプ(寮)の部屋3つが大学キャンパスの建物のなかにある。

卒業後に各種宿泊業の職場を想定して、トップクラスの部屋からドミトリタイプの部屋まで料金は割安料金(図表52)で用意されている。

ラサル大学生のインターンシップ制度はホテル・マネージメント、財務会計、マーケティング、レストランの調理、当日の職場反省会など、全てが学生による自主管理である。教授は学生たち助言するだけである。

ホテル・ベニール/ラサル大学直営 (Hotel Benilde Maison De La Salle)



< 出所: インターネットより <http://www.benilde.edu.ph/hotel/> >

超高級ルームから大部屋のドミトリまでであるこのホテルは、学生のために国内はもとより、海外の一流ホテルで勤務できるよう、実践的な職業訓練をしている。以下、ホテル・ベニールを訪問調査した時に、各フロア担当の大学生(インターン生)達にインタビューした。

・フロントデスク (Q&A)

Q-1) フロント・サービスはすべて学生か?

A-1) 卒業生1名を除き、他のフロント4名はすべて3年か4年の在校生である。

Q-2) 受付で失敗した時は、どう対応するのか?

A-2) いつも先輩(卒業生)が自分たちを見てくれている。失敗しても対応が早いと思う。

・ハウスキーピング (Q&A)

Q-1) 宿泊客はどんな人?

A-1) 殆どはインターネットで予約してくる一般人。外国人や学校関係者も多い。

Q-2) ドミトリの部屋のベッド数が多い。掃除はどうしている?

A-2) 5ツ星部屋と同じように清潔さが大切だ。ベッドメイキングも顧客の満足を重視する。

Q-3) インターンシップは無給だが、楽しいか?

A-3) 無給だが楽しい。将来、海外勤務を希望。積極的にインターンシップに参加している。

・ 飲食部門（Q&A）

Q-1) 食器、テーブルのデコレーションはどういう風にするのか？

A-1) 学生たちだけで考えて、営繕室の什器備品や食器棚から選んで配膳する。

Q-2) 毎日反省会をするのか？

A-2) フロアーチームは、料理、配膳、顧客の意見を参考に、学生たちだけで反省会する。

Q-3) インターシップはこのホテルだけか？

A-3) 希望する国内ホテル、海外ホテルは学校が交渉してくれる。殆ど希望は叶っている。

ラサル大学ベニール校のホテル・インターンシップ（図表 52）

（学生が自主運営するホテル/割安料金に設定）

ホームページも学生がデザイン（一般ホテルより格安料金） 1 ペソ=2.5 円換算

Rate per Night					Choose	
Buffet Breakfast Free Wifi Complimentary Welcome Drink Complimentary Mini Bar More						
Available rooms	Adults Age: 8+	Children Age: 0-7	Price per night Best Price Guarantee	Total cost per room		
Dormitory Bed - Female With Buffet Breakfast, plus other inclusions	1	Not allowed	PHP 1,135.77 1,411.76 Incl. Taxes & Fees	PHP 2,823.52 for 2 nights Only 10% to Reserve Nonrefundable	ドミトリー（寮）タイプ 一人 2,840 円	
Deluxe Queen With Buffet Breakfast, plus other inclusions	2	Free	PHP 4,424.78 5,500.00 Incl. Taxes & Fees	PHP 11,000.00 for 2 nights Only 10% to Reserve Nonrefundable	デラックスRm 11,060 円（2 人+子供 2 人可）	
Superior Twin Room With Buffet Breakfast, plus other inclusions	2	Free	PHP 4,424.78 5,500.00 Incl. Taxes & Fees	PHP 11,000.00 for 2 nights Only 10% to Reserve Nonrefundable		
Deluxe King With Buffet Breakfast, plus other inclusions	2	Free	PHP 4,827.03 6,000.00 Incl. Taxes & Fees	PHP 12,000.00 for 2 nights Only 10% to Reserve Nonrefundable	Only 1 room available	
One Bedroom Suite With Buffet Breakfast, plus other inclusions	2	Free	PHP 7,240.55 9,000.00 Incl. Taxes & Fees	PHP 18,000.00 for 2 nights Only 10% to Reserve Nonrefundable	スイートRm 18,010 円（2 人+子供 2 人可）	

< 出所: インターネットより <http://www.benilde.edu.ph/hotel/> >

V. 大学の授業料の調査

1) フィリピンのHRM学部の国公立と私立の学費

国立・公立の大学は学費（図表 53）が安い。しかし、財政豊かなマカティ市やケソン市と貧しい地方都市は同じ国公立でも授業料も設備も違う。

例えば、マカティ大学は学費の 90%以上を財政豊かなマカティ市が補助金を出している。その結果、マカティ大学HRM学部の年間授業料は 1～2 万円程（3000 円～5000 円/学期×2 学期制）。私学の授業料は国公立の 10 倍以上の開きがある。因みにラサル大学ベニール校の年間授業料はおおよそ ¥45 万円～54 万円（¥15 万～18 万/学期×3 学期）になる。

HRM学部の授業料（図表 53）

（学費は各学期ごとに納付）

No.	大 学 名	場 所	私立 /国立	学期	授業料/学期×学期数 (P:ペソ=2.5 円)	
					ペソ	円
1	サンカルロス大学	セブ島	私立	2	P 40,000	¥10 万
2	ユニバーシティ・オブ・イースト	マニラ	〃	2	P 40,000	¥10 万
3	ラサル大学 アラネタ	〃	〃	3	24,000-28,000	¥6 万～7 万
4	セントポール大学ケソン市	〃	〃	2	40,000-45,000	¥10 万～11 万
5	ファーイースタン大学	〃	〃	2	38,000	¥9.5 万
6	バギオ大学	北ルソン	〃	2	23,000-25,000	¥6 万～6.3 万
7	ラサル大学 ダスマニマス	カビテ	〃	3	48,000	¥12 万
8	ラサル大学 ベニール校	マニラ	〃	3	60,000-70,000	¥15 万～18 万
9	セントポール大学マニラ市	〃	〃	2	50,000-60,000	¥8 万～15 万
10	マラヤン大学ラグナ	ラグナ	〃	2	30,000-35,000	¥8 万～12 万
11	サント・トマス大学	マニラ	〃	2	40,000-60,000	¥10 万～15 万
12	フィリピン女子大学	〃	〃	2	29,000-35,000	¥6 万～9 万
13	マカティ大学	マカティ	国公立	2	1,500-3,500	¥0.4 万～0.9 万
14	マニラ大学	マニラ	〃	2	14,000-20,000	¥4 万～5 万
15	フィリピン国立大学(UP)	ケソン	〃	2	3,000-20,000	¥0.8 万～5 万
16	フィリピン・ポリテック大学	〃	〃	2	1,300-2,000	¥0.3 万～0.5 万

＜出所:CHED(高等教育委員会 2014 年度版)資料、筆者編集＞

第6章 まとめ

I. フィリピン教育機関と日本の教育機関の連携の可能性

第3章の「単位互換の事例」(40 頁)で報告したいように、国内・海外の学校間の相互単位認定は高等教育委員会 (CHED) の認可ではなく、自主運営できる大学は独自の判断で単位の認証ができる。

今回の単位互換の調査で、フィリピンの国・公立大学グループ“AACCUP”(加盟校 111 大学)のマカティー大学と私立大学グループ“AUTONOMOUS”(加盟校 58 大学)のラサル大学は、自主運営できる大学であることが分かった。

つまり、日本の大学・専門学校は現地の自主運営できる大学との間でカリキュラム単位の認証に合意した場合、日本人留学生が現地で修得した科目を単位として取得することができる。

これまで日本の学生が海外留学で一番大きな壁であった“英語力検定試験”の TOFEL や TOEIC などの上級者レベルの実力が求められていた。

しかし今回の調査において、少なくともマカティー大学とラサル大学は日本人学生の英語力は「ゼロベース」で考え、新たな英語の基準を設けることに合意した。

今後は単位の認証に関する学習科目の検討、留学期間、ホテルでのインターンシップ、留学費用なども話し合いにより、前向きに検討することになった。

また、留学費用についても、フィリピンの大学への留学は欧米と比較しても経済的負担が少なく済むので、フィリピンの大学との連携の可能性は大きい。

国公立大学の自主運営できる大学 (AACCUP) <http://www.aaccupqa.org.ph/index.html>

The screenshot displays the AACCUP website. At the top, there is a banner with the AACCUP logo and the text "The Accrediting Agency of Chartered Colleges and Universities in the Philippines (AACCUP)". Below the banner, the date "Dec. 28, 2014" is shown. On the left, a navigation menu lists: "About AACCUP", "Accreditation", "Benefits of Accreditation", "Conduct of Accreditation", "Accreditors", and "Outputs". The main content area is titled "THE PROGRAM OF ACCREDITATION" and includes the text: "Please, check back now and then. Thank you." Below this, it lists "A. What is Accreditation?" and "B. Program As the Unit of Assessment". The right side of the page features logos for "INQAAHE MEMBER", "apqn member", and "NNQAA MEMBER".

<出典:インターネットより>

II. その在り方

日本人学生が海外の大学で単位取得するためには英語力が英検1級ないし準一級レベルの語学力が必要とする大学が多い。

海外留学が語学学習に時間がとられて、本来の目的である学問とインターンシップを受けるまでに相当な時間を費やしてします。

つまり、日本人学生は知識力、技術力、技能力が備わっていても、海外の大学入学許可の英語力の最低基準が高いことによる本格的な海外留学の障壁となっていた。

今回の調査では、フィリピン側は一定レベルの英語コミュニケーション力を重視して、日本とフィリピンの間で、新たな英語基準にパスした学生は、海外でクラス・シット・イン(座学)、プラクティス(実習)、インターンシップ(研修)の単位互換プログラムに参加できるで合意した意味は大きい。

今回のフィリピンの大学の視察調査の結果、「富山県における中核的ホテルマン育成と単位互換制度の構築」において、基礎英語と観光分野の専門用語を基本にした日本国内での教育カリキュラムの編成、教材の検討など、新たな英語力の選考基準を検討することが望まれる。

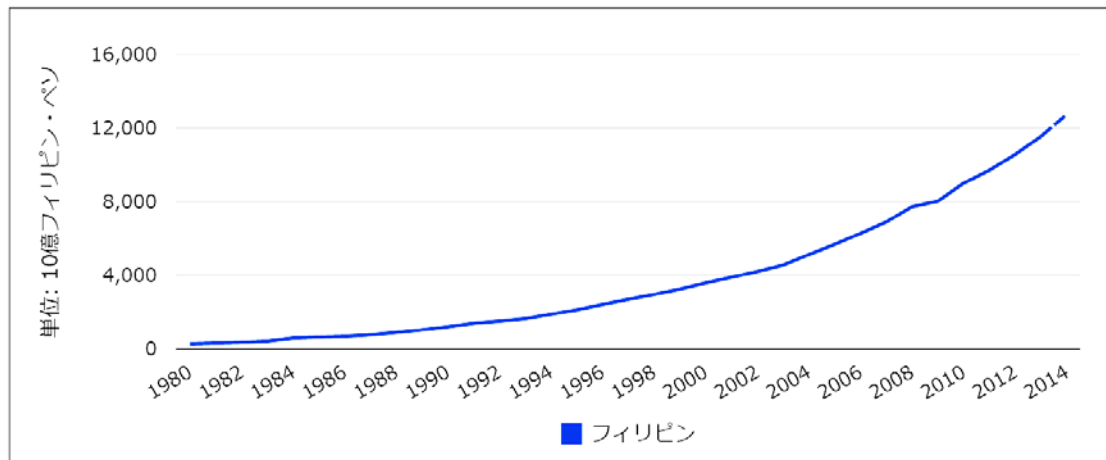
補足資料

<1> フィリピンの経済基本情報

基本情報	データ数値	コメント/出典
総人口	1 億 572 万人	出典：米国 USA/CIA 2013 年 7 月速報値、人口世界 12 位
名目 GDP（2013 年度）	US2702 億 \$ ¥27 兆 5604 億	出典：IMF （\$＝102 円換算）（※1）
一人あたりの GDP	US2790 \$ ¥284,580	
日系企業進出状況 （2014 年 4 月現在）	フィリピン商工会議所登録企業 674 社 （非会員の日系企業は 2 倍以上の 1500 社と推定）	出典：フィリピン日本人商工会議所 日本商工会議所 日系企業会員数 ・マニラ 537 社 ・セブ 118 社 ・ダバオ 19 社
経済成長率（2013 年）	7.2%	出典：IMF
在留邦人（2013 年現在）	17,702 人	日本大使館（フィリピン）在留届出基準
物価上昇率（2013 年）	2.93%	出典：IMF/他の ASEAN 諸国より低い
賃金上昇率（2013 年）	5.0%	出典：JETRO / マニラは 5.2%
賃金水準（2013 年）※2	作業員 \$248 マネージャー \$1,079	出典：JETRO
労働時間	8 時間/日	残業（8 時間超は 25%、休日 30%）
賃金制度		1 ヶ月分賞与（13 か月目の給与）
雇用環境 / 失業率	7.0%	・高い識字率 95.6% （東南アジアトップ） ・高い英語力 ※2 ・人口構成図は完全ピラミッド型※3 ・対日感情は好意的※4 ・海外勤労者 OFW（1 千万人）※5

<出所：米国 CIA、フィリピン国家統計局、JETRO、外務省の「各国・地域情勢」、IMF>

(※1) フィリピンの名目GDPの推移(1980～2014 年)



(メモ) 数値はIMFによる 2014 年 10 月時点の推計。SNS(国民経済計算マニュアル)データ

年	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
	270.06	312.00	351.42	408.92	581.10	633.62	674.62	756.47	885.46	1,025.35
年	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999
	1,190.51	1,379.88	1,497.46	1,633.63	1,875.69	2,111.71	2,406.39	2,688.72	2,952.76	3,244.20
年	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009
	3,580.71	3,888.80	4,198.35	4,548.10	5,120.44	5,677.75	6,271.16	6,892.72	7,720.91	8,026.14
年	2010	2011	2012	2013	2014					
	9,003.48	9,708.33	10,567.34	11,548.19	12,746.17					

＜2＞ フィリピンの新成長産業-観光産業

2012 年度の旅行関連産業における就労者数は前年比 10.4%増の 420 万人に達し、国内の総就業者数 3,727 万人の 11.3%を占め、前年の 10.3%からかなりの上昇となった。

就業者シェアは、2000 年～2006 年まで 9%台、2007 年から 2013 年までは 10%台前半で推移しており、雇用面でも旅行産業の重要性が高まっているといえる。

＜フィリピン旅行・観光業界の付加価値額や就業者数などの推移＞

年度	2010 年	2011 年	2012 年
旅行・観光粗付加価値額(TDGVA)	5,239 億ペソ	5,722 億ペソ	6,311 億ペソ
GDP シェア	5.8%	5.9%	6.0%
旅行・観光関連就業者数	369 万人	382 万人	422 万人
フィリピン就業者総数に対する割合	10.2%	10.3%	11.3%

＜出所：フィリピン国家統計調整委員会資料より作成＞

＜フィリピンの観光粗付加価値(GVA)成長率/前年比（単位：%）＞

年度		2011 年	2012 年
旅行・観光特定生産物		10.8	12.1
宿泊施設サービス		15.1	8.9
飲食サービス		8.8	12.0
旅客輸送サービス		9.0	9.9
旅行代理店・その他予約サービス		19.4	11.5
娯楽・レクリエーション・文化		7.1	19.6
土産品買い物		8.8	11.0
その他の観光サービス		9.2	14.6
金融・保険		9.9	11.6
ウェルネス・ヘルスケア		8.9	16.0
観光粗付加価値総額(TDGVA)		9.2	10.3

＜出所：フィリピン国家統計調整委員会資料より作成＞

<3> HRM/観光学部がある大学リスト (379 大学)

No.	大 学 名	場 所	私立 /国公立	授業料/1 学期 学費(1 ペソ= ¥2.5)
1	<u>West Visayas State University – Janiuay Campus</u>	Iloilo	Public	P 5,000–7,000
2	<u>Centro Escolar University – Malolos</u>	Bulacan	Private	P 35,000–40,000
3	University of San Carlos	Cebu	Private	P 40,000
4	<u>Davao Doctors College</u>	Davao	Private	P 26,000–28,000
5	<u>West Visayas State University</u>	Iloilo	Public	P 4,000–8,000
6	<u>La Consolacion College</u>	Manila	Private	P 32,000–40,000
7	<u>University of the East</u>	Manila	Private	P 40,000
8	<u>De La Salle Araneta University</u>	Manila	Private	P 24,000–28,000
9	<u>De Los Santos STI College</u>	Manila,	Private	P 24,000
10	<u>Enderun College</u>	Manila	Private	P 180,000
11	<u>Lyceum of Alabang</u>	Manila	Private	P 21,000–24,000
12	<u>San Juan De Dios Educational Foundation</u>	Manila	Private	P 32,000–34,000
13	<u>University of the East – Caloocan</u>	Manila	Private	P 41,000
14	<u>University of Perpetual Help System DALTA in Molino</u>	Cavite	Private	P 27,000–30,000
15	<u>University of Perpetual Help System DALTA in Calamba</u>	Laguna	Private	P 26,000–30,000
16	<u>La Consolacion College</u>	Batangas	Private	P 23,000–25,000
17	<u>Sta. Teresa College</u>	Batangas	Private	P 11,000–12,000
18	<u>Santa Isabel College</u>	Manila	Private	P 32,000
19	<u>St. Paul University Quezon City</u>	Manila	Private	P 40,000–45,000
20	<u>Central Philippine University</u>	Iloilo	Private	P 22,000–25,000
21	<u>De La Salle Lipa</u>	Batangas	Private	P 36,000–45,000
22	<u>Centro Escolar University</u>	Manila	Private	P 35,000–40,000
23	<u>Olivarez College Tagaytay</u>	Cavite	Private	P 17,000–22,000
24	<u>South Forbes City College</u>	Cavite	Private	P 26,000–27,000
25	<u>La Consolacion University</u>	Bulacan	Private	P 27,000
26	<u>West Negros University</u>	Negros	Private	P 17,000–20,000
27	<u>Trinity University of Asia</u>	Manila	Private	P 33,000–38,000
28	<u>Far Eastern University</u>	Manila	Private	P 38,000
29	<u>St. Paul University Manila</u>	Manila	Private	P 50,000–60,000
30	<u>Brokenshire College</u>	Davao	Private	P 19,000–20,000
31	<u>Saint Francis of Assisi College</u>	Manila	Private	P 20,000–25,000
32	<u>Our Lady of Fatima University</u>	Manila	Private	P 20,000–22,000
33	<u>Emilio Aguinaldo College in Cavite</u>	Cavite	Private	P 28,000–31,000
34	<u>Lyceum of the Philippines University</u>	Batangas	Private	P 33,000
35	<u>Metropolitan Medical Center College of Arts, Science &</u>	Manila	Private	P 21,000–26,000
36	<u>Lyceum of the Philippines University</u>	Manila	Private	P 37,000–42,000
37	<u>The Lyceum of the Philippines – Laguna</u>	Laguna	Private	P 30,000–40,000
38	<u>Laguna College of Business and Arts</u>	Laguna	Private	P 20,000–25,000
39	<u>St. Joseph College</u>	Manila,	Private	P 33,000–35,000
40	<u>Calayan Educational Foundation</u>	Quezon	Private	P 20,000–25,000

41	<u>Colegio de San Juan de Letran</u>	Manila	Private	P 43,000
42	<u>St. Scholastica's College</u>	Manila	Private	P 40,000–55,000
43	<u>Pasig Catholic College</u>	Manila,	Private	P 22,000–27,000
44	<u>Angeles University Foundation</u>	Pampanga	Private	P 27,000–48,000
45	<u>University of the Assumption</u>	Pampanga	Private	P 25,000
46	<u>University of Perpetual Help System DALTA</u>	Manila	Private	P 30,000–33,000
47	<u>Asian Institute Of Maritime Studies</u>	Manila,	Private	P 30,000–40,000
48	<u>Colegio de San Juan de Letran Calamba</u>	Laguna	Private	P 35,000–40,000
49	<u>Adventist University of the Philippines</u>	Cavite	Private	P 30,000–37,000
50	<u>Holy Angel University</u>	Pampanga	Private	P 30,000–35,000
51	<u>Our Lady of Fatima University</u>	Manila	Private	P 20,000–22,000
52	<u>San Sebastian College</u>	Manila,	Private	P 46,000
53	<u>Malayan Colleges Laguna</u>	Laguna	Private	P 30,000–35,000
54	<u>Manila Tytana Colleges</u>	Manila	Private	P 34,000–44,000
55	<u>Far Eastern University–Cavite</u>	Cavite	Private	P 25,000–35,000
56	<u>Divine Word College of Laoag</u>	Ilocos	Private	P 15,000–18,000
57	<u>Guagua National Colleges</u>	Pampanga	Private	P 21,000
58	<u>General De Jesus College</u>	Nueva	Private	P 16,000–18,000
59	<u>Davao Oriental State College of Science and Technology</u>	Davao	Public	P 4,000–12,000
60	<u>Columbus College</u>	Quezon	Private	P 17,000
61	<u>Kalayaan College</u>	Manila	Private	P 27,000–40,000
62	<u>Philippine Best Training System Colleges</u>	Rizal	Private	P 8,000–9,000
63	<u>Polytechnic College of Davao Del Sur Inc.</u>	Davao	Private	P 15,000–20,000
64	<u>Northwest Samar State University</u>	Samar	Public	P 4,000–5,000
65	<u>La Consolacion College</u>	Manila	Private	P 26,000–28,000
66	<u>Isabela State University in Cabagan</u>	Isabela	Public	P 4,000–6,000
67	<u>Southern Philippines Colleges</u>	Misamis	Private	P 13,000–15,000
68	<u>St. Louis College Valenzuela</u>	Manila	Private	P 12,000–13,000
69	<u>Universidad de Zamboanga</u>	Zamboanga	Private	P 19,000–21,000
70	<u>Cagayan de Oro College</u>	Misamis	Private	P 15,000–16,000
71	<u>Batangas Eastern Colleges</u>	Batangas	Private	P 9,000–11,000
72	<u>Capiz State University</u>	Capiz	Public	P 6,000–7,000
73	<u>Cebu Institute of Technology University</u>	Cebu	Private	P 24,500
74	<u>Holy Trinity University</u>	Palawan	Public	P 19,000–22,000
75	<u>Union Christian College</u>	La Union	Private	P 12,000–15,000
76	<u>St. Paul University Dumaguete</u>	Negros	Private	P 28,000–33,000
77	<u>De La Salle–College of Saint Benilde</u>	Manila	Private	P 60,000–70,000
78	<u>John B. Lacson Colleges Foundation</u>	Negros	Private	P 25,000
79	<u>Saint Mary's University</u>	Nueva	Private	P 16,000–21,000
80	<u>San Sebastian College</u>	Cavite	Private	P 22,500
81	<u>Guimaras State College</u>	Guimaras	Public	P 8,000–10,000
82	<u>Liceo de Cagayan University</u>	Misamis	Private	P 24,000–25,000
83	<u>Manuel S. Enverga University Foundation</u>	Quezon	Private	P 22,000–25,000
84	<u>Bicol University</u>	Albay	Public	P 6,000–14,000
85	<u>Ilocos Sur Polytechnic State College</u>	Ilocos Sur	Public	P 5,000–6,000
86	<u>Cavite State University</u>	Cavite	Public	P 9,000–10,000
87	<u>Cagayan State University</u>	Cagayan	Public	P 2,500–3,500

88	National College of Business and Arts	Rizal,	Private	P 21,000–23,000
89	<u>International Electronics and Technical Institute Makati</u>	Manila	Private	P 8,000–9,000
90	<u>STI College – Dasmariñas Campus</u>	Cavite	Private	P 19,000–21,000
91	Iloilo State College of Fisheries	Iloilo	Public	P 6,000–7,000
92	<u>Surigao State College of Technology</u>	Surigao	Public	P 6,000–9,000
93	<u>Baliwag Polytechnic College</u>	Bulacan	Public	P 5,000–7,000
94	<u>Montessori Professional College</u>	Cavite	Private	P 12,000–13,000
95	<u>International Electronics and Technical Institute Marikina</u>	Manila	Private	P 18,000
96	Cagayan State University	Cagayan	Public	P 2,500–3,500
97	<u>Colegio de Santa Catalina de Alejandria</u>	Negros	Private	P 20,000–22,000
98	Caraga State University	Agusan del	Public	P 6,000–10,000
99	Cavite State University	Cavite	Public	P 9,000–10,000
100	<u>Holy Cross of Davao College</u>	Davao	Private	P 15,000–18,000
101	<u>Benguet State University</u>	Benguet,	Public	P 9,000–15,000
102	<u>Lourdes College</u>	Misamis	Private	P 24,000
103	<u>University of San Jose–Recoletos</u>	Cebu	Private	P 22,000–23,000
104	La Consolacion College	Negros	Private	P 26,000–30,000
105	<u>College of Mt. Carmel</u>	Bulacan	Private	P 13,000–14,000
106	<u>Colegio del Sagrado Corazon de Jesus</u>	Iloilo	Private	P 18,000–20,000
107	<u>Cagayan State University</u>	Cagayan	Public	P 2,500–3,500
108	<u>Holy Name University</u>	Bohol	Private	P 20,000–25,000
109	<u>St. Mary’s College of Meycauayan</u>	Bulacan	Private	P 17,000–20,000
110	<u>Arellano University in Pasay</u>	Manila	Private	P 24,000
111	<u>Isabela State University in Ilagan</u>	Isabela	Public	P 4,000–6,000
112	University of Perpetual Help System	Isabela	Private	P 10,000
113	<u>Philippine College of Technology</u>	Davao	Private	P 22,000
114	<u>St. Dominic College of Asia</u>	Cavite	Private	P 29,000
115	<u>Jose Rizal Memorial State University</u>	Zamboanga	Public	P 7,000–14,000
116	<u>MATS College of Technology</u>	Davao	Private	P 17,000–19,000
117	<u>Mandaue City College</u>	Cebu	Public	P 3,000–4,000
118	<u>Columban College</u>	Zambales	Private	P 23,000–25,000
119	<u>Gordon College</u>	Zambales	Public	P 11,000–12,000
120	<u>Imus Institute</u>	Cavite	Private	P 25,000–27,000
121	Batangas State University	Batangas	Public	P 12,000–13,000
122	University of Batangas	Batangas	Private	P 23,000–26,000
123	Ramon Magsaysay Technological University	Zambales,	Public	P 4,000–6,000
124	Capiz State University	Capiz	Public	P 6,000–7,000
125	Ramon Magsaysay Technological University	Zambales	Public	P 4,000–6,000
126	Isabela State University	Isabela	Public	P 4,000–6,000
127	<u>Occidental Mindoro State College</u>	Mindoro	Public	P 5,000–6,000
128	Capiz State University	Capiz	Public	P 6,000–7,000
129	Iloilo State College of Fisheries	Negros	Public	P 6,000–7,000
130	<u>ICCT Colleges Cainta</u>	Rizal	Private	P 5,300
131	<u>Magsaysay Memorial College</u>	Zambales	Private	P 13,000–15,000
132	<u>Northern Negros State College of Science and Technology</u>	Negros	Public	P 6,000–7,000

133	<u>Laguna College</u>	Laguna	Private	P 25,000–30,000
134	<u>Philippine Merchant Marine School</u>	Manila	Public	P 18,000–20,000
135	<u>Pampanga Agricultural College</u>	Pampanga	Public	P 5,000–6,000
136	<u>National College of Business and Arts</u>	Manila	Private	P 21,000–23,000
137	<u>Siena College</u>	Manila	Private	P 33,000–40,000
138	<u>University of Saint Louis</u>	Cagayan	Private	P 12,000–15,000
139	<u>Colegio de San Gabriel Arcangel</u>	Bulacan	Private	P 6,000–8,000
140	<u>Central Mindanao University</u>	Bukidnon	Public	P 4,000–5,000
141	<u>College of the Immaculate Conception</u>	Nueva	Private	P 18,000–20,000
142	Philippine Women's University	Manila	Private	P 29,000–35,000
143	<u>National University</u>	Manila	Private	P 32,000
144	<u>Universidad de Sta. Isabel</u>	Camarines	Private	P 25,000–30,000
145	<u>University of Southern Philippines Foundation</u>	Cebu	Private	P 20,000–25,000
146	<u>Saint Michael's College of Laguna</u>	Laguna	Private	P 22,000–25,000
147	<u>Batangas State University</u>	Batangas	Public	P 12,000–13,000
148	<u>Laguna State Polytechnic University</u>	Laguna	Public	P 3,000–7,000
149	<u>Northwestern University</u>	Ilocos	Private	P 14,000–16,000
150	<u>Lipa City Colleges</u>	Batangas	Private	P 21,000
151	<u>Chiang Kai Shek College</u>	Manila	Private	P 31,000–36,000
152	<u>Notre Dame of Dadiangas University</u>	Cotabato	Private	P 22,500–27,000
153	<u>Cor Jesu College</u>	Davao	Private	P 15,000–17,000
154	<u>University of Mindanao</u>	Davao	Private	P 17,000–20,000
155	<u>Cavite State University</u>	Cavite	Public	P 9,000–10,000
156	<u>Cavite State University – Carmona Campus</u>	Cavite	Public	P 9,000–10,000
157	<u>Saint Francis of Assisi College</u>	Cavite	Private	P 20,000–22,000
158	<u>Cagayan State University</u>	Cagayan	Public	P 2,500–3,500
159	<u>International Electronics and Technical Institute Caloocan</u>	Manila	Private	P 8,000–9,000
160	<u>International Electronics and Technical Institute Inc. Binan</u>	Laguna	Private	P 8,000–12,000
161	<u>ICCT Colleges Cogeo</u>	Rizal	Private	P 5,300
162	<u>Partido State University</u>	Camarines	Public	P 5,000–8,000
163	<u>Cavite State University</u>	Cavite	Public	P 9,000–10,000
164	<u>osefina H. Cerilles State College</u>	Zamboanga	Public	P 3,000–4,000
165	<u>Naval State University</u>	Biliran	Public	P 5,000–6,000
166	<u>Central Philippines State University</u>	Negros	Public	P 8,000–10,000
167	<u>Kolehiyo ng Subic</u>	Subic	Public	P 4,000–6,000
168	<u>Laguna Northwestern College</u>	Laguna	Private	P 13,000–15,000
169	<u>ISHRM School System</u>	Cavite	Private	P 17,000–20,000
170	<u>Philippine Christian University</u>	Cavite	Private	P 26,000–27,000
171	<u>ICCT Colleges Taytay</u>	Rizal	Private	P 5,300
172	<u>ICCT Colleges Antipolo</u>	Rizal	Private	P 5,300
173	<u>International Electronics and Technical Institute Inc. Imus</u>	Cavite	Private	P 7,000–8,000
174	<u>International Electronics and Technical Institute Lagro</u>	Manila	Private	P 8,000–9,000
175	<u>University of San Agustin</u>	Iloilo	Private	P 20,000–25,000
176	<u>Cavite State University</u>	Cavite	Public	P 9,000–10,000

177	<u>Laguna State Polytechnic University</u>	Laguna	Public	P 6,000–8,000
178	<u>University of Batangas</u>	Batangas	Private	P 23,000–26,000
179	<u>University of Nueva Caceres</u>	Camarines	Private	P 20,000–25,000
180	<u>University of La Salette Santiago</u>	Isabela	Private	P 13,000–15,000
181	<u>University of Manila</u>	Manila	Private	P 14,000–20,000
182	<u>Canossa College</u>	Laguna	Private	P 17,000–22,000
183	<u>Siquijor State College</u>	Siquijor	Public	P 7,000–9,000
184	<u>Arellano University in Pasig</u>	Manila	Private	P 20,000–26,000
185	<u>Purification Dolar Monfort College</u>	Iloilo	Public	P 5,000–6,000
186	<u>Perpetual Help College of Manila</u>	Manila	Private	P 21,000–23,000
187	<u>National University–CEDCE</u>	Benguet	Private	P 11,000–14,000
188	<u>Pilar College</u>	Zamboanga	Private	P 15,000–18,000
189	<u>St. Ferdinand College</u>	Isabela	Private	P 18,000–20,000
190	<u>San Isidro College</u>	Bukidnon	Private	P 10,000–15,000
191	<u>St. Anthony's College</u>	Antique	Private	P 13,000–15,000
192	<u>San Pedro College of Business Administration</u>	Laguna	Private	P 18,000
193	<u>Immaculate Concepcion College</u>	Batangas	Private	P 16,000–18,000
194	<u>Holy Cross Academy of Sasa</u>	Davao	Private	P 12,000–14,000
195	<u>Northern Philippines College for Maritime Science</u>	La Union	Private	P 11,500–15,000
196	<u>Mater Dei College</u>	Bohol	Private	P 17,000–18,000
197	<u>Consolatrix College of Toledo City</u>	Cebu	Private	P 14,000–15,000
198	<u>Iligan Medical Center College</u>	Iligan	Private	P 18,000–20,000
199	<u>Eastern Samar State University</u>	Samar	Public	P 3,000–3,500
200	Polytechnic University Of The Philippines	Manila	Public	P 1,300–2,000
201	<u>Isabela State University – San Mariano Campus</u>	Isabela	Public	P 4,000–6,000
202	<u>Iloilo State College of Fisheries</u>	Iloilo	Public	P 6,000–7,000
203	<u>Ifugao State University</u>	Ifugao	Public	P 5,000–6,000
204	<u>Holy Cross of Bansalan College</u>	Davao	Private	P 15,000–17,000
205	<u>Dipolog Medical Center College Foundation</u>	Zamboanga	Private	P 12,000–21,000
206	<u>Datamex Institute of Computer Technology Pasay</u>	Manila	Private	P 6,500
207	<u>Core Gateway College</u>	Nueva	Private	P 10,000–12,000
208	De La Salle University Dasmariñas	Cavite	Private	P 48,000
209	<u>Divine Word College of Calapan</u>	Mindoro	Private	P 19,000–22,000
210	<u>Dominican College of Iloilo</u>	Iloilo	Private	P 13,000–14,000
211	<u>Joji Ilagan Career Center Inc. College of Business</u>	Davao	Private	P 28,000–30,000
212	<u>Laguna State Polytechnic University</u>	Laguna	Public	P 7,000–8,000
213	<u>Lyceum of Aparri</u>	Cagayan	Private	P 14,000–15,000
214	<u>St. Joseph College</u>	Cavite	Private	P 30,000
215	<u>Panay Technological College</u>	Kalibo	Private	P 7,000–9,000
216	<u>Northeastern College</u>	Isabela	Private	P 12,000–15,000
217	<u>University of Perpetual Help System</u>	Cavite	Private	P 20,000–27,000
218	<u>Isabela State University in Cauayan</u>	Isabela	Public	P 4,000–6,000
219	<u>Our Lady of Fatima University</u>	Rizal	Private	P 20,000–22,000
220	<u>St. Michael's College of Iligan City</u>	Iligan	Private	P 10,000–14,000

221	<u>Southern Mindanao Colleges</u>	Zamboanga	Private	P 8,000–10,000
222	<u>Colegio de San Lorenzo</u>	Manila	Private	P 16,000
223	<u>Western Mindanao State University</u>	Zamboanga	Public	P 3,000–10,000
224	<u>Baliuag University</u>	Bulacan	Private	P 25,000–30,000
225	<u>Tarlac State University</u>	Tarlac	Public	P 10,000–12,000
226	<u>Saint Jude College</u>	Manila	Private	P 30,000
227	<u>University of Antique</u>	Antique	Public	P 6,000–8,000
228	<u>Philippine Christian University</u>	Manila	Private	P 28,000–30,000
229	<u>Lorma Colleges</u>	La Union	Private	P 14,000–17,500
230	<u>Misamis University</u>	Ozamiz	Private	P 17,000–18,000
231	<u>Aurora State College of Technology</u>	Aurora	Public	P 4,000–5,000
232	<u>Laguna State Polytechnic University</u>	Laguna	Public	P 6,000–8,000
233	<u>Colegio de Dagupan</u>	Pangasinan	Private	P 13,000–14,000
234	<u>La Consolacion College – Iriga City</u>	Camarines	Private	P 15,000–17,000
235	<u>University of the Immaculate Conception</u>	Davao	Private	P 19,500–21,000
236	<u>Arellano University</u>	Manila	Private	P 24,000–29,000
237	<u>Jose Rizal University</u>	Manila	Private	P 25,000
238	<u>Southern Luzon State University</u>	Quezon	Public	P 4,000–11,000
239	<u>Cavite State University</u>	Cavite	Public	P 9,000–10,000
240	<u>Southdale International School of Science, Arts and Tec</u>	Cavite	Private	P 10,000–12,000
241	<u>Cavite State University – Tanza Campus</u>	Cavite	Public	P 9,000–10,000
242	<u>Far Eastern Polytechnic College</u>	Cavite	Private	P 9,000–11,000
243	<u>Cavite State University – Rosario Campus</u>	Cavite	Public	P 9,000–10,000
244	<u>International Electronics and Technical Institute Las Pinas</u>	Manila	Private	P 21,000–23,000
245	<u>Centro Escolar University</u>	Manila	Private	P 35,000–40,000
246	<u>ICCT Colleges Angono</u>	Rizal	Private	P 5,300
247	<u>Ilocos Sur Polytechnic State College</u>	Ilocos	Public	P 5,000–6,000
248	<u>Araullo University</u>	Nueva	Private	P 16,000–18,000
249	<u>Iloilo State College of Fisheries</u>	Iloilo	Public	P 6,000–7,000
250	<u>Kalinga Apayao State College</u>	Kalinga	Public	P 4,000–6,000
251	<u>Capiz State University</u>	Capiz	Public	P 6,000–7,000
252	<u>University of Antique</u>	Antique	Public	P 6,000–8,000
253	<u>La Salle University Ozamiz</u>	Ozamiz	Private	P 16,000–25,000
254	<u>West Visayas State University</u>	Iloilo	Public	P 7,000–8,000
255	<u>Aklan State University</u>	Ibajay	Public	P 4,000–6,000
256	<u>University of Cebu</u>	Cebu	Private	P 18,000–22,000
257	<u>Bohol Island State University</u>	Bohol	Public	P 7,000–9,000
258	<u>Cebu Technological University</u>	Cebu	Public	P 6,000–8,000
259	<u>National College of Science and Technology</u>	Cavite	Private	P 18,000–21,000
260	<u>Carlos Hilado Memorial State College</u>	Negros	Public	P 8,000–10,000
261	<u>Southern Luzon College</u>	Cavite	Public	P 20,000–23,000
262	<u>Bukidnon State University</u>	Bukidnon	Public	P 7,000–11,000
263	<u>University of Southern Mindanao</u>	Cotabato	Public	P 5,000–11,000
264	<u>University of Baguio</u>	Benguet	Private	P 23,000–25,000
265	<u>Leyte Normal University</u>	Leyte	Public	P 4,000–6,000
266	<u>Zamboanga State College of Marine Sciences</u>	Zamboanga	Public	P 3,000–5,000

	<u>and Techno</u>			
267	<u>Arellano University in Mandaluyong</u>	Manila	Private	P 24,000–26,000
268	<u>Bataan Peninsula State University</u>	Bataan	Public	P 8,000–10,000
269	<u>Rizal College of Taal</u>	Batangas	Private	P 17,000
270	<u>Saint Louis College</u>	La Union	Private	P 14,000–15,000
271	<u>Saint Columban College</u>	Zamboanga	Private	P 9,500–13,500
272	<u>Roosevelt College System</u>	Rizal	Private	P 20,000–23,000
273	<u>Mountain Province State Polytechnic College</u>	Bontoc	Public	P 3,000–5,000
274	<u>Dominican College of Sta. Rosa Laguna</u>	Laguna	Private	P 22,000–25,000
275	<u>Hercor College</u>	Capiz	Private	P 6,000–8,000
276	<u>Polytechnic University of the Philippines</u>	Batangas	Public	P 1,000–2,000
277	<u>First City Providential College</u>	Bulacan,	Private	P 16,000–20,000
278	<u>University Of Caloocan City</u>	Manila	Public	P 1,500–3,000
279	<u>University of Rizal</u>	Rizal	Public	P 5,000–6,000
280	<u>Easter College</u>	Benguet	Public	P 8,000–14,000
281	<u>Dominican College of Tarlac</u>	Tarlac	Private	P 21,000–24,000
282	<u>Don Honorio Ventura Technological State University</u>	Pampanga	Public	P 13,000–15,000
283	<u>Misamis Oriental State College of Agriculture and Techno</u>	Oriental	Public	P 7,000–8,000
284	<u>Lyceum of Subic Bay</u>	Zambales	Private	P 24,000–25,000
285	<u>International School of Asia and the Pacific</u>	Cagayan	Private	P 10,000–15,000
286	<u>University of Northern Philippines Vigan</u>	Ilocos	Public	P 4,000–5,000
287	<u>Bestlink College of the Philippines</u>	Manila	Private	P 5,000
288	<u>Southern Leyte State University Sogod</u>	Leyte	Public	P 5,000–6,000
289	<u>Bohol Island State University Tagbilaran</u>	Bohol	Public	P 7,000–9,000
290	<u>University of Luzon</u>	Pangasinan	Private	P 12,000–15,000
291	<u>Western Institute of Technology</u>	Iloilo	Private	P 17,000
292	<u>Bulacan State University</u>	Bulacan	Public	P 5,000–7,000
293	<u>Camarines Norte State College</u>	Camarines	Public	P 5,000–6,000
294	<u>Bohol Island State University</u>	Bohol	Public	P 7,000–9,000
295	<u>Negros Oriental State University</u>	Negros	Public	P 6,000–10,000
296	<u>Mindanao State University</u>	Zamboanga	Public	P 3,000–3,500
297	<u>STI eCollege Southwoods</u>	Cavite	Private	P 18,000–23,000
298	<u>University of Makati</u>	Manila	Public	P 1,500–3,500
299	<u>Talisay City College</u>	Cebu	Public	P 3,300
300	<u>Surigao del Sur State University</u>	Surigao	Public	P 6,000–8,000
301	<u>Bataan Peninsula State University</u>	Bataan	Public	P 8,000–10,000
302	<u>Mindanao State University</u>	Lanao del	Public	P 3,000–4,000
303	<u>Aklan State University</u>	Aklan	Public	P 3,000–5,000
304	<u>West Visayas State University</u>	Iloilo	Public	P 4,000–6,000
305	<u>Ebenezer International College</u>	Cavite	Private	P 15,000–16,000
306	<u>University of the Visayas</u>	Cebu	Private	P 18,000–23,000
307	<u>Western Visayas College of Science and Technology</u>	Iloilo	Public	P 8,000–10,000
308	<u>University of Iloilo</u>	Iloilo	Private	P 13,000–15,000
309	<u>University of Pangasinan PHINMA Education Network</u>	Pangasinan	Private	P 20,000–23,000

310	<u>Aldersgate College</u>	Nueva	Private	P 13,000–16,000
311	<u>Eulogio Amang Rodriguez Institute of Science and Techno</u>	Manila	Public	P 6,000–7,000
312	<u>Mindanao State University</u>	Lanao del	Public	P 1,500–3,000
313	<u>La Fortuna College</u>	Nueva Ec	Private	P 11,000–13,000
314	<u>Cebu Technological University</u>	Cebu	Public	P 6,000–8,000
315	<u>Mindoro state college of agriculture and technology</u>	Mindoro	Public	P 6,500–7,500
316	<u>De La Salle John Bosco College</u>	Surigao	Private	P 9,000–12,000
317	<u>Eastern Mindanao College of Technology of Pagadian City</u>	Zamboanga	Private	P 11,500–12,000
318	<u>Divine Word College of San Jose</u>	Mindoro	Private	P 10,000–13,000
319	<u>Republic Central Colleges</u>	Pampanga	Private	P 21,000–24,000
320	<u>Philippine Women's College Of Davao</u>	Davao	Private	P 25,000–27,000
321	<u>Polytechnic University of the Philippines in Lopez</u>	Quezon	Public	P 1,000–2,000
322	<u>Bulacan State University</u>	Bulacan	Public	P 5,000–7,000
323	<u>Visayas State University</u>	Leyte	Public	P 4,000–6,000
324	<u>Mariano Quinto Alarilla Polytechnic College</u>	Bulacan	Public	P 3,500–4,500
325	<u>Pamantasan ng Lungsod ng Pasay</u>	Manila	Public	P 3,000–6,000
326	<u>Batangas State University</u>	Batangas	Public	P 12,000
327	<u>Bulacan State University</u>	Bulacan	Public	P 7,000–8,000
328	<u>Saint Michael College of Caraga</u>	Agusan	Private	P 9,000–11,000
329	<u>Don Mariano Marcos Memorial State University</u>	La Union	Public	P 4,000–5,000
330	<u>Universidad de Manila</u>	Manila	Public	No tuition fees
331	<u>Lemery Colleges</u>	Batangas	Private	?
332	<u>Cebu Eastern College</u>	Cebu	Private	P 12,000–15,000
333	<u>College of Mary Immaculate</u>	Bulacan	Private	P 8,000–9,000
334	<u>Pamantasan ng Lungsod ng Maynila</u>	Manila	Public	P 300–8,000
335	<u>Saint Joseph Institute of Technology</u>	Agusan	Private	P 20,000
336	<u>Southwestern University</u>	Cebu	Private	P 18,000–20,000
337	<u>Negros Oriental State University</u>	Negros	Public	P 6,000–10,000
338	<u>Dipolog School of Fisheries</u>	Zamboanga	Public	P 2,000–3,000
339	<u>Asian College of Science and Technology</u>	Negros	Public	P 20,000–24,000
340	<u>University of Cebu – Banilad Campus</u>	Cebu	Private	P 18,000–22,000
341	<u>Bohol Island State University</u>	Bohol	Public	P 7,000–9,000
342	<u>West Visayas State University</u>	Iloilo	Public	P 4,000–6,000
343	<u>Aklan State University</u>	Kalibo	Public	P 4,000–6,000
344	<u>Mindanao State University</u>	Misamis	Public	P 2,000–4,000
345	<u>Batangas State University</u>	Batangas	Public	P 11,000–12,000
346	<u>University of Rizal</u>	Rizal	Public	P 5,000–6,000
347	<u>University of Rizal – Antipolo</u>	Rizal	Public	P 5,000–6,000
348	<u>Polytechnic University of the Philippines</u>	Bulacan	Public	P 1,000–2,000
349	<u>Eastern Visayas State University</u>	Leyte	Public	P 5,000–7,000
350	<u>Surigao del Sur State University</u>	Surigao	Public	P 6,000–8,000
351	<u>Cebu Technological University</u>	Cebu	Public	P 6,000–8,000
352	<u>University of Cebu</u>	Cebu	Private	P 18,000–22,000
353	<u>STI College – Dumaguete</u>	Negros	Private	P 10,000–14,000

354	Eulogio Amang Rodriguez Institute of Science and Techno	Cavite	Private	P 6,000–7,000
355	STI College – Rosario	Cavite	Private	P 17,000–23,000
356	<u>Aquinas University of Legazpi</u>	Albay	Private	P 20,000–28,000
357	<u>Saint Louis University</u>	Baguio	Private	P 19,500–30,000
358	<u>Nueva Vizcaya State University</u>	Nueva	Public	P 4,000–5,000
359	<u>University of Cebu</u>	Cebu	Private	P 18,000–22,000
360	<u>Nueva Ecija University of Science and Technology</u>	Nueva	Public	P 7,000–8,000
361	<u>University of the Philippines Diliman</u>	Quezon	Public	P 3,000–20,000
362	<u>Camarines Sur Polytechnic Colleges Nabua</u>	Camarines	Public	P 7,000–20,000
363	<u>Batanes State College</u>	Batanes	Public	P 5,000–6,000
364	<u>Bulacan Polytechnic College</u>	Bulacan	Public	P 3,000–3,200
365	<u>JE Mondejar Foundation College</u>	Leyte	Private	?
366	<u>Northern Samar Colleges</u>	Samar	Private	P 14,000–18,000
367	<u>Garcia College of Technology</u>	Aklan	Private	P 9,000–11,000
368	<u>Bataan Peninsula State University</u>	Bataan	Public	P 8,000–10,000
369	<u>Arellano University in Malabon</u>	Manila	Private	P 22,000–25,000
370	<u>Naga College Foundation</u>	Camarines	Private	P 12,000–25,000
371	<u>Patria Sable Corpus College</u>	Isabela	Private	?
372	<u>Romblon State University</u>	Romblon	Public	P 3,500–5,000
373	<u>Saint Bridget College</u>	Batangas	Private	P 15,000–16,000
374	<u>Taguig City University</u>	Manila	Public	No tuition fee
375	<u>Romblon State University – San Fernando Campus</u>	Romblon	Public	P 3,500–5,000
376	<u>Urdaneta City University</u>	Pangasinan	Public	P 8,000–9,000
377	<u>University of Santo Tomas</u>	Manila	Private	P 40,000–60,000
378	<u>University of Perpetual Help System JONELTA in Biñan</u>	Laguna	Private	P 24,000–25,000
379	<u>Asia Pacific College</u>	Manila	Private	?

< 出所: CHED (高等教育委員会 2014 年度版) 資料より筆者編集 >

<4> フィリピン国立大学(UP)の交換留学生申請フォーム



University of the Philippines
Office of International Linkages

STUDENT EXCHANGE APPLICATION FORM

PERSONAL INFORMATION

Name	
Student Number	
Year Level	
Degree Program	
College/UP Unit (e.g. CSSP/UP Diliman)	
General Weighted Average	
Language Proficiency	
Present Address	
Permanent Address	
E-Mail Address 1	
E-Mail Address 2	
Contact Number 1	
Contact Number 2	

FOREIGN UNIVERSITY APPLIED FOR

First Choice	
Second Choice	
Third Choice	

PERSON TO NOTIFY IN CASE OF EMERGENCY

Parent or Legal Guardian	
Address	
Email Address	
Contact Number 1	
Contact Number 2	

＜5＞ フィリピン国立大学生の海外留学条件

姉妹校と提携している海外の大学生がフィリピン国立大学（UP 大）へ留学する場合、必要な提出資料は次の通りである。

- ・ 海外提携先大学と「交換留学生プログラム」について問い合わせは、学校カレンダーの 11 月第二週に受付開始
The call for application for Student Exchange Program with foreign universities and list of available scholarships are usually released to the academic units during the second week of November.
- ・ 大学 2 年生又は 3 年生の成績優秀者に限り申請可能
All UP students who are sophomore or junior standing during the time of application and with very good scholastic record are eligible to apply.
- ・ 国際リンクエージ事務局（Office of Institutional Linkages /OIL）が、申請する学生に対して海外提携先の大学を決定
Office of Institutional Linkages (OIL) conducts a selection process to determine who among the applicants shall be endorsed as official exchange student/s to a particular foreign university.
- ・ 海外の大学から「交換留学生プログラム」が認可され次第、学生はビザ申請をする。
Once admitted to the foreign university, the student must prepare the necessary requirements to obtain the required visa.
- ・ 留学期間は一学期、ないし最長一年に限る
The official exchange student may enroll at the host university for one semester to one academic year only.
- ・ オフィシャルな交換留学生の学費はホストの大学によって条件が違ふ
Tuition at the host university is waived for official exchange student.
- ・ 申請者はネットで姉妹校提携先の大学を確認して、奨学金制度を確認する
Students are encouraged to visit the respective website of the university where they wish to apply to determine whether their desired university offers a scholarship program.

<6> ACCESS大学（ホテル&レストラン専門学校）の科目と単位

ACCESS 専門学校は4年制の大学である。卒業までの単位は 163 単位、研修 500 時間である。



ACCESS College

TESDA認定の4年制専門学校（ホテル&レストラン学科）

COURSE : _____
NAME : _____
 LAST NAME FIRST NAME

CODE	DESCRIPTIVE TITLE	UNITS			PRE-REQ
		LEC	LAB	TOTAL	
First Year – 1st Semester 一年1学期					
COMART1	Communication Arts 1 (English 1)	3		3	
FILPI1	Sining ng Pakikipagtalastasan	3		3	
SANGENE	Principles of Safety Hygiene & Sanitations	3		3	
HOUSMAN	Housekeeping Management	2	1	3	
PRITOR	Principles of Tourism	3		3	
PHISGOC	Philippine History, Government & Constitution	3		3	
BUSMATH	Business Mathematics	3		3	
NATSCI	Environmental Science	3		3	
PHYSED1	Self-Testing Activities (Gymnastics)	2		2	
NSTP1	CWTS 1	3		3	
TOTAL		23	1	24	

First Year – 2nd Semester 一年2学期					
COMART2	Communication Arts 2 (English 2)				COMART1
FILPI2	Pagbasa at Pagsulat Tungo sa Pananaliksik	3		3	FILPI1
PSYCHRE	General Psychology	3		3	
PRITOR2	Principles of Tourism 2	3		3	PRITOR
CULARTS	Culinary Arts & Sciences	2	1	3	SANGENE
RODIMAN	Room Division, Management & Control System	3		3	HOUSMAN
APROG1	Application Programming 1	2	1	3	
PHILIT	Philippine Literature	3		3	PHISGOC
PHYSED2	Rhythmic Activities	2		2	
NSTP2	CWTS 2	3		3	NSTP1
TOTAL		24	2	26	

Second Year – 1st Semester 二年1学期					
SPEECON	Speech and Conversational English (English 3)	3		3	COMART2
ASIACUS	Asian Cuisine 1 & 2 (Elective 1)	2	1	3	CULARTS
FBSERV1	Food and Beverage Service Procedure	3		3	CULARTS
TOURDEV	Tourism Planning & Development	3		3	PRITOR2
POISEPER	Personality Development & Public Relations	3		3	
BUSSTAT	Business Statistics	3		3	BUSMATH
ACCOUN1	Accounting 1	3		3	
PRINMAN	Principles of Management	3		3	
PHYSED3	Dual / Individual Sports	2		2	PHYSED2
TOTAL		25	1	26	

Second Year – 2nd Semester 二年2学期					
CANTHRO	Cultural Anthropology	3		3	PHISGOC
ENTREBP	Entrepreneurship & Business Planning	3		3	PRINMAN
WESTCUS	Western Cuisine – International / Classic Cuisine (Elective 2)	2	1	3	ASIACUS
PRINMAR	Principles of Marketing	3		3	
FBCONSY	Food and Beverage Control System	3		3	ACCOUN1, FBSERV1
BAKEDEC	Baking & Cake Decoration	2	1	3	
BUSCOMM	Business Correspondence	3		3	SPEECON
DESKPUB	Desktop Publishing	2	1	3	APROG1
PHYSED4	Team Sports	2		2	PHYSED3
TOTAL		23	3	26	

CODE

DESCRIPTIVE TITLE

UNITS

LEC

LAB

TOTAL

PRE-REQ

Second Year – Summer 二年 夏休み実習 レストラン・インターンシップ200時間

PRACTI1

Practicum 1 (Restaurant – 200 hours)

3

3

Third Year – 1st Semester 三年1学期

FORLANG

Foreign Language

3

3

HARTAPP

Humanities & Art Appreciation

3

3

INREMAN

Information & Resource Management

3

3

PRINMAR

BASIFI

Basic Finance

3

3

ACCON1

HUBEORG

Human Behavior in Organization

3

3

PRINMAR, PSYCHRE

BASWERY

Banquet Function & Catering Service Procedure

2

1

3

WESTCUS, FBCONSY

FRONTOF

Front Office Procedure

3

3

PRITORI, APROG1

TOURLT

Tourism Laws, Legal Responsibilities & Taxation

3

3

TOURDEV

TOTAL

23

1

24

Third Year – 2nd Semester 三年2学期

LOGIC

Logic

3

3

ECONTR

Economics, Taxation & Land Reform

3

3

QUALMAN

Total Quality Management

3

3

HUBEORG

BARMAN

Bar Management

2

1

3

FBSEVI

HORGMAN

Hospitality Organizational Management (Elective 3)

3

3

QUALMAN

FACILAY

Facilities, Lay-out & Design

3

3

ALL MAJOR SUBJECTS

RIZALLW

Life & Works of Rizal

3

3

TOTAL

20

1

21

Fourth Year – 1st Semester 四年1学期

TRAVMAN

Travel Agency Management & Operation

3

3

TOURDEV, ENTREBP

LSSRMAN

Leisure, Sports & Recreation Management (Elective 4)

3

3

TOURDEV, ENTREBP

EVENMAN

Events Management

3

3

TOURDEV, ENTREBP

CONVMAN

Convention Management (Elective 5)

3

3

TOURDEV, ENTREBP

FSFOODS

Life & Works of Rizal

3

3

ALL MAJOR SUBJECTS

TOTAL

15

0

15

Fourth Year – 2nd Semester 四年2学期

Fourth Year – Summer 四年 夏休み実習 ホテル・インターンシップ 300時間

PRACTI2

Practicum 2 (Hotel – 300 hours)

4

4

OVERALL TOTAL ACADEMIC UNITS 単位数

163

Practicum 1&2 (Restaurant / 200Hrs & Hotel / 300Hrs)

インターンシップの合計時間 500時間

平成 26 年度 文部科学省

成長事業分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業

富山県における中核的ホテルマン育成と単位互換制度の構築

「単位互換プログラム作成のための調査報告書」

平成 27 年 2 月

成長事業分野等における中核的専門人材養成等の戦略的推進事業

(代表校 学校法人浦山学園)

連絡先 〒939-0341 富山県射水市三ヶ 613

学校法人浦山学園 富山情報ビジネス専門学校

電話 0766-55-1420

* 本書の内容を無断で転記、記載することは禁じます。

